

2022 年度(令和4年度)

第2回福山市市政モニターアンケート調査報告書

(福山市市政モニター業務報告書)

【2022 年(令和4年)9月実施】

2022 年(令和4年)12 月

福 山 市

【目次】

1. 調査の目的	1
2. 調査の仕様	1
3. 調査結果	
(1) 文化財の保存と活用について.....	4
(2) デジタル化の取組について.....	39
(3) 防災について.....	59
(4) 新型コロナウイルス感染症に対する意識・行動変化について.....	95
(5) 回答者の属性.....	125
資料編 2022年度(令和4年度) 第2回 市政モニターアンケート調査票	128

1. 調査の目的

幅広い世代の様々な立場の市民等から意見を聴き、政策や市政運営に繋げることで、市民に身近な市政を実現するため。

2. 調査の仕様

(1) 調査項目

- 文化財の保存と活用について
- デジタル化の取組について
- 防災について
- 新型コロナウイルス感染症に対する意識・行動変化について

(2) 調査対象

16歳以上の福山市民又は市外在住で福山市政に関心のある方で福山市市政モニターに登録された752人

(3) 調査方法

インターネット（福山市電子申請サービス）及び郵送により実施

(4) 調査期間

2022年（令和4年）9月12日（月）～9月26日（月）

(5) 集計・分析方法

回答者全体を対象とした単純集計及び、属性別（性別、子育て世帯別、年代別、エリア別、職業別）のクロス集計を実施

(6) 集計表の見方

○回答結果は、各項目の無回答を含む有効回答数に対する百分率（％）で示し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを表示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。

○複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶことができる方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対しての、それぞれの比率を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。

○属性別集計表の中の横棒は、回答率（％）を示しています。

下記の【説明例】では、回答者全体（400人）の50.0％が項目1を選択したことを示しています。また、回答者全体を性別で見ると、男性回答者（190人）の56.0％、女性回答者（200人）の42.0％が項目1を選択したことを示しています。

【説明例】属性別集計表

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	400	190	200	10	90	280	30
項目1	50.0	56.0	42.0	50.0	51.0	49.0	54.0
項目2	30.0	24.0	58.0	30.0	33.0	29.0	30.0
項目3	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	19.0	15.0
項目4	5.0	5.0	5.0	0.0	1.0	3.0	0.0

○属性別集計表のうち、性別と子育て世帯別の表については、回答者全体の回答率より5.0ポイント以上高い項目を赤字、5.0ポイント以上低い項目を青字で表しています。

上記の【説明例】では、項目1の男性回答者の回答率（56.0％）が回答者全体の回答率（50.0％）を6.0ポイント（ $=56.0-50.0$ ）上回っているため、赤字で表記しています。

一方、項目1の女性回答者の回答率（42.0％）が回答者全体の回答率（50.0％）を8.0ポイント（ $=42.0-50.0$ ）下回っているため、青字で表記しています。

○属性別集計表のうち、年代別、エリア別、職業別の表については、回答者全体の回答率より10.0ポイント以上高い項目を赤字、10.0ポイント以上低い項目を青字で表しています。

(7) 発送・回収状況

図表 2-1 発送・回収状況

	モニター数	回答数	回答率
インターネット回答	495 件	236 件	47.7%
郵送回答	257 件	211 件	82.1%
合計	752 件	447 件	59.4%

図表 2-2 【属性別】発送・回収状況

【性別】

区分	モニター数	回答数	回答率
男性	356 件	210 件	59.0%
女性	391 件	235 件	60.1%
不明	5 件	2 件	40.0%

【年代】

区分	モニター数	回答数	回答率
10 歳代	50 件	25 件	50.0%
20 歳代	120 件	47 件	39.2%
30 歳代	139 件	75 件	54.0%
40 歳代	127 件	72 件	56.7%
50 歳代	101 件	61 件	60.4%
60 歳代	99 件	75 件	75.8%
70 歳以上	116 件	92 件	79.3%

【エリア】

区分	モニター数	回答数	回答率
中部	334 件	195 件	58.4%
南部	48 件	28 件	58.3%
松永	39 件	24 件	61.5%
北部	110 件	68 件	61.8%
東部	106 件	63 件	59.4%
神辺	55 件	41 件	74.5%
市内 (小学校区不明)	49 件	25 件	51.0%
市外	11 件	3 件	27.3%

【職業等】

区分	モニター数	回答数	回答率
正規雇用労働者	279 件	153 件	54.8%
非正規雇用労働者	82 件	50 件	61.0%
自営業	51 件	33 件	64.7%
主夫・主婦	119 件	83 件	69.7%
学生	80 件	35 件	43.8%
その他	141 件	93 件	66.0%

【子育て世帯】

区分	モニター数	回答数	回答率
はい	202 件	106 件	52.5%
いいえ	482 件	301 件	62.4%
不明	68 件	40 件	58.8%

3. 調査結果

(1) 文化財の保存と活用について

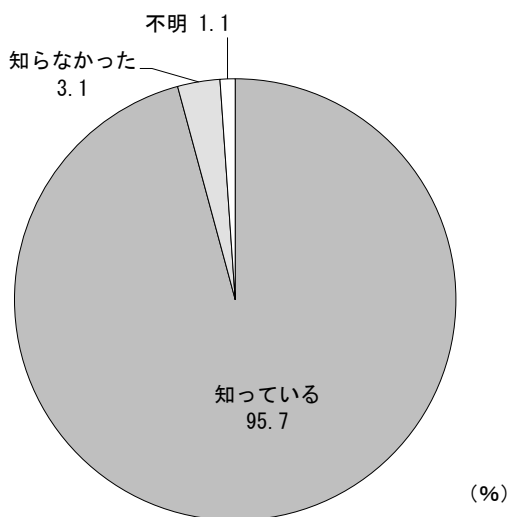
問1 福山城築城400年を記念し、「令和の大普請」として、福山城の大改修を実施しましたが、このことを知っていますか。当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「知っている」(95.7%)が「知らなかった」(3.1%)を大きく上回っています。

図表3-1 福山城の大改修「令和の大普請」について

回答者数：447



【属性別】

性別と子育て世帯別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
知っている	95.7	97.1	94.5	100.0	96.2	95.0	100.0
知らなかった	3.1	1.9	4.3	0.0	2.8	3.7	0.0
不明	1.1	1.0	1.3	0.0	0.9	1.3	0.0

年代別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
知っている	95.7	92.0	93.6	94.7	97.2	95.1	94.7	98.9
知らなかった	3.1	8.0	4.3	4.0	1.4	4.9	2.7	1.1
不明	1.1	0.0	2.1	1.3	1.4	0.0	2.7	0.0

エリア別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
知っている	95.7	95.4	89.3	95.8	95.6	98.4	97.6	96.0	100.0
知らなかった	3.1	2.6	10.7	4.2	2.9	1.6	2.4	4.0	0.0
不明	1.1	2.1	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0

職業別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
知っている	95.7	94.8	98.0	97.0	96.4	88.6	97.8
知らなかった	3.1	3.9	0.0	0.0	3.6	8.6	2.2
不明	1.1	1.3	2.0	3.0	0.0	2.9	0.0

問2-1

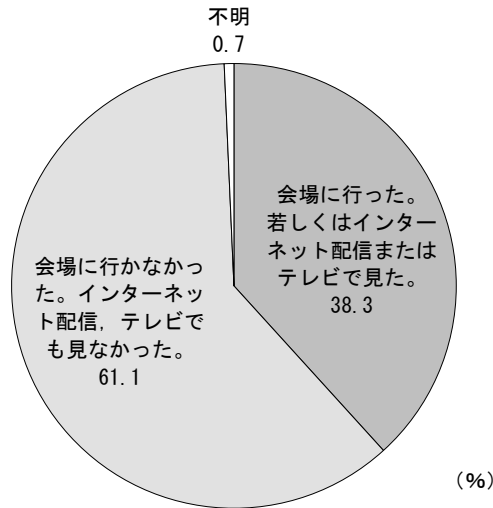
8月27日、28日に「福山城400年博オープニングイベント開幕祭」を開催しましたが、会場に行きましたか。または、インターネット配信やテレビ放送を見ましたか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「会場に行かなかった。インターネット配信、テレビでも見なかった。」(61.1%)が「会場に行った。若しくはインターネット配信またはテレビを見た。」(38.3%)を上回っています。

図表3-2 福山城400年博オープニングイベント開幕祭について

回答者数：447



【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』で「会場に行かなかった。インターネット配信、テレビでも見なかった。」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
会場に行った。若しくはインターネット配信またはテレビを見た。	38.3	42.4	34.5	50.0	32.1	42.2	25.0
会場に行かなかった。インターネット配信、テレビでも見なかった。	61.1	57.1	64.7	50.0	67.0	57.1	75.0
不明	0.7	0.5	0.9	0.0	0.9	0.7	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』から『30歳代』では「会場に行かなかった。インターネット配信、テレビでも見なかった。」が高く、『60歳代』『70歳以上』では「会場に行った。若しくはインターネット配信またはテレビで見た。」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
会場に行った。若しくはインターネット配信またはテレビで見た。	38.3	4.0	17.0	26.7	40.3	41.0	53.3	52.2
会場に行かなかった。インターネット配信、テレビでも見なかった。	61.1	92.0	83.0	72.0	59.7	59.0	46.7	46.7
不明	0.7	4.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.1

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「会場に行かなかった。インターネット配信、テレビでも見なかった。」が高く、『神辺』では「会場に行った。若しくはインターネット配信またはテレビで見た。」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
会場に行った。若しくはインターネット配信またはテレビで見た。	38.3	41.5	28.6	41.7	35.3	31.7	51.2	28.0	0.0
会場に行かなかった。インターネット配信、テレビでも見なかった。	61.1	57.9	71.4	58.3	63.2	68.3	46.3	72.0	100.0
不明	0.7	0.5	0.0	0.0	1.5	0.0	2.4	0.0	0.0

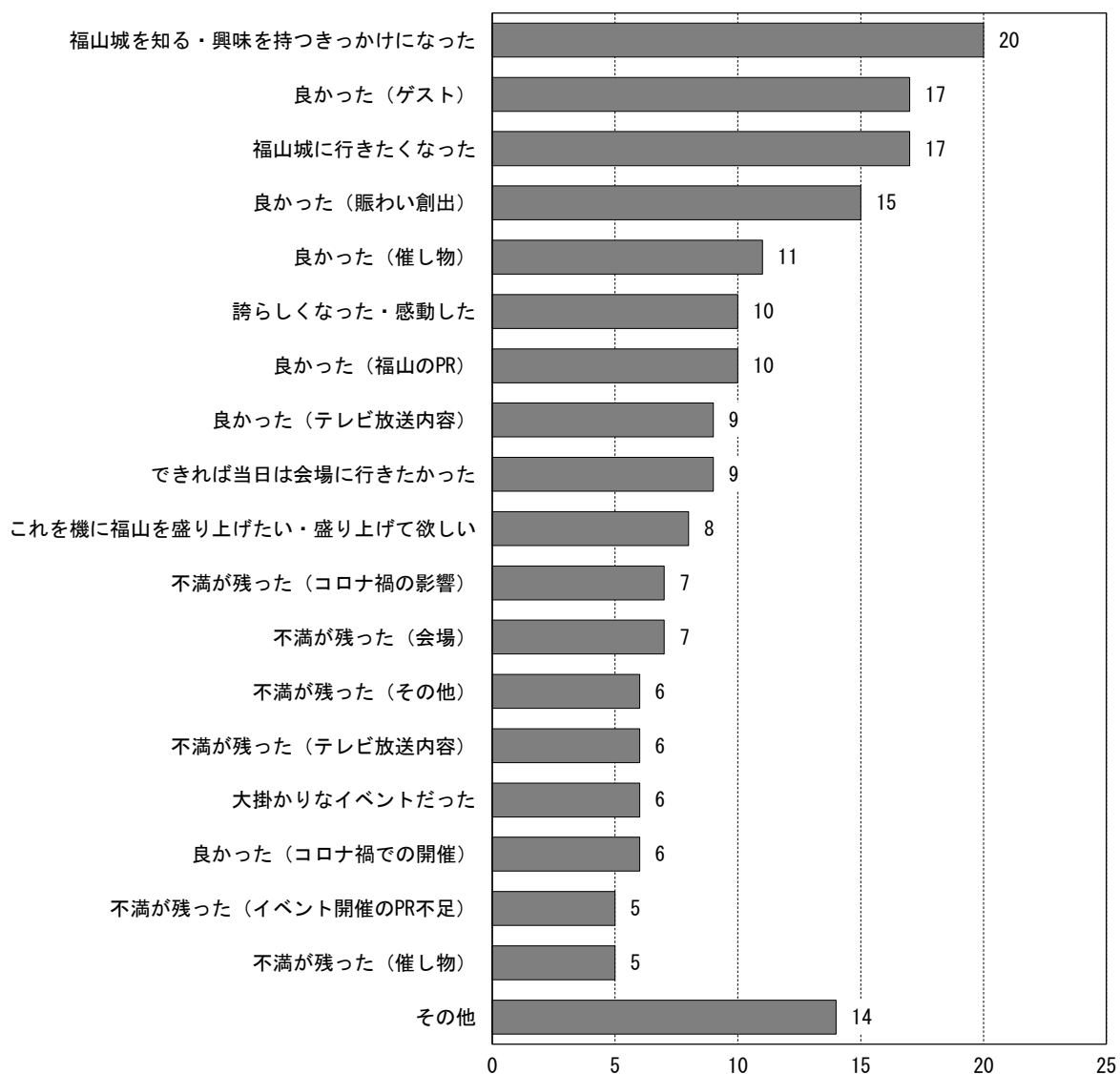
職業別でみると、回答者全体と比較して、『学生』では「会場に行かなかった。インターネット配信、テレビでも見なかった。」が高く、『その他』では「会場に行った。若しくはインターネット配信またはテレビで見た。」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
会場に行った。若しくはインターネット配信またはテレビで見た。	38.3	34.6	44.0	42.4	41.0	5.7	49.5
会場に行かなかった。インターネット配信、テレビでも見なかった。	61.1	64.7	56.0	57.6	59.0	91.4	49.5
不明	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	2.9	1.1

【回答者全体】

「福山城を知る・興味を持つきっかけになった」に関する内容が20件と最も多くなっています。次いで、「良かった（ゲスト）」(17件)、「福山城に行きたくなった」(17件)、「良かった（賑わい創出）」(15件) などとなっています。

図表 3-3 福山城400年博オープニングイベント開幕祭を見て感じたこと



(件)

図表 3-4 福山城 400 年博オープニングイベント開幕祭を見て感じたことについての主な意見

福山城を知る・興味を持つきっかけになった (20 件)

自由記述	性別	年代	エリア
テレビ中継で福山城を説明していたのを聞いて、福山城ってそんなお城だったんだということを知りました。	女性	40 歳代	中部
福山城の歴史に興味を持たせる機会となった。	男性	60 歳代	東部
築城時の雰囲気を体感的に理解できた。	男性	60 歳代	北部

良かった (ゲスト) (17 件)

自由記述	性別	年代	エリア
田村淳さんが楽しそうに福山城を紹介してくれたのがとても印象的でした。城にまつわる話も、まだまだ聞きたかったです。	男性	30 歳代	東部
田村淳さんの知識がすごくてとてもおもしろく見ることができた。福山市民の知らない情報ばかりでとても驚いた。田村淳さんの影響力は大きいので、市長の社交辞令でなく観光大使に任命してほしいと思っている。	女性	40 歳代	中部
田村淳さんの熱い語りが福山城の歴史的価値をアップさせた。	女性	70 歳以上	中部

福山城に行きたくなった (17 件)

自由記述	性別	年代	エリア
テレビの生中継を見た。お城の中の雰囲気がわかり、行きたいと思えるようになった。	女性	40 歳代	中部
福山の歴史をあまり知らなかったので築城 400 年ということで今回初めて興味が湧きました。落ち着いたら城の見学に行こうと思います。	男性	50 歳代	北部
コロナ感染の落ち着きを見計らって、ぜひ行って、整備後のお城を見たいと思いました。	女性	60 歳代	神辺

良かった (賑わい創出) (15 件)

自由記述	性別	年代	エリア
生まれてからずっと、福山に住んでいます、過去一番盛り上がってたとおもいます！	女性	20 歳代	中部
たくさんの方が来場され、みんなが楽しみに待ち望んでいたと感じました。イベントも盛り沢山でとても賑やかで楽しかったです。	女性	30 歳代	中部
お城周辺が活気に満ちてウキウキする様な感じがして良かった。	男性	70 歳以上	南部

良かった (催し物) (11 件)

自由記述	性別	年代	エリア
有名な方が来られていたので見てみようと思った。子どもの太鼓等もあり素敵な時間だった。	女性	20 歳代	北部
壮大なスケールで企画が楽しかったです。2 日続けて行きました。琴の演奏も良かった。岡山鉄砲隊も本物の火薬で大変迫力がありました。鉄砲の色々な種類の説明も入ってとても良かった。	女性	60 歳代	中部

誇らしくなった・感動した（10件）

自由記述	性別	年代	エリア
福山城がもとの姿に近いものになり、ただのお飾りではないものになった気がして嬉しい。福山城、福山の歴史を知り、お城がある町として誇りが持てるきっかけになったと思う。	女性	20歳代	北部
お城の大改修が終わり新たに生まれ変わったお城の姿に感動するとともに伏見櫓等の貴重な文化財を守り後世につないでいく重要性和責任を感じた。	男性	60歳代	中部

良かった（福山のPR）（10件）

自由記述	性別	年代	エリア
全国に、福山城を知ってもらえる、いい開幕祭でした。	男性	40歳代	北部
福山の知名度向上に大変アピール出来たと思う。	男性	70歳以上	松永

良かった（テレビ放送内容）（9件）

自由記述	性別	年代	エリア
魅力を感じるテレビ放送の番組内容だった。	男性	60歳代	東部
テレビ放送で見ました。福山城へ行ってみたいと思えるような会場の案内がとても良かったと思います。	女性	70歳以上	神辺

できれば当日は会場に行きたかった（9件）

自由記述	性別	年代	エリア
テレビで見ました。やはり現地で見たかったなあと思いました	女性	40歳代	中部
テレビなどで時々見たが行くには自分一人では行けなく年齢的にも足に自信がなく残念でした。	女性	70歳以上	神辺

これを機に福山を盛り上げたい・盛り上げて欲しい（8件）

自由記述	性別	年代	エリア
テレビで見ました。とても面白かったです。市長の話を生放送で見られるのも珍しく楽しい機会でした。テレビなどマスコミをどんどん活用して福山城をアピールしてください。	女性	50歳代	中部
田村さんを始め、全国的にPRし、なんとか大河ドラマに取り上げていただくよう動いてほしい。	男性	60歳代	中部

不満が残った（コロナ禍の影響）（7件）

自由記述	性別	年代	エリア
新型コロナのこともあり微妙に感じた。	男性	50歳代	東部

不満が残った（会場）（7件）

自由記述	性別	年代	エリア
ベビーカー・車いすの方の動線をスムーズに案内するべきだな、と感じた。	女性	40歳代	中部

不満が残った（その他）（6件）

自由記述	性別	年代	エリア
テレビで見たが、福山城という城を残すのではなく、活用に力が入り過ぎていたように感じた。	男性	70歳以上	北部

不満が残った（テレビ放送内容）（6件）

自由記述	性別	年代	エリア
TVのローカルニュースで見たが、特集番組など、もっと市民にPR出来なかったのかと感じた。	男性	50歳代	東部

大掛かりなイベントだった（6件）

自由記述	性別	年代	エリア
市の催しとして大かがりだった。テレビなどがあると市民としてうれしい。	男性	60歳代	中部

良かった（コロナ禍での開催）（6件）

自由記述	性別	年代	エリア
コロナ禍で様々なイベントが中止になるなか、盛大なイベントが開催できたのはとてもよかったように感じました。	女性	40歳代	中部

不満が残った（イベント開催のPR不足）（5件）

自由記述	性別	年代	エリア
コロナ禍ではあったがもう少しイベントの情報発信を大きくしてもよかったかと思います。知人は知らなかったと聞いたので。	女性	60歳代	東部

不満が残った（催し物）（5件）

自由記述	性別	年代	エリア
あまり興味のあるものがなかった。	女性	40歳代	中部

その他（14件）

自由記述	性別	年代	エリア
お城のライトアップがきれいだった。	女性	70歳以上	北部

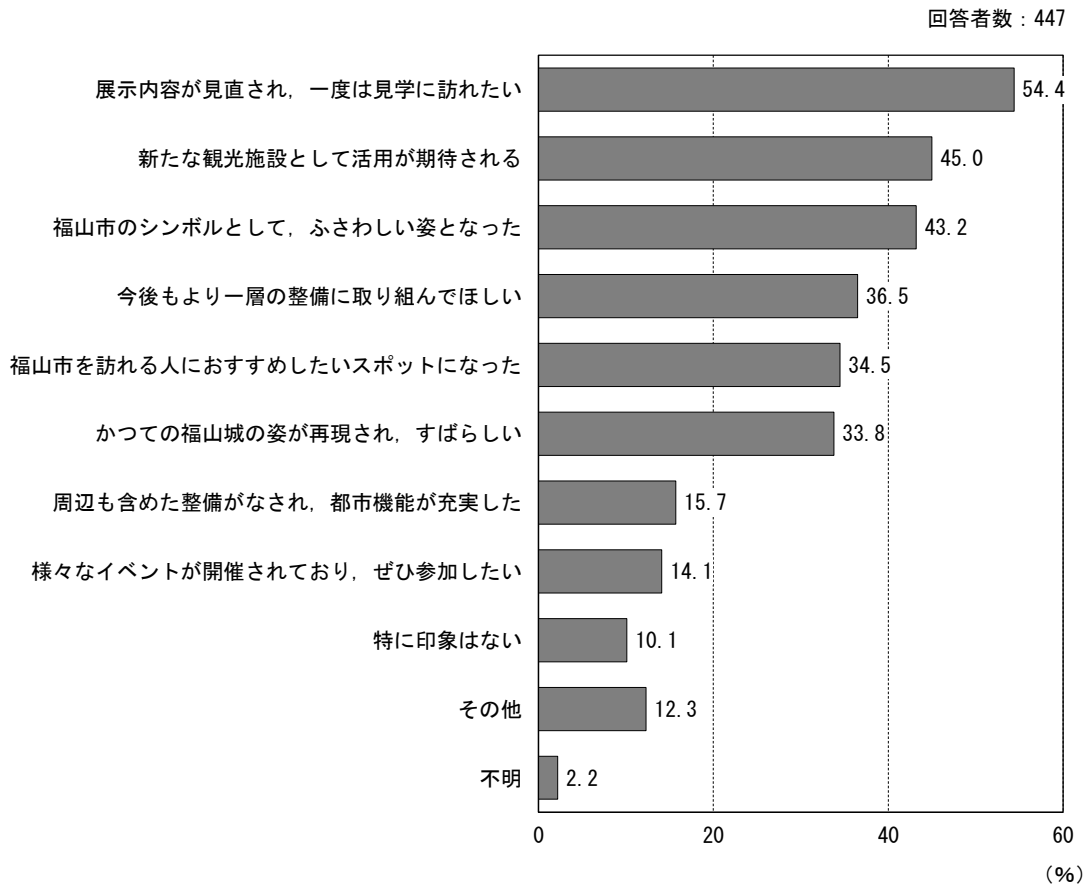
問3

整備後の福山城にどのような印象を持ちましたか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「展示内容が見直され、一度は見学に訪れたい」が54.4%と最も多くなっています。次いで、「新たな観光施設として活用が期待される」(45.0%)、「福山市のシンボルとして、ふさわしい姿となった」(43.2%)となっています。

図表3-5 整備後の福山城の印象



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
ここで終わりではなく継続的なイベントや体験型施設の充実で繰り返していただける場所になって欲しい。	男性	30歳代	中部
福山市を見直すきっかけになった	男性	50歳代	北部
必ず1度は行ってみたいと思っているのでいい機会があったら家族と行こうと思います。	女性	70歳以上	神辺

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』では「福山市のシンボルとして、ふさわしい姿となった」が高く、『女性』では「展示内容が見直され、一度は見学に訪れたい」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』で「福山市のシンボルとして、ふさわしい姿となった」「今後もより一層の整備に取り組んでほしい」などが低くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
福山市のシンボルとして、ふさわしい姿となった	43.2	48.6	38.3	50.0	31.1	48.2	37.5
かつての福山城の姿が再現され、すばらしい	33.8	36.7	30.6	100.0	24.5	38.5	22.5
展示内容が見直され、一度は見学に訪れたい	54.4	47.1	61.3	0.0	55.7	54.5	50.0
福山市を訪れる人におすすめしたいスポットになった	34.5	34.3	34.9	0.0	21.7	39.2	32.5
様々なイベントが開催されており、ぜひ参加したい	14.1	12.4	15.7	0.0	14.2	14.3	12.5
新たな観光施設として活用が期待される	45.0	43.8	46.0	50.0	41.5	46.8	40.0
周辺も含めた整備がなされ、都市機能が充実した	15.7	17.1	14.5	0.0	8.5	18.6	12.5
今後もより一層の整備に取り組んでほしい	36.5	39.5	33.6	50.0	27.4	40.5	30.0
特に印象はない	10.1	11.4	8.9	0.0	12.3	8.3	17.5
その他	12.3	12.9	11.9	0.0	11.3	13.0	10.0
不明	2.2	4.3	0.4	0.0	0.0	2.7	5.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「特に印象はない」が高く、『60歳代』では「福山市のシンボルとして、ふさわしい姿となった」が高く、『70歳以上』では「福山市のシンボルとして、ふさわしい姿となった」「新たな観光施設として活用が期待される」などが高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
福山市のシンボルとして、ふさわしい姿となった	43.2	36.0	31.9	28.0	36.1	36.1	53.3	65.2
かつての福山城の姿が再現され、すばらしい	33.8	8.0	19.1	13.3	34.7	42.6	37.3	55.4
展示内容が見直され、一度は見学に訪れたい	54.4	40.0	42.6	49.3	55.6	63.9	54.7	60.9
福山市を訪れる人におすすめしたいスポットになった	34.5	20.0	23.4	21.3	33.3	32.8	44.0	48.9
様々なイベントが開催されており、ぜひ参加したい	14.1	16.0	12.8	17.3	12.5	14.8	10.7	15.2
新たな観光施設として活用が期待される	45.0	32.0	29.8	42.7	38.9	42.6	49.3	60.9
周辺も含めた整備がなされ、都市機能が充実した	15.7	12.0	14.9	8.0	8.3	13.1	24.0	23.9
今後もより一層の整備に取り組んでほしい	36.5	36.0	40.4	26.7	19.4	41.0	42.7	47.8
特に印象はない	10.1	28.0	17.0	14.7	11.1	4.9	5.3	4.3
その他	12.3	0.0	6.4	9.3	16.7	13.1	16.0	14.1
不明	2.2	0.0	0.0	1.3	0.0	1.6	1.3	7.6

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』で「特に印象はない」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
福山市のシンボルとして、ふさわしい姿となった	43.2	46.7	32.1	41.7	38.2	42.9	51.2	36.0	0.0
かつての福山城の姿が再現され、すばらしい	33.8	38.5	25.0	33.3	26.5	31.7	36.6	32.0	0.0
展示内容が見直され、一度は見学に訪れたい	54.4	61.5	42.9	45.8	42.6	60.3	58.5	36.0	0.0
福山市を訪れる人におすすめしたいスポットになった	34.5	40.0	28.6	20.8	26.5	36.5	36.6	28.0	0.0
様々なイベントが開催されており、ぜひ参加したい	14.1	16.9	7.1	16.7	4.4	19.0	12.2	16.0	0.0
新たな観光施設として活用が期待される	45.0	46.7	21.4	45.8	41.2	50.8	51.2	44.0	33.3
周辺も含めた整備がなされ、都市機能が充実した	15.7	20.5	10.7	8.3	2.9	19.0	12.2	24.0	0.0
今後もより一層の整備に取り組んでほしい	36.5	40.0	21.4	33.3	30.9	38.1	41.5	32.0	33.3
特に印象はない	10.1	7.2	28.6	12.5	16.2	4.8	4.9	16.0	0.0
その他	12.3	10.8	14.3	8.3	13.2	11.1	19.5	16.0	0.0
不明	2.2	1.0	0.0	0.0	4.4	3.2	4.9	0.0	33.3

職業別でみると、回答者全体と比較して、『主夫・主婦』で「展示内容が見直され、一度は見学に訪れたい」「新たな観光施設として活用が期待される」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
福山市のシンボルとして、ふさわしい姿となった	43.2	36.6	36.0	51.5	48.2	34.3	53.8
かつての福山城の姿が再現され、すばらしい	33.8	27.5	38.0	30.3	41.0	11.4	45.2
展示内容が見直され、一度は見学に訪れたい	54.4	46.4	64.0	54.5	69.9	42.9	52.7
福山市を訪れる人におすすめしたいスポットになった	34.5	31.4	26.0	33.3	38.6	22.9	45.2
様々なイベントが開催されており、ぜひ参加したい	14.1	15.7	14.0	6.1	15.7	14.3	12.9
新たな観光施設として活用が期待される	45.0	35.3	44.0	42.4	60.2	28.6	54.8
周辺も含めた整備がなされ、都市機能が充実した	15.7	13.1	6.0	9.1	22.9	17.1	20.4
今後もより一層の整備に取り組んでほしい	36.5	32.7	36.0	33.3	36.1	37.1	44.1
特に印象はない	10.1	13.7	2.0	9.1	6.0	20.0	8.6
その他	12.3	11.1	10.0	15.2	14.5	2.9	16.1
不明	2.2	1.3	0.0	0.0	3.6	0.0	5.4

問4-1

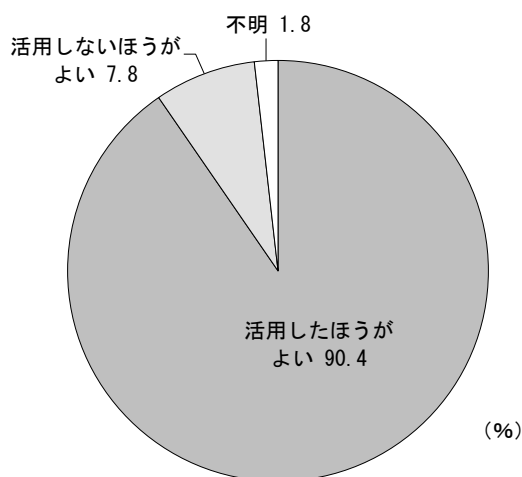
今年度、福山城で「お城に泊まる」体験（城泊）を実証実施する予定です。こういった城泊や広場でのイベントのほか、MICE※の会場として使用するといった福山城の新たな活用についてどのように思いますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「活用したほうがよい」（90.4%）が「活用しないほうがよい」（7.8%）を大きく上回っています。

図表3-6 福山城の新たな活用についての意向

回答者数：447



【属性別】

性別と子育て世帯別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
活用したほうがよい	90.4	88.6	92.3	50.0	92.5	90.4	85.0
活用しないほうがよい	7.8	8.6	7.2	0.0	7.5	7.6	10.0
不明	1.8	2.9	0.4	50.0	0.0	2.0	5.0

年代別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
活用したほうがよい	90.4	100.0	87.2	94.7	95.8	96.7	84.0	82.6
活用しないほうがよい	7.8	0.0	12.8	5.3	2.8	3.3	13.3	12.0
不明	1.8	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	2.7	5.4

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』で「活用しないほうがよい」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
活用したほうがよい	90.4	90.3	82.1	91.7	89.7	92.1	92.7	92.0	100.0
活用しないほうがよい	7.8	8.2	17.9	4.2	8.8	6.3	4.9	4.0	0.0
不明	1.8	1.5	0.0	4.2	1.5	1.6	2.4	4.0	0.0

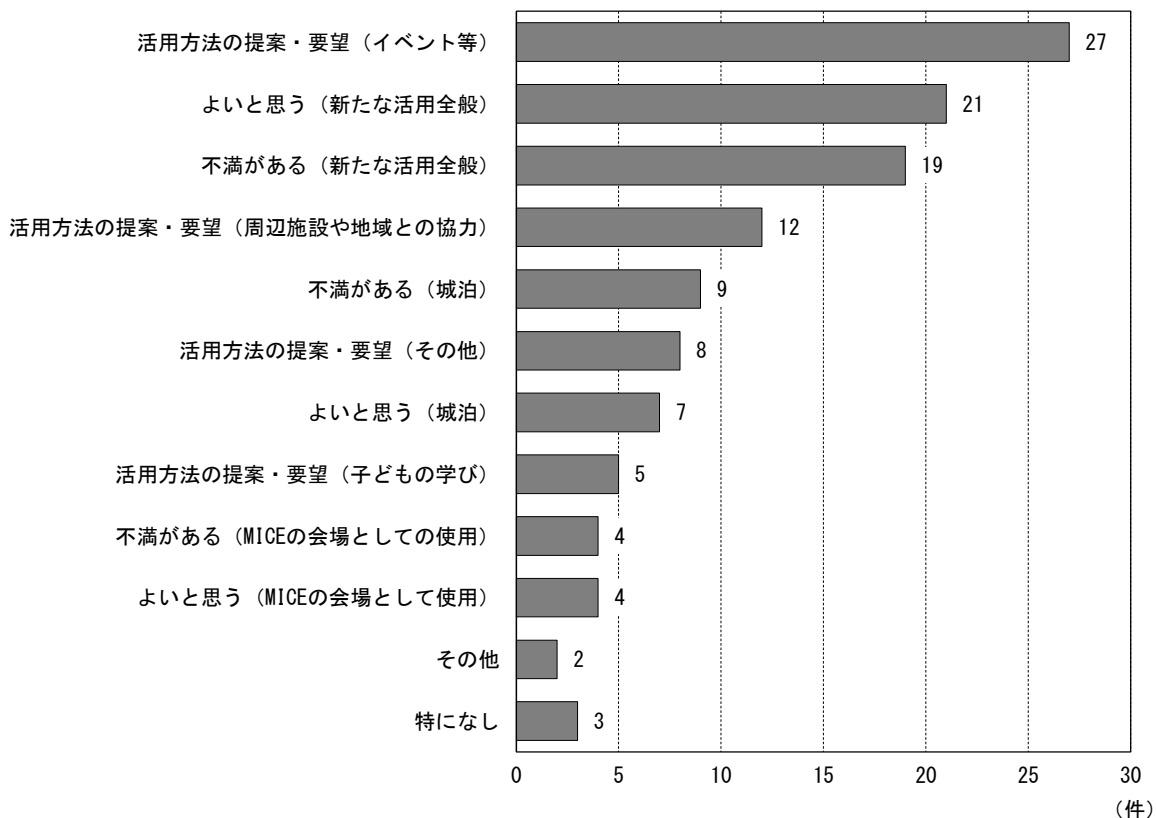
職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』で「活用しないほうがよい」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
活用したほうがよい	90.4	95.4	94.0	81.8	86.7	97.1	83.9
活用しないほうがよい	7.8	4.6	6.0	18.2	10.8	2.9	9.7
不明	1.8	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	6.5

【回答者全体】

「活用方法の提案・要望（イベント等）」に関する内容が 27 件と最も多くなっています。次いで、「よいと思う（新たな活用全般）」（21 件）、「不満がある（新たな活用全般）」（19 件）などとなっています。

図表 3-7 福山城の新たな活用について



図表 3-8 福山城の新たな活用についての主な意見

活用方法の提案・要望（イベント等）（27 件）

自由記述	性別	年代	エリア
天守前広場や北側の広場を利用しての出店やイベント。ゆっくりくつろげるスペースがあればいいと思う。	女性	30 歳代	中部
福山在住の人限定で結婚式などができるようになれば、他県から来る参列者の利便性だけでなく、同時に福山のアピールもできると思います。さらに、スポンサーとして福山にあるアピールしたい企業や人材を求めている企業がいれば、費用の面でも若者は助かると思います。	男性	40 歳代	東部
当時の食事や雰囲気を楽しめるのは興味がある。 当時のスイーツが食べられる茶店は常設して欲しい。 やはり観光地と食は切っても切り離せない。	女性	40 歳代	中部
テレビに出ていた田村淳さんがお城を案内する日を作る。ミス福山城か城主・奥方を選ぶイベント。	女性	70 歳以上	南部

よいと思う（新たな活用全般）（21件）

自由記述	性別	年代	エリア
時代の変化に合わせて、どんどん活用していくと良いと思う。	女性	30歳代	中部
活用しなければ知名度が上がらない。	女性	40歳代	松永
現存12天守ではないのだから、天守は気楽に使用したらいいと思う。	男性	50歳代	神辺
素晴らしい試みです。更に饗応料理をランチメニューなり弁当として販売してほしい。	男性	70歳以上	東部

不満がある（新たな活用全般）（19件）

自由記述	性別	年代	エリア
福山城の保存は所有者である福山市に責任があるのであり、行政業務として対象物の現状変更には制限をかけ、後世に残していくことが本来の立場のはず。民間業者に委託などして安易に文化財で事業ができるようにするなどの取り組みをすべきではない。これを皮切りに広範な他の文化財にも適用されれば、文化財保護への市民意識を損ねることに繋がりがかねない。保存するために学芸員などの資格を有する職員を育成・増員し、社会教育機能を充実させる取り組みを検討すべき。	男性	30歳代	東部
価値のわからない人に利用してもらいたくないので基準はしっかり設定してもらいたい	女性	50歳代	神辺
MICEなど新しい試みを始めようとする考えには反対しないが、はたして長続きするのか。お城と何の意味や関係があるのか。	女性	70歳以上	北部

活用方法の提案・要望（周辺施設や地域との協力）（12件）

自由記述	性別	年代	エリア
新幹線からお城が見えるという特徴を生かし、JRきっぷと福山城内のチケットをセット販売するなど、外から来る人が福山城へ行く仕掛けをどんどんやっていくべきだと思う。	男性	30歳代	北部
城自体を活用するのは集客には繋がらないと思う。周辺に土産屋等の建物を作らないと、観光地にはなり得ない。	女性	40歳代	中部
福山駅に途中下車してでも、福山城観光をしたくなるような観光案内や観光広告、「お城大好き芸能人」を呼んでのイベントを毎月のように行っていくとかするのと同時に、宿泊施設のガイドなどを充実させて、「お城の駅福山駅」を大々的にPRして欲しい。それによって、街の活性化も図られていくような気がします。また、鞆の浦も福山城とはゆかりのある地なので、ミニ観光バスによる周遊コースを設定するのもよいかと思います。時間を決めて、途中下車した観光客が、宿泊しなくても観光できるような工夫もしてもらえたらと思います。	男性	70歳以上	東部

不満がある（城泊）（9件）

自由記述	性別	年代	エリア
お城に泊まれるので、話題性は抜群ですが、料金が高いので庶民にはあまり身近に感じる事が出来ませんね。もう少し、みんなが集えるイベントを開催して欲しい。	女性	50歳代	中部
城泊は殿様気分をどう味わってもらえるか。食事・接待のもてなしを十分検討して欲しい。又価格に見合うもてなしを期待したい。	男性	70歳以上	中部

活用方法の提案・要望（その他）（8件）

自由記述	性別	年代	エリア
民間委託による活用。	男性	60歳代	北部

よいと思う（城泊）（7件）

自由記述	性別	年代	エリア
面白い試みだと思う。 既に宿泊を実施している城の実状も調べてほしい。	男性	30歳代	東部

活用方法の提案・要望（子どもの学び）（5件）

自由記述	性別	年代	エリア
VRやARを利用して、元々のお堀や城壁を再現した光景をみたい。 福山市の子どもたちに、福山南部のほとんどは海や川でできていたことや、それがどのように今の状況に変化していったか感覚的に体験してほしい。小中学生全員にタブレット端末が貸与されているので、連携して新しい体験をしてほしい。	女性	40歳代	中部

不満がある（MICEの会場としての使用）（4件）

自由記述	性別	年代	エリア
ホワイトボードや机の持ち込みで傷つくのではないかな。また、観光に来た際にミーティングされていたら観光しにくいのではないかな。コンセント過多で火災などにならないかな。	女性	20歳代	中部

よいと思う（MICEの会場として使用）（4件）

自由記述	性別	年代	エリア
MICEの会場として使用することを通して、利用者に福山城の歴史や福山の料理文化を伝えることができたら良いなと思った。	男性	20歳代	南部

その他（2件）

自由記述	性別	年代	エリア
全国でも珍しい催し。	男性	70歳以上	中部

問5

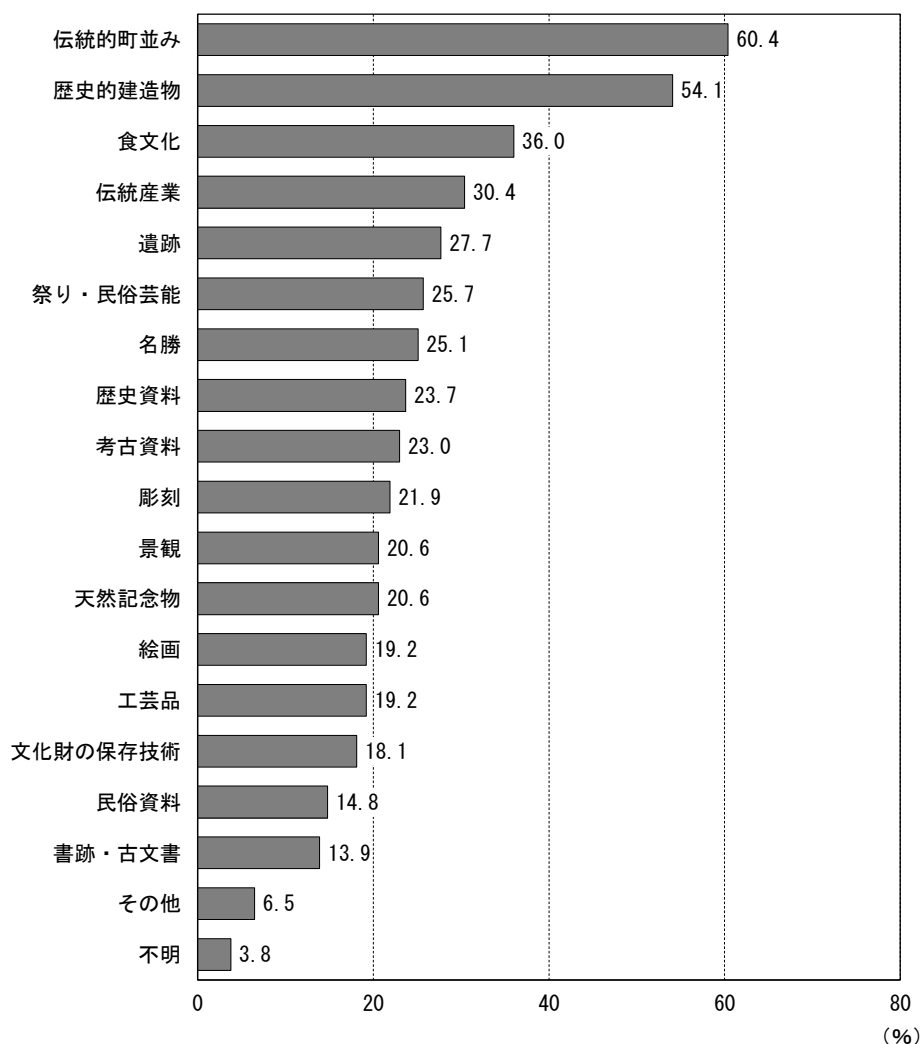
興味を持ったり、知りたいと思う文化財がありますか。当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「伝統的町並み」が60.4%と最も多く、次いで、「歴史的建造物」(54.1%)となっています。

図表 3-9 興味を持っている、知りたいと思う文化財

回答者数：447



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
新市で行われる喧嘩神輿の歴史について	女性	10 歳代	北部
市内でもくわいの知名度が落ちてきているように思うので、ローカルなスーパーマーケットで販売されるおせちなどには必須にするようお願いするなどしてはどうか？	女性	20 歳代	中部
博物館の草戸千軒個人的に好きです。大人になってからも何度もいきました。	女性	30 歳代	中部
現在の福山市全体の古地図	男性	40 歳代	東部
堂々公園、御野の古墳群 なぜもっと押さない？	男性	50 歳代	神辺
服部地域 八幡神社 打ち上げ奉納	男性	60 歳代	北部
水野神社（内海町）	女性	70 歳以上	南部

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』で「食文化」が低くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「食文化」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
歴史的建造物	54.1	57.6	51.1	50.0	48.1	57.1	47.5
伝統的町並み	60.4	59.0	61.3	100.0	63.2	59.1	62.5
歴史資料	23.7	27.6	20.0	50.0	13.2	27.6	22.5
絵画	19.2	14.8	23.4	0.0	10.4	20.9	30.0
彫刻	21.9	20.5	22.6	100.0	15.1	24.6	20.0
工芸品	19.2	17.6	20.4	50.0	15.1	20.3	22.5
書跡・古文書	13.9	12.9	14.5	50.0	8.5	15.0	20.0
考古資料	23.0	24.8	21.3	50.0	17.9	23.9	30.0
民俗資料	14.8	13.3	16.2	0.0	13.2	15.9	10.0
祭り・民俗芸能	25.7	24.8	26.8	0.0	20.8	26.9	30.0
遺跡	27.7	30.0	25.5	50.0	28.3	26.2	37.5
名勝	25.1	26.2	23.4	100.0	17.0	28.2	22.5
天然記念物	20.6	16.7	24.3	0.0	20.8	21.3	15.0
景観	20.6	20.5	20.9	0.0	16.0	20.9	30.0
文化財の保存技術	18.1	14.8	20.9	50.0	11.3	20.3	20.0
伝統産業	30.4	28.6	31.9	50.0	19.8	33.2	37.5
食文化	36.0	30.5	40.9	50.0	41.5	35.5	25.0
その他	6.5	8.6	4.3	50.0	1.9	8.3	5.0
不明	3.8	5.2	2.6	0.0	3.8	4.3	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『20 歳代』では「天然記念物」が高く、『70 歳以上』では「歴史的建造物」「歴史資料」「伝統産業」などが高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
歴史的建造物	54.1	28.0	42.6	46.7	54.2	49.2	62.7	69.6
伝統的町並み	60.4	56.0	59.6	65.3	52.8	62.3	58.7	64.1
歴史資料	23.7	8.0	8.5	14.7	16.7	18.0	30.7	46.7
絵画	19.2	12.0	25.5	10.7	11.1	9.8	22.7	34.8
彫刻	21.9	12.0	17.0	12.0	18.1	24.6	21.3	37.0
工芸品	19.2	12.0	23.4	13.3	13.9	14.8	21.3	29.3
書跡・古文書	13.9	8.0	8.5	10.7	8.3	11.5	17.3	23.9
考古資料	23.0	16.0	10.6	14.7	16.7	21.3	30.7	38.0
民俗資料	14.8	8.0	12.8	17.3	8.3	14.8	10.7	23.9
祭り・民俗芸能	25.7	20.0	34.0	25.3	13.9	23.0	25.3	34.8
遺跡	27.7	24.0	23.4	22.7	25.0	27.9	30.7	34.8
名勝	25.1	20.0	14.9	17.3	19.4	26.2	28.0	39.1
天然記念物	20.6	28.0	31.9	17.3	16.7	18.0	13.3	26.1
景観	20.6	28.0	23.4	24.0	9.7	19.7	16.0	27.2
文化財の保存技術	18.1	4.0	8.5	9.3	15.3	19.7	28.0	27.2
伝統産業	30.4	24.0	25.5	24.0	19.4	26.2	37.3	45.7
食文化	36.0	44.0	44.7	37.3	45.8	36.1	29.3	26.1
その他	6.5	0.0	0.0	2.7	5.6	3.3	12.0	13.0
不明	3.8	4.0	0.0	2.7	4.2	4.9	1.3	7.6

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「天然記念物」が高く、『松永』では「伝統産業」が高く、『東部』では「祭り・民俗芸能」が高く、『神辺』では「歴史的建造物」「歴史資料」などが高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
歴史的建造物	54.1	55.4	46.4	50.0	50.0	52.4	73.2	44.0	33.3
伝統的町並み	60.4	62.6	67.9	50.0	47.1	66.7	65.9	56.0	66.7
歴史資料	23.7	22.6	21.4	25.0	16.2	19.0	51.2	20.0	33.3
絵画	19.2	21.5	14.3	4.2	16.2	19.0	26.8	20.0	0.0
彫刻	21.9	24.6	17.9	12.5	11.8	23.8	31.7	24.0	0.0
工芸品	19.2	19.5	17.9	4.2	17.6	19.0	29.3	24.0	0.0
書跡・古文書	13.9	13.3	7.1	4.2	8.8	12.7	36.6	12.0	33.3
考古資料	23.0	23.6	10.7	20.8	19.1	25.4	43.9	8.0	0.0
民俗資料	14.8	15.4	7.1	12.5	8.8	17.5	29.3	8.0	0.0
祭り・民俗芸能	25.7	27.7	14.3	20.8	14.7	36.5	34.1	20.0	0.0
遺跡	27.7	29.2	10.7	20.8	27.9	27.0	39.0	28.0	0.0
名勝	25.1	24.1	14.3	20.8	23.5	30.2	31.7	32.0	0.0
天然記念物	20.6	19.5	32.1	20.8	13.2	17.5	29.3	28.0	33.3
景観	20.6	18.5	21.4	12.5	19.1	28.6	24.4	20.0	33.3
文化財の保存技術	18.1	16.4	14.3	12.5	17.6	25.4	26.8	12.0	0.0
伝統産業	30.4	29.7	21.4	50.0	30.9	30.2	34.1	20.0	33.3
食文化	36.0	43.1	28.6	33.3	22.1	33.3	36.6	36.0	33.3
その他	6.5	6.2	7.1	0.0	10.3	6.3	4.9	8.0	0.0
不明	3.8	1.5	3.6	8.3	5.9	6.3	2.4	8.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「文化財の保存技術」が高く、『自営業』では「考古資料」が高く、『主夫・主婦』では「伝統産業」などが高く、『学生』では「食文化」などが高く、『その他』では「歴史的建造物」「歴史資料」「遺跡」などが高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
歴史的建造物	54.1	51.6	54.0	45.5	60.2	31.4	64.5
伝統的町並み	60.4	57.5	58.0	54.5	66.3	60.0	63.4
歴史資料	23.7	15.7	10.0	27.3	32.5	8.6	40.9
絵画	19.2	10.5	14.0	21.2	32.5	17.1	24.7
彫刻	21.9	15.7	20.0	21.2	30.1	8.6	31.2
工芸品	19.2	15.0	14.0	24.2	24.1	11.4	25.8
書跡・古文書	13.9	5.9	16.0	21.2	19.3	5.7	21.5
考古資料	23.0	11.8	22.0	33.3	31.3	14.3	34.4
民俗資料	14.8	9.8	14.0	21.2	25.3	8.6	14.0
祭り・民俗芸能	25.7	24.2	22.0	21.2	32.5	22.9	26.9
遺跡	27.7	20.9	22.0	27.3	31.3	22.9	40.9
名勝	25.1	16.3	28.0	27.3	28.9	20.0	35.5
天然記念物	20.6	14.4	14.0	18.2	31.3	34.3	20.4
景観	20.6	15.0	20.0	27.3	20.5	28.6	24.7
文化財の保存技術	18.1	8.5	32.0	15.2	24.1	8.6	25.8
伝統産業	30.4	20.3	32.0	24.2	42.2	28.6	38.7
食文化	36.0	35.9	40.0	33.3	37.3	51.4	28.0
その他	6.5	3.3	2.0	15.2	6.0	0.0	14.0
不明	3.8	4.6	0.0	6.1	3.6	2.9	4.3

問6

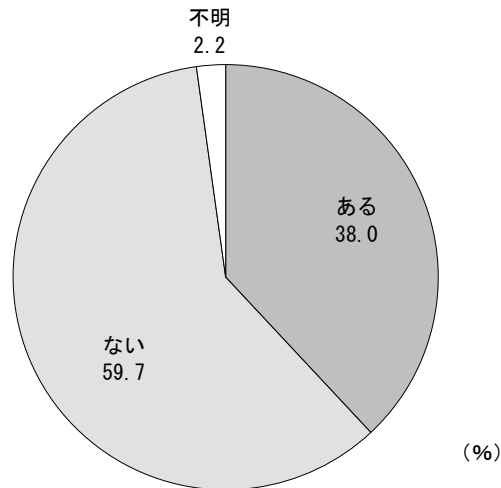
日常生活で文化財に関わったり，文化財を意識したりすることはありますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では，「ない」(59.7%)が「ある」(38.0%)を上回っています。

図表3-10 日常生活で文化財へ関わることや，文化財を意識すること

回答者数：447



【属性別】

性別でみると，回答者全体と比較して，『男性』では「ある」が高く，『女性』では「ない」が高くなっています。

子育て世帯別でみると，回答者全体と比較して，『はい(子育て世帯)』で「ない」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
ある	38.0	48.1	28.5	100.0	29.2	40.5	42.5
ない	59.7	51.0	68.1	0.0	70.8	56.8	52.5
不明	2.2	1.0	3.4	0.0	0.0	2.7	5.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』から『30歳代』では「ない」が高く、『60歳代』『70歳以上』では「ある」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
ある	38.0	16.0	19.1	22.7	36.1	42.6	56.0	50.0
ない	59.7	84.0	78.7	77.3	62.5	57.4	38.7	45.7
不明	2.2	0.0	2.1	0.0	1.4	0.0	5.3	4.3

エリア別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
ある	38.0	39.5	35.7	41.7	35.3	36.5	34.1	40.0	66.7
ない	59.7	58.5	60.7	58.3	63.2	58.7	63.4	60.0	33.3
不明	2.2	2.1	3.6	0.0	1.5	4.8	2.4	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』『学生』では「ない」が高く、『自営業』『その他』では「ある」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
ある	38.0	33.3	30.0	51.5	41.0	17.1	50.5
ない	59.7	66.0	70.0	48.5	53.0	80.0	46.2
不明	2.2	0.7	0.0	0.0	6.0	2.9	3.2

問7

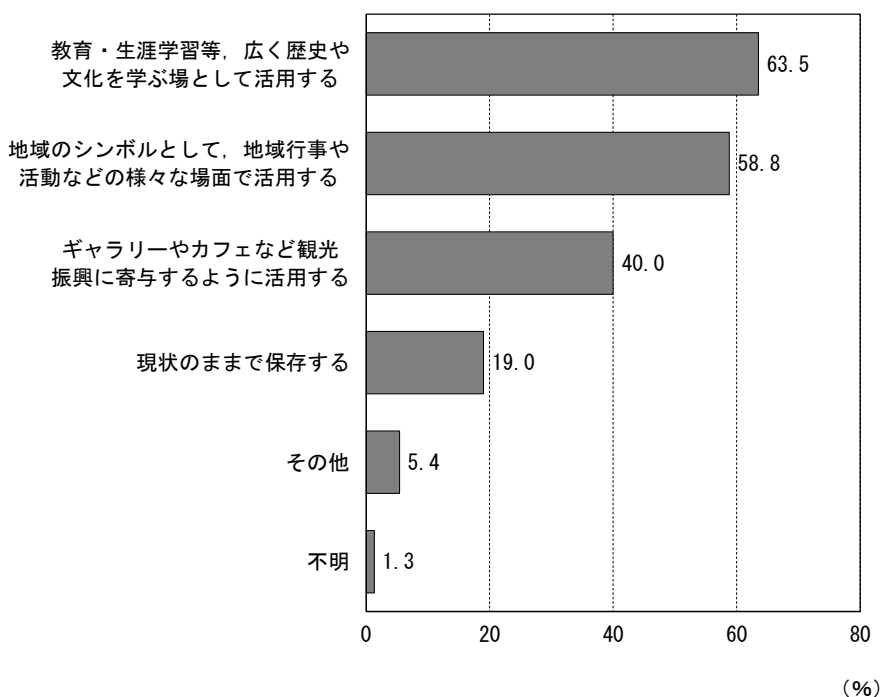
あなたは、文化財をどのように活用すればいいと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「教育・生涯学習等，広く歴史や文化を学ぶ場として活用する」が63.5%と最も多く、次いで、「地域のシンボルとして，地域行事や活動などの様々な場面で活用する」(58.8%)となっています。

図表 3-11 文化財の活用方法

回答者数：447



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
伝統は残しながらも今に活かすような活用をしないと，ものは残っても人の心に残らないと思います。	男性	10 歳代	北部
文化財の価値を興味深く教えられる人を探す。	男性	20 歳代	中部
文化財の周辺も含めて，活性化されなければ人が集まらない。市民まで興味を持ってもらえない。	女性	30 歳代	中部
観光に力を入れて欲しい。福山は鞆は有名だがそれ以外は全く知られていない。	女性	40 歳代	東部
学校の授業で使える様な DVD を作り，学校でも観てもらう時間を作り，子どもの中から知識として教える。	女性	50 歳代	神辺
鞆の寺の古文書を整理したらどうか。	女性	60 歳代	中部
文化財の保存はできるだけ現状保存可能な手のつけ方が要求される。	男性	70 歳以上	北部

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「教育・生涯学習等、広く歴史や文化を学ぶ場として活用する」「ギャラリーやカフェなど観光振興に寄与するように活用する」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
地域のシンボルとして、地域行事や活動などの様々な場面で活用する	58.8	61.4	56.2	100.0	51.9	61.8	55.0
教育・生涯学習等、広く歴史や文化を学ぶ場として活用する	63.5	58.6	67.7	100.0	68.9	62.8	55.0
ギャラリーやカフェなど観光振興に寄与するように活用する	40.0	35.2	44.3	50.0	46.2	37.9	40.0
現状のままで保存する	19.0	22.4	16.2	0.0	13.2	20.3	25.0
その他	5.4	6.2	4.7	0.0	8.5	5.0	0.0
不明	1.3	1.0	1.7	0.0	0.0	2.0	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』で「ギャラリーやカフェなど観光振興に寄与するように活用する」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
地域のシンボルとして、地域行事や活動などの様々な場面で活用する	58.8	60.0	53.2	60.0	54.2	55.7	62.7	63.0
教育・生涯学習等、広く歴史や文化を学ぶ場として活用する	63.5	56.0	59.6	61.3	65.3	50.8	70.7	70.7
ギャラリーやカフェなど観光振興に寄与するように活用する	40.0	56.0	48.9	42.7	48.6	41.0	34.7	26.1
現状のままで保存する	19.0	20.0	17.0	12.0	19.4	23.0	21.3	20.7
その他	5.4	4.0	2.1	8.0	9.7	4.9	1.3	5.4
不明	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	5.4

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『東部』では「地域のシンボルとして、地域行事や活動などの様々な場面で活用する」が高く、『神辺』では「教育・生涯学習等、広く歴史や文化を学ぶ場として活用する」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
地域のシンボルとして、地域行事や活動などの様々な場面で活用する	58.8	58.5	46.4	66.7	48.5	69.8	58.5	68.0	66.7
教育・生涯学習等、広く歴史や文化を学ぶ場として活用する	63.5	65.1	50.0	58.3	63.2	61.9	78.0	56.0	33.3
ギャラリーやカフェなど観光振興に寄与するように活用する	40.0	45.1	42.9	33.3	38.2	31.7	29.3	44.0	66.7
現状のままで保存する	19.0	15.9	28.6	12.5	26.5	12.7	24.4	28.0	0.0
その他	5.4	5.1	3.6	4.2	5.9	7.9	4.9	4.0	0.0
不明	1.3	1.5	0.0	0.0	0.0	3.2	2.4	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『学生』では「ギャラリーやカフェなど観光振興に寄与するように活用する」が高く、『その他』では「教育・生涯学習等、広く歴史や文化を学ぶ場として活用する」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
地域のシンボルとして、地域行事や活動などの様々な場面で活用する	58.8	58.8	50.0	63.6	60.2	60.0	60.2
教育・生涯学習等、広く歴史や文化を学ぶ場として活用する	63.5	52.9	70.0	48.5	69.9	62.9	77.4
ギャラリーやカフェなど観光振興に寄与するように活用する	40.0	43.1	46.0	48.5	31.3	51.4	32.3
現状のままで保存する	19.0	18.3	14.0	24.2	20.5	17.1	20.4
その他	5.4	5.9	10.0	6.1	3.6	0.0	5.4
不明	1.3	0.0	0.0	3.0	4.8	0.0	1.1

問 8

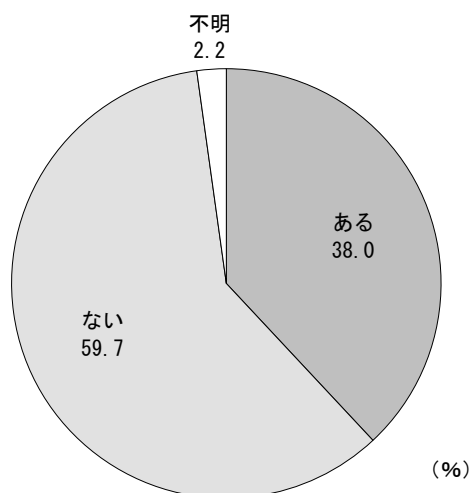
本市の各地域では多種多様な団体が文化財の保存と活用の取組を行っていますが、これらの活動に対して関心はありますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「ない」(59.7%)が「ある」(38.0%)を上回っています。

図表 3-12 文化財の保存と活用に取り組む団体の活動への関心

回答者数：447



【属性別】

性別で見ると、回答者全体と比較して、『男性』では「ある」が高く、『女性』では「ない」が高くなっています。

子育て世帯別で見ると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』で「ない」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
ある	38.0	43.3	32.8	100.0	29.2	41.2	37.5
ない	59.7	53.8	65.5	0.0	70.8	56.1	57.5
不明	2.2	2.9	1.7	0.0	0.0	2.7	5.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』から『30歳代』では「ない」が高く、『70歳以上』では「ある」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
ある	38.0	28.0	29.8	22.7	36.1	41.0	45.3	51.1
ない	59.7	72.0	70.2	77.3	63.9	59.0	53.3	39.1
不明	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	9.8

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』『松永』では「ない」が高く、『神辺』では「ある」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
ある	38.0	42.6	25.0	20.8	33.8	38.1	63.4	8.0	0.0
ない	59.7	56.4	75.0	75.0	61.8	55.6	36.6	92.0	100.0
不明	2.2	1.0	0.0	4.2	4.4	6.3	0.0	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』『その他』で「ない」が低くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
ある	38.0	31.4	36.0	45.5	42.2	31.4	46.2
ない	59.7	68.6	64.0	45.5	55.4	68.6	48.4
不明	2.2	0.0	0.0	9.1	2.4	0.0	5.4

問9

【問8で「ある」と答えた方にお聞きします。】

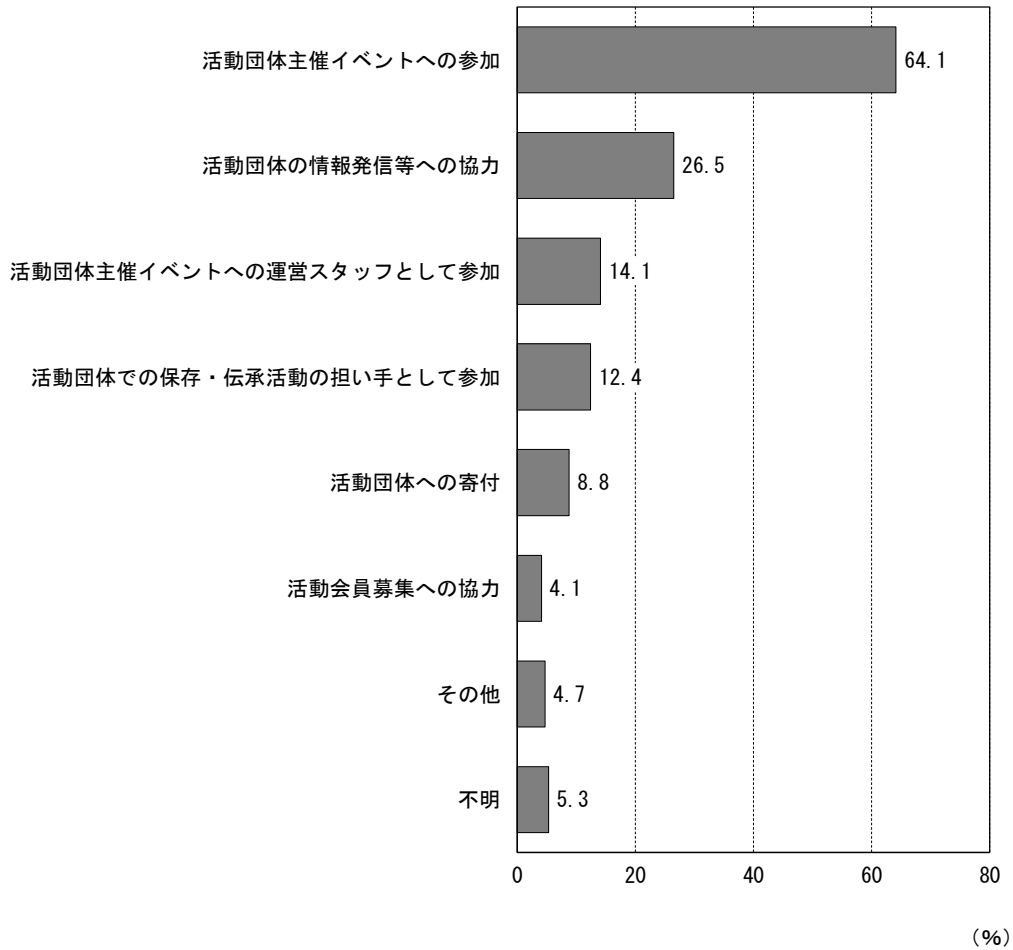
問8の団体の活動について、どのような活動に関心がある、または参加したいですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「活動団体主催イベントへの参加」が64.1%と顕著に多くなっています。

図表 3-13 文化財の保存と活用に取り組む団体の活動のうち、関心がある又は参加したいと思う内容

回答者数：170



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
親子2世代で活動に参加したい。	男性	40歳代	中部
新聞や広報で情報発信してくれたら読みたい。	男性	60歳代	神辺
体力がないので直接参加は難しいが、活動内容や写真記録などをまとめて書籍として発行してほしい。	女性	60歳代	神辺
問8以外の団体で活動しています。	男性	70歳以上	中部

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』で「活動団体の情報発信等への協力」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「活動団体主催イベントへの運営スタッフとして参加」「活動団体での保存・伝承活動の担い手として参加」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	170	91	77	2	31	124	15
活動団体主催イベントへの参加	64.1	61.5	66.2	100.0	64.5	64.5	60.0
活動団体主催イベントへの運営スタッフとして参加	14.1	13.2	15.6	0.0	22.6	12.1	13.3
活動団体での保存・伝承活動の担い手として参加	12.4	14.3	10.4	0.0	19.4	10.5	13.3
活動団体への寄付	8.8	6.6	11.7	0.0	6.5	9.7	6.7
活動団体の情報発信等への協力	26.5	34.1	18.2	0.0	19.4	26.6	40.0
活動会員募集への協力	4.1	4.4	3.9	0.0	3.2	4.8	0.0
その他	4.7	4.4	5.2	0.0	0.0	6.5	0.0
不明	5.3	5.5	5.2	0.0	3.2	5.6	6.7

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「活動団体主催イベントへの運営スタッフとして参加」が高く、『20歳代』では「活動団体主催イベントへの運営スタッフとして参加」「活動団体での保存・伝承活動の担い手として参加」が高く、『40歳代』では「活動団体での保存・伝承活動の担い手として参加」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	170	7	14	17	26	25	34	47
活動団体主催イベントへの参加	64.1	42.9	57.1	58.8	69.2	72.0	58.8	68.1
活動団体主催イベントへの運営スタッフとして参加	14.1	57.1	35.7	23.5	7.7	16.0	2.9	8.5
活動団体での保存・伝承活動の担い手として参加	12.4	14.3	35.7	5.9	23.1	12.0	5.9	6.4
活動団体への寄付	8.8	0.0	14.3	11.8	3.8	4.0	17.6	6.4
活動団体の情報発信等への協力	26.5	28.6	14.3	29.4	26.9	20.0	23.5	34.0
活動会員募集への協力	4.1	0.0	0.0	11.8	7.7	0.0	0.0	6.4
その他	4.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	11.8	4.3
不明	5.3	14.3	0.0	0.0	3.8	4.0	5.9	8.5

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「活動団体主催イベントへの参加」「活動団体の情報発信等への協力」が高く、『松永』では「活動団体の情報発信等への協力」「活動団体への寄付」が高く、『東部』では「活動団体の情報発信等への協力」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	170	83	7	5	23	24	26	2	0
活動団体主催イベントへの参加	64.1	67.5	85.7	60.0	56.5	62.5	57.7	50.0	#DIV/0!
活動団体主催イベントへの運営スタッフとして参加	14.1	13.3	14.3	0.0	17.4	20.8	11.5	0.0	#DIV/0!
活動団体での保存・伝承活動の担い手として参加	12.4	10.8	0.0	0.0	21.7	16.7	11.5	0.0	#DIV/0!
活動団体への寄付	8.8	6.0	0.0	20.0	8.7	16.7	11.5	0.0	#DIV/0!
活動団体の情報発信等への協力	26.5	25.3	42.9	60.0	26.1	37.5	11.5	0.0	#DIV/0!
活動会員募集への協力	4.1	1.2	0.0	0.0	4.3	12.5	7.7	0.0	#DIV/0!
その他	4.7	1.2	0.0	0.0	8.7	4.2	11.5	50.0	#DIV/0!
不明	5.3	6.0	0.0	0.0	0.0	4.2	11.5	0.0	#DIV/0!

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「活動団体への寄付」が高く、『学生』では「活動団体主催イベントへの運営スタッフとして参加」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	170	48	18	15	35	11	43
活動団体主催イベントへの参加	64.1	60.4	66.7	73.3	65.7	45.5	67.4
活動団体主催イベントへの運営スタッフとして参加	14.1	16.7	11.1	6.7	8.6	45.5	11.6
活動団体での保存・伝承活動の担い手として参加	12.4	16.7	16.7	13.3	8.6	18.2	7.0
活動団体への寄付	8.8	4.2	22.2	13.3	5.7	18.2	7.0
活動団体の情報発信等への協力	26.5	22.9	27.8	33.3	17.1	27.3	34.9
活動会員募集への協力	4.1	8.3	5.6	0.0	2.9	0.0	2.3
その他	4.7	6.3	5.6	0.0	5.7	0.0	4.7
不明	5.3	2.1	5.6	0.0	8.6	9.1	7.0

問 10

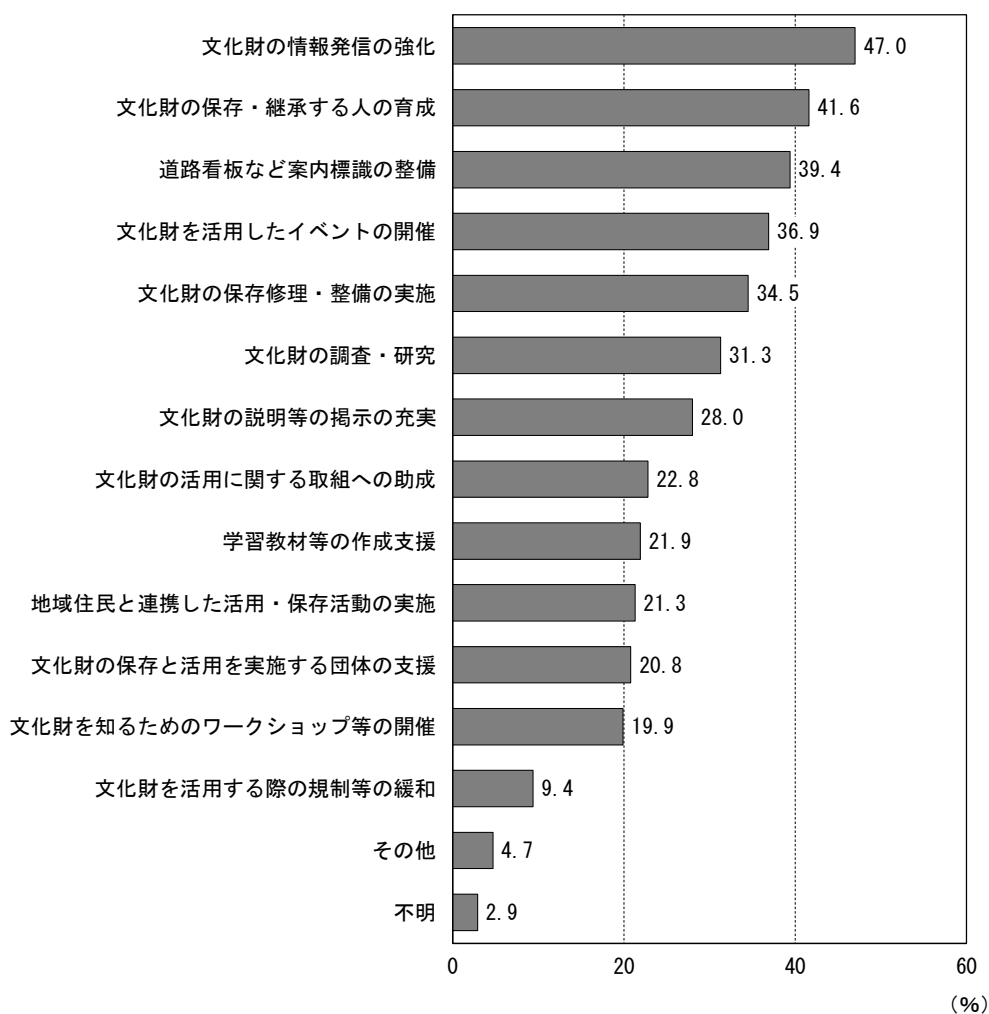
本市の文化財の保存と活用を推進するために、今後実施してほしい取組や必要と思う事業等がありますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「文化財の情報発信の強化」が47.0%と最も多くなっています。次いで、「文化財の保存・継承する人の育成」(41.6%)、「道路看板など案内標識の整備」(39.4%)、「文化財を活用したイベントの開催」(36.9%)となっています。

図表 3-14 文化財の保存と活用を推進するために、今後実施してほしい取組や必要と思う事業等

回答者数：447



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
文化財を保護しつつ、周りの宿泊施設やお店に利益が出るよう、みんなで大切に、誇りに思えるものになるように、整備してほしい。	女性	20 歳代	北部
今後も、都市計画課やまちづくり推進課などと、課を超えて、連携して取り組んで欲しいです。	女性	30 歳代	中部
小中高の教育現場でも、もっと地元にある文化財や暮らし、歴史を勉強する機会を作ってほしいです。子供たちは自分が住んでいるところへの愛着が生まれると思います。	女性	40 歳代	東部
当該文化財、史跡等へ至る道路（歩道）の整備及び駐車場の確保、移動手段の確保	男性	50 歳代	中部

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「文化財を活用したイベントの開催」「学習教材等の作成支援」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
文化財の調査・研究	31.3	35.7	27.2	50.0	25.5	33.2	32.5
文化財の情報発信の強化	47.0	48.6	45.1	100.0	37.7	49.2	55.0
文化財の活用に関する取組への助成	22.8	22.9	22.6	50.0	15.1	25.2	25.0
道路看板など案内標識の整備	39.4	43.3	35.7	50.0	29.2	43.2	37.5
文化財の説明等の掲示の充実	28.0	30.0	26.0	50.0	23.6	30.9	17.5
文化財の保存修理・整備の実施	34.5	35.2	34.0	0.0	31.1	34.9	40.0
文化財の保存・継承する人の育成	41.6	41.9	41.7	0.0	38.7	41.9	47.5
文化財を活用する際の規制等の緩和	9.4	11.0	8.1	0.0	3.8	10.3	17.5
地域住民と連携した活用・保存活動の実施	21.3	22.9	19.1	100.0	15.1	22.9	25.0
文化財の保存と活用を実施する団体の支援	20.8	25.7	16.2	50.0	12.3	23.6	22.5
学習教材等の作成支援	21.9	17.6	26.0	0.0	29.2	20.3	15.0
文化財を知るためのワークショップ等の開催	19.9	15.2	23.8	50.0	23.6	18.6	20.0
文化財を活用したイベントの開催	36.9	33.8	39.6	50.0	44.3	33.9	40.0
その他	4.7	5.2	4.3	0.0	5.7	4.3	5.0
不明	2.9	2.9	3.0	0.0	0.9	3.0	7.5

年代別でみると、回答者全体と比較して、『20歳代』では「文化財を活用したイベントの開催」が高く、『60歳代』では「文化財の情報発信の強化」が高く、『70歳以上』では「道路看板など案内標識の整備」「地域住民と連携した活用・保存活動の実施」「文化財の保存と活用を実施する団体の支援」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
文化財の調査・研究	31.3	28.0	25.5	30.7	27.8	31.1	34.7	35.9
文化財の情報発信の強化	47.0	36.0	40.4	38.7	48.6	44.3	60.0	50.0
文化財の活用に関する取組への助成	22.8	24.0	25.5	14.7	16.7	24.6	29.3	26.1
道路看板など案内標識の整備	39.4	44.0	34.0	26.7	33.3	37.7	40.0	56.5
文化財の説明等の掲示の充実	28.0	16.0	17.0	28.0	22.2	26.2	37.3	34.8
文化財の保存修理・整備の実施	34.5	40.0	42.6	30.7	27.8	34.4	44.0	29.3
文化財の保存・継承する人の育成	41.6	32.0	42.6	36.0	38.9	44.3	38.7	51.1
文化財を活用する際の規制等の緩和	9.4	8.0	12.8	4.0	4.2	13.1	10.7	13.0
地域住民と連携した活用・保存活動の実施	21.3	20.0	14.9	14.7	16.7	19.7	22.7	33.7
文化財の保存と活用を実施する団体の支援	20.8	4.0	17.0	18.7	12.5	11.5	30.7	33.7
学習教材等の作成支援	21.9	4.0	17.0	25.3	26.4	18.0	21.3	26.1
文化財を知るためのワークショップ等の開催	19.9	12.0	27.7	21.3	20.8	16.4	29.3	10.9
文化財を活用したイベントの開催	36.9	44.0	51.1	38.7	41.7	32.8	29.3	31.5
その他	4.7	0.0	2.1	5.3	9.7	4.9	4.0	3.3
不明	2.9	0.0	0.0	0.0	1.4	1.6	1.3	10.9

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』では「文化財を活用したイベントの開催」「文化財の調査・研究」が高く、『東部』では「文化財の情報発信の強化」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
文化財の調査・研究	31.3	32.3	21.4	45.8	23.5	31.7	39.0	28.0	33.3
文化財の情報発信の強化	47.0	48.2	46.4	33.3	41.2	57.1	46.3	44.0	33.3
文化財の活用に関する取組への助成	22.8	23.1	10.7	16.7	22.1	30.2	22.0	28.0	0.0
道路看板など案内標識の整備	39.4	40.5	25.0	33.3	45.6	34.9	34.1	52.0	66.7
文化財の説明等の掲示の充実	28.0	28.7	14.3	20.8	25.0	31.7	36.6	32.0	0.0
文化財の保存修理・整備の実施	34.5	35.9	25.0	29.2	27.9	38.1	39.0	44.0	0.0
文化財の保存・継承する人の育成	41.6	43.6	21.4	33.3	47.1	50.8	31.7	40.0	0.0
文化財を活用する際の規制等の緩和	9.4	12.3	10.7	4.2	7.4	7.9	2.4	12.0	0.0
地域住民と連携した活用・保存活動の実施	21.3	20.0	14.3	25.0	26.5	22.2	19.5	24.0	0.0
文化財の保存と活用を実施する団体の支援	20.8	20.5	17.9	12.5	23.5	22.2	19.5	24.0	33.3
学習教材等の作成支援	21.9	19.5	17.9	12.5	25.0	30.2	24.4	24.0	0.0
文化財を知るためのワークショップ等の開催	19.9	19.0	21.4	16.7	14.7	27.0	24.4	20.0	0.0
文化財を活用したイベントの開催	36.9	36.9	32.1	50.0	33.8	36.5	36.6	44.0	0.0
その他	4.7	4.6	3.6	4.2	4.4	6.3	4.9	4.0	0.0
不明	2.9	2.6	0.0	0.0	2.9	6.3	2.4	4.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』では「文化財の情報発信の強化」が高く、『主夫・主婦』では「文化財の保存・継承する人の育成」が高く、『学生』では「文化財の活用に関する取組への助成」が高く、『その他』では「道路看板など案内標識の整備」などが高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
文化財の調査・研究	31.3	24.2	30.0	36.4	31.3	34.3	40.9
文化財の情報発信の強化	47.0	41.8	52.0	60.6	47.0	45.7	48.4
文化財の活用に関する取組への助成	22.8	17.0	22.0	18.2	26.5	34.3	26.9
道路看板など案内標識の整備	39.4	27.5	38.0	45.5	43.4	42.9	52.7
文化財の説明等の掲示の充実	28.0	20.9	30.0	18.2	32.5	17.1	41.9
文化財の保存修理・整備の実施	34.5	28.1	40.0	27.3	36.1	40.0	40.9
文化財の保存・継承する人の育成	41.6	32.0	44.0	42.4	51.8	34.3	49.5
文化財を活用する際の規制等の緩和	9.4	7.8	6.0	12.1	7.2	14.3	12.9
地域住民と連携した活用・保存活動の実施	21.3	15.0	20.0	18.2	21.7	14.3	35.5
文化財の保存と活用を実施する団体の支援	20.8	12.4	14.0	15.2	22.9	14.3	40.9
学習教材等の作成支援	21.9	17.6	24.0	9.1	28.9	11.4	30.1
文化財を知るためのワークショップ等の開催	19.9	19.6	20.0	24.2	21.7	20.0	17.2
文化財を活用したイベントの開催	36.9	41.8	40.0	21.2	36.1	42.9	31.2
その他	4.7	6.5	2.0	9.1	2.4	0.0	5.4
不明	2.9	0.7	0.0	3.0	7.2	0.0	5.4

(2) デジタル化の取組について

問1

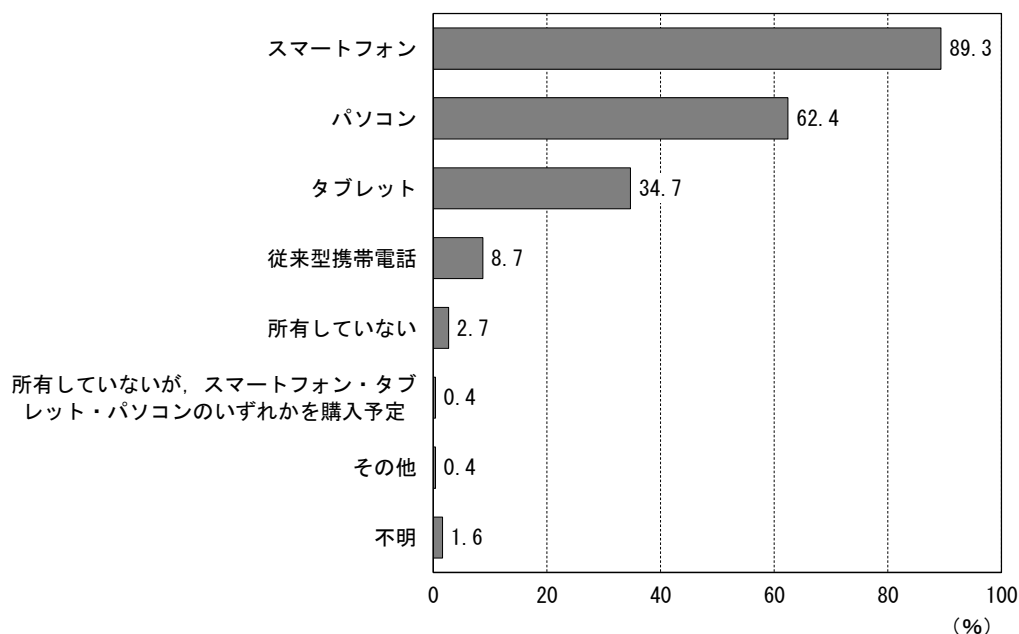
スマートフォン、タブレット、パソコンなどの情報機器を個人（家族共用を除く）でお持ちですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「スマートフォン」が89.3%と最も多くなっています。次いで、「パソコン」(62.4%)、「タブレット」(34.7%)となっています。

図表 3-15 情報機器の個人での所有状況・意向

回答者数：447



【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』では「パソコン」が高く、『女性』では「タブレット」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「スマートフォン」「パソコン」などが高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
スマートフォン	89.3	86.7	92.3	0.0	98.1	85.4	95.0
タブレット	34.7	28.6	40.0	50.0	42.5	31.9	35.0
パソコン	62.4	71.0	54.9	50.0	75.5	58.1	60.0
従来型携帯電話	8.7	11.4	6.0	50.0	2.8	11.3	5.0
所有していない	2.7	1.9	3.0	50.0	0.9	3.7	0.0
所有していないが、スマートフォン・タブレット・パソコンのいずれかを購入予定	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
その他	0.4	0.5	0.4	0.0	0.0	0.7	0.0
不明	1.6	1.9	1.3	0.0	0.0	2.3	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「スマートフォン」「パソコン」が高く、『20歳代』では「タブレット」が高く、『40歳代』では「パソコン」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
スマートフォン	89.3	100.0	97.9	96.0	98.6	93.4	82.7	71.7
タブレット	34.7	40.0	44.7	41.3	41.7	42.6	22.7	21.7
パソコン	62.4	84.0	63.8	69.3	75.0	55.7	66.7	41.3
従来型携帯電話	8.7	0.0	2.1	4.0	4.2	11.5	10.7	18.5
所有していない	2.7	0.0	0.0	1.3	0.0	3.3	4.0	6.5
所有していないが、スマートフォン・タブレット・パソコンのいずれかを購入予定	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
その他	0.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	1.1
不明	1.6	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	2.7	4.3

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』で「従来型携帯電話」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
スマートフォン	89.3	90.3	89.3	79.2	85.3	90.5	87.8	100.0	100.0
タブレット	34.7	37.4	32.1	41.7	29.4	36.5	22.0	36.0	66.7
パソコン	62.4	61.5	64.3	62.5	61.8	60.3	63.4	72.0	66.7
従来型携帯電話	8.7	8.2	3.6	25.0	11.8	11.1	0.0	4.0	0.0
所有していない	2.7	1.5	7.1	0.0	4.4	0.0	9.8	0.0	0.0
所有していないが、スマートフォン・タブレット・パソコンのいずれかを購入予定	0.4	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0
その他	0.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0
不明	1.6	2.1	3.6	0.0	1.5	1.6	0.0	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』では「パソコン」が高く、『学生』では「スマートフォン」「パソコン」などが高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
スマートフォン	89.3	94.8	92.0	90.9	83.1	100.0	79.6
タブレット	34.7	41.2	42.0	36.4	30.1	45.7	19.4
パソコン	62.4	68.6	60.0	72.7	45.8	85.7	55.9
従来型携帯電話	8.7	6.5	8.0	15.2	8.4	2.9	12.9
所有していない	2.7	0.0	4.0	3.0	6.0	0.0	4.3
所有していないが、スマートフォン・タブレット・パソコンのいずれかを購入予定	0.4	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.1
その他	0.4	0.7	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0
不明	1.6	0.7	0.0	0.0	4.8	0.0	2.2

問 2

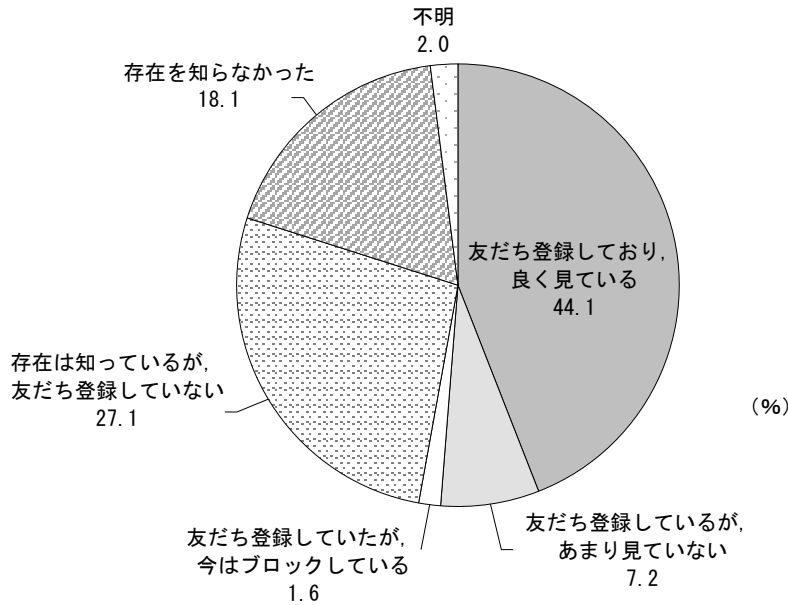
福山市 LINE 公式アカウントでは、新型コロナウイルス関連情報等の情報配信だけでなく、住民票・税証明の請求等の申請やマイナンバーカードの受取予約等ができる機能を2022年（令和4年）3月に追加しました。福山市LINE公式アカウントの利用状況について次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「友だち登録しており、良く見ている」が44.1%と最も高く、次いで、「存在は知っているが、友だち登録していない」(27.1%)となっています。

図表 3-16 福山市 LINE 公式アカウントの利用状況

回答者数：447



【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、『はい（子育て世帯）』で「友だち登録しており、良く見ている」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
友だち登録しており、良く見ている	44.1	40.0	47.7	50.0	63.2	39.5	27.5
友だち登録しているが、あまり見ていない	7.2	5.7	8.5	0.0	8.5	7.0	5.0
友だち登録していたが、今はブロックしている	1.6	1.9	1.3	0.0	0.9	1.7	2.5
存在は知っているが、友だち登録していない	27.1	31.9	22.6	50.0	17.9	28.2	42.5
存在を知らなかった	18.1	18.1	18.3	0.0	9.4	20.6	22.5
不明	2.0	2.4	1.7	0.0	0.0	3.0	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『30歳代』で「友だち登録しており、良く見ている」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
友だち登録しており、良く見ている	44.1	24.0	51.1	54.7	52.8	50.8	42.7	27.2
友だち登録しているが、あまり見ていない	7.2	8.0	14.9	8.0	8.3	8.2	4.0	3.3
友だち登録していたが、今はブロックしている	1.6	8.0	2.1	0.0	2.8	1.6	0.0	1.1
存在は知っているが、友だち登録していない	27.1	36.0	19.1	28.0	19.4	23.0	30.7	33.7
存在を知らなかった	18.1	24.0	12.8	9.3	16.7	16.4	20.0	27.2
不明	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	7.6

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『東部』で「存在は知っているが、友だち登録していない」が低くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
友だち登録しており、良く見ている	44.1	48.2	42.9	50.0	35.3	49.2	39.0	28.0	33.3
友だち登録しているが、あまり見ていない	7.2	8.2	14.3	4.2	4.4	6.3	2.4	8.0	33.3
友だち登録していたが、今はブロックしている	1.6	2.1	0.0	4.2	1.5	1.6	0.0	0.0	0.0
存在は知っているが、友だち登録していない	27.1	26.2	25.0	25.0	33.8	15.9	36.6	36.0	0.0
存在を知らなかった	18.1	13.3	17.9	16.7	20.6	25.4	19.5	28.0	33.3
不明	2.0	2.1	0.0	0.0	4.4	1.6	2.4	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「友だち登録しており、良く見ている」が高く、『その他』では「存在は知っているが、友だち登録していない」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
友だち登録しており、良く見ている	44.1	51.6	58.0	45.5	41.0	28.6	32.3
友だち登録しているが、あまり見ていない	7.2	7.8	12.0	12.1	7.2	8.6	1.1
友だち登録していたが、今はブロックしている	1.6	1.3	0.0	6.1	0.0	8.6	0.0
存在は知っているが、友だち登録していない	27.1	26.1	18.0	18.2	25.3	28.6	37.6
存在を知らなかった	18.1	12.4	12.0	18.2	22.9	25.7	23.7
不明	2.0	0.7	0.0	0.0	3.6	0.0	5.4

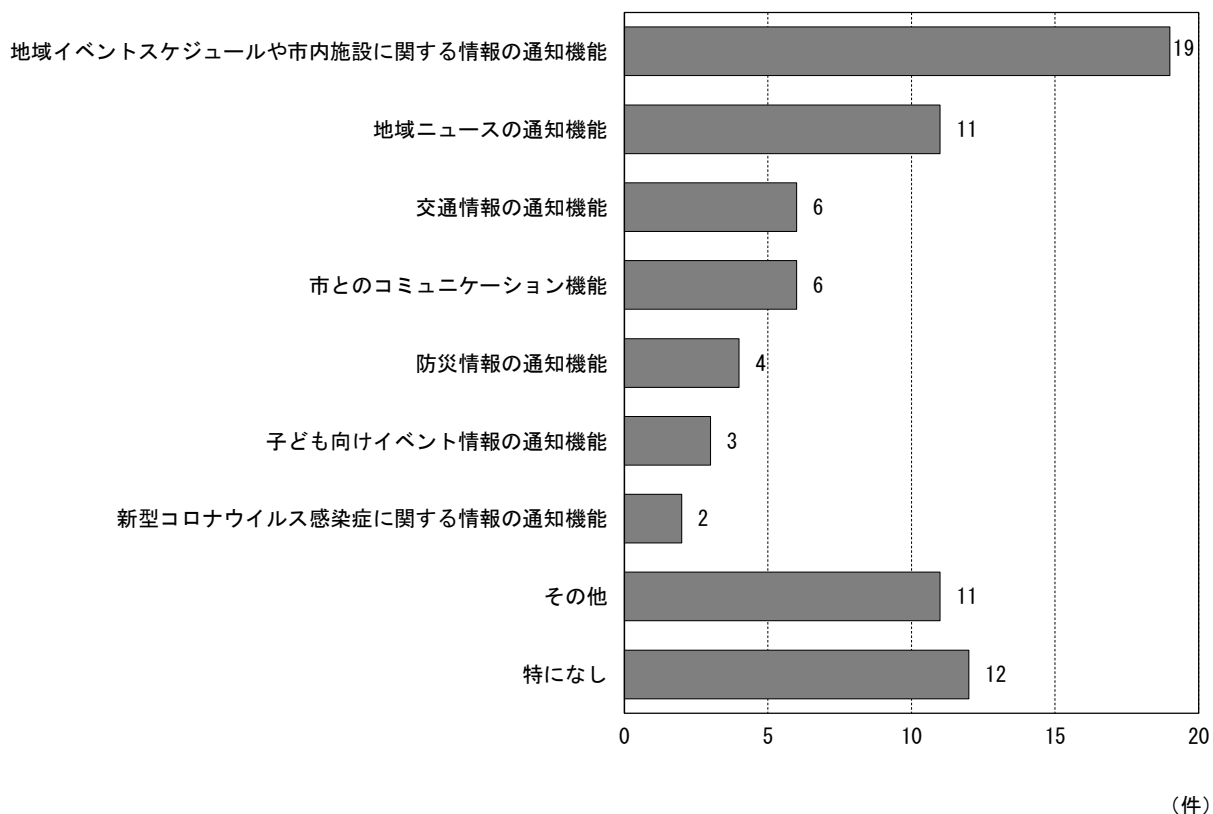
問3

今後、福山市 LINE 公式アカウントに追加されたらよいと思う機能があれば記入してください。【自由記述】

【回答者全体】

「地域イベントスケジュールや市内施設に関する情報の通知機能」に関する内容が19件と最も多く、次いで、「地域ニュースの通知機能」（11件）などとなっています。

図表 3-17 福山市 LINE 公式アカウントに追加されたらよいと思う機能



図表 3-18 福山市 LINE 公式アカウントに追加されたらよいと思う機能についての主な意見

地域イベントスケジュールや市内施設に関する情報の通知機能（19件）

自由記述	性別	年代	エリア
市の管轄の文化施設、運動施設の利用状況や予約等	男性	20歳代	東部
見やすい市内のイベント情報。公民館や公共施設の予約状況。	女性	40歳代	中部
議会傍聴可能期日、市長遊説日時場所など	男性	70歳以上	中部

地域ニュースの通知機能（11件）

自由記述	性別	年代	エリア
福山市の天気予報を毎日教えて欲しい	女性	10歳代	神辺
福山市のニュース、学校や地域の行事など	男性	30歳代	北部
公民館だよりの電子化	女性	50歳代	中部

交通情報の通知機能（6件）

自由記述	性別	年代	エリア
交通事故，道路の渋滞案内	女性	20歳代	北部
交通情報	男性	40歳代	東部

市とのコミュニケーション機能（6件）

自由記述	性別	年代	エリア
チャット機能，意見受付，ヘルプ	女性	30歳代	中部
いのちの相談や虐待など緊急時や匿名で相談できるもの	女性	40歳代	松永

防災情報の通知機能（4件）

自由記述	性別	年代	エリア
イベント情報だけでなく，緊急災害情報（特に大雨・台風）等を追加してもらいたい	男性	70歳以上	東部

子ども向けイベント情報の通知機能（3件）

自由記述	性別	年代	エリア
子どもが参加できるイベント関係 ワークショップ	女性	30歳代	中部

新型コロナウイルス感染症に関する情報の通知機能（2件）

自由記述	性別	年代	エリア
コロナの詳細な情報。	男性	30歳代	松永

その他（11件）

自由記述	性別	年代	エリア
聴覚障害者（電話できない）の方に受け答え出来る機能を追加 コロナ感染／発熱／病気などで電話／予約出来ないから直接病院に行く しかない。（※只のお知らせメールは必要性を感じない）	男性	40歳代	北部
カレンダー（本日のイベントとリンク）	女性	40歳代	東部
タクシー券を紙からデジタルに移行するなど，それに類するものはない かなあ	男性	60歳代	北部

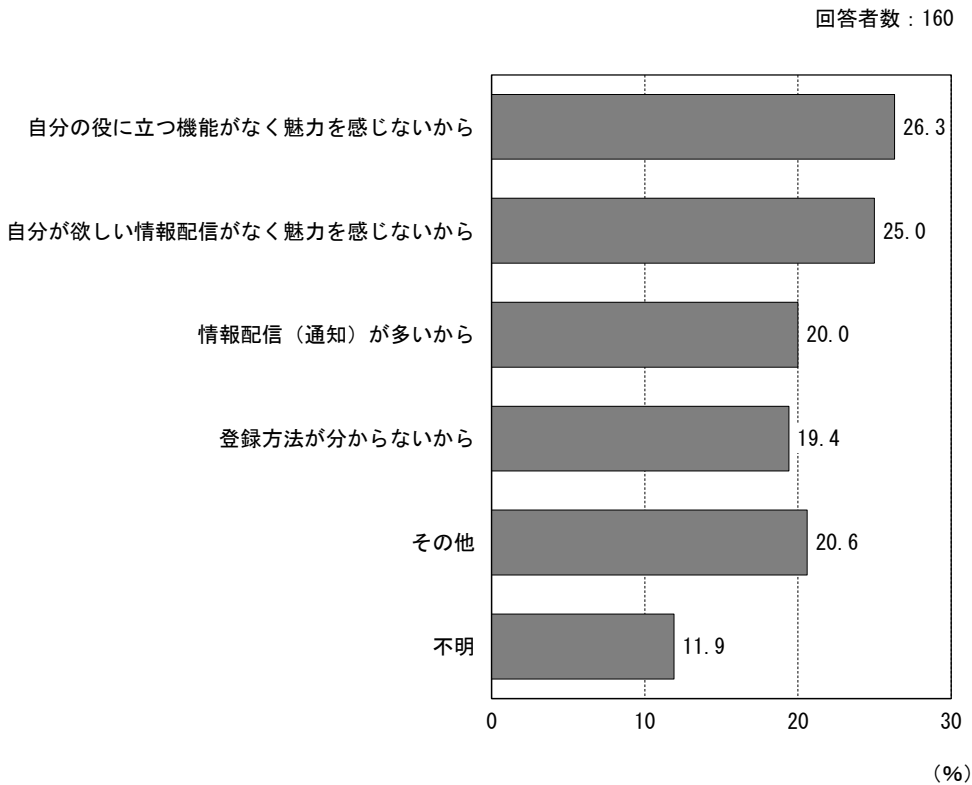
問 4

【問 2 で「友だち登録しているが、あまり見ていない」「友だち登録していたが、今はブロックしている」「存在は知っているが、友だち登録していない」と答えた方にお聞きします。】
 その理由について次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「自分の役に立つ機能がなく魅力を感じないから」が 26.3%と最も多くなっています。次いで、「自分が欲しい情報配信がなく魅力を感じないから」(25.0%)、「情報配信（通知）が多いから」(20.0%)、「登録方法が分からないから」(19.4%)となっています。

図表 3-19 福山市 LINE 公式アカウントの利用状況が「友だち登録しているが、あまり見ていない」「友だち登録していたが、今はブロックしている」「存在は知っているが、友だち登録していない」と回答した理由



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
内容をあまり知らず、今までの所必要ではなかったから。	女性	20 歳代	北部
自分が見たいものしかみてないので	女性	30 歳代	東部
ふだん、LINE を使っていないから	男性	40 歳代	中部
忙しく見る時間がない	女性	40 歳代	中部
LINE で行政手続きや情報共有を行うことに抵抗が有るから。（福山市メール配信サービスは利用：活用している。）	男性	50 歳代	中部
書面でないと困る。見えない、聞こえない障害にはデジタル画面は見えにくい。	女性	60 歳代	神辺
高齢のためデジタル化について行くのが困難	男性	70 歳以上	北部

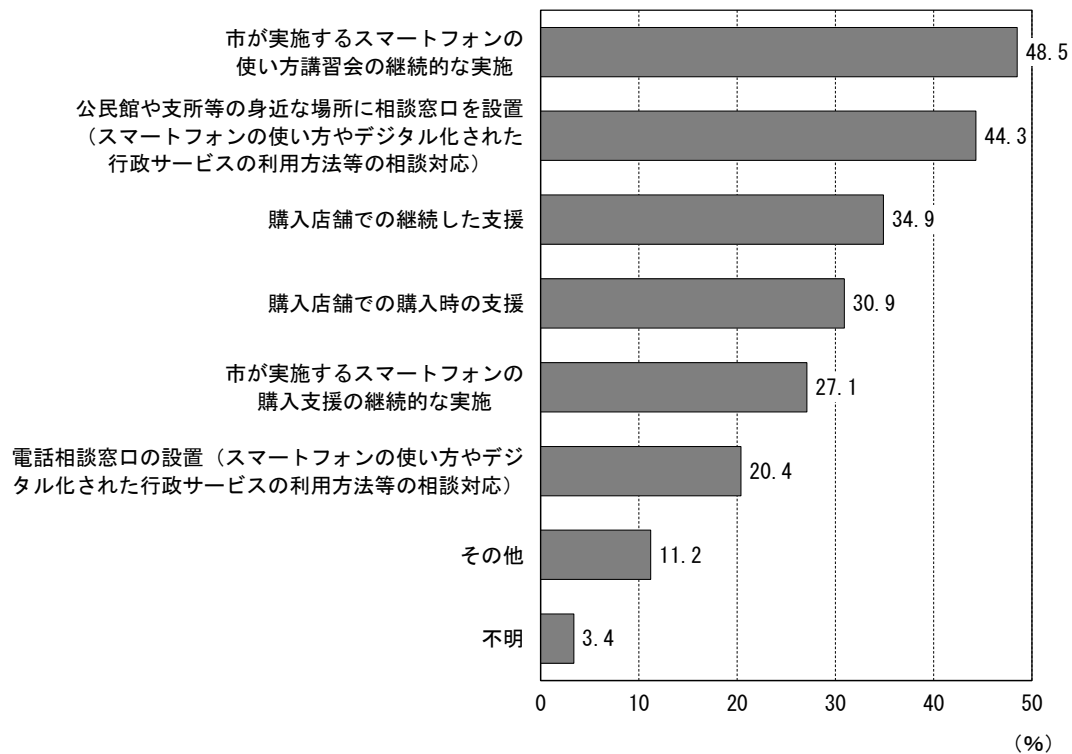
問5

本市では、デジタル技術の活用に不安がある人に、スマートフォンの使い方講習会や高齢者を対象にしたスマートフォン購入支援などを実施していますが、そのような人が使えるようになるためにはどんなサポートが必要だと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「市が実施するスマートフォンの使い方講習会の継続的な実施」が48.5%と最も多く、次いで、「公民館や支所等の身近な場所に相談窓口を設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）」（44.3%）となっています。

図表 3-20 デジタル技術の活用に不安がある人に向けて必要だと思うサポート
回答者数：447



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
行政が支援を実施する必要は無い。	男性	10歳代	中部
購入店舗の人は少し対応が冷たいなど感じることもあると思うのでわからない人を支援する人がたくさんいるとよいと感じる	男性	30歳代	北部
年配の方に使えるようになるよう努力してもらうのは酷なので、あと10年ぐらいはアナログ式なものも併用すべきと思います。	男性	40歳代	東部
スマホは、持っているが講習会に参加する事に気が引ける方を対象に、気心した少数単位で行える講習会があるといいかもしれません。	女性	40歳代	中部
スマホの使い方を市が無料で教えてくれることを高齢者に伝えるよう病院や接骨院にチラシやポスターを置かせてもらってはどうか。	女性	50歳代	中部
高齢者のスマホ所有者が商店などで画面を見せるだけで割引や無料、ポイント加算となる特別パスポートの発行。	男性	60歳代	北部
スマホ購入して何かトラブル起きた時、身内に対応できる人がいない場合パニックになる。直ぐに対応できる支援がないと購入に思い切れない	女性	70歳以上	北部

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』で「市が実施するスマートフォンの購入支援の継続的な実施」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「公民館や支所等の身近な場所に相談窓口を設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）」などが高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
市が実施するスマートフォンの使い方講習会の継続的な実施	48.5	49.0	48.1	50.0	43.4	50.2	50.0
市が実施するスマートフォンの購入支援の継続的な実施	27.1	32.4	22.1	50.0	21.7	28.6	30.0
電話相談窓口の設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）	20.4	19.0	21.7	0.0	19.8	20.3	22.5
公民館や支所等の身近な場所に相談窓口を設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）	44.3	42.9	45.5	50.0	50.9	40.5	55.0
購入店舗での購入時の支援	30.9	29.5	31.9	50.0	37.7	29.2	25.0
購入店舗での継続した支援	34.9	30.5	39.1	0.0	42.5	33.2	27.5
その他	11.2	12.4	10.2	0.0	11.3	11.3	10.0
不明	3.4	2.9	3.8	0.0	0.0	4.3	5.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「市が実施するスマートフォンの使い方講習会の継続的な実施」などが高く、『30歳代』では「購入店舗での継続した支援」などが高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
市が実施するスマートフォンの使い方講習会の継続的な実施	48.5	64.0	44.7	42.7	44.4	47.5	56.0	48.9
市が実施するスマートフォンの購入支援の継続的な実施	27.1	16.0	19.1	26.7	18.1	27.9	34.7	34.8
電話相談窓口の設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）	20.4	40.0	21.3	20.0	13.9	24.6	20.0	17.4
公民館や支所等の身近な場所に相談窓口を設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）	44.3	36.0	44.7	48.0	43.1	36.1	41.3	52.2
購入店舗での購入時の支援	30.9	48.0	27.7	44.0	30.6	31.1	28.0	19.6
購入店舗での継続した支援	34.9	28.0	38.3	50.7	33.3	37.7	30.7	25.0
その他	11.2	8.0	2.1	12.0	19.4	13.1	8.0	10.9
不明	3.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	4.0	12.0

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『東部』で「購入店舗での継続した支援」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
市が実施するスマートフォンの使い方講習会の継続的な実施	48.5	48.7	39.3	50.0	45.6	50.8	53.7	48.0	66.7
市が実施するスマートフォンの購入支援の継続的な実施	27.1	24.1	32.1	16.7	26.5	33.3	26.8	36.0	66.7
電話相談窓口の設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）	20.4	20.0	17.9	16.7	22.1	22.2	29.3	8.0	0.0
公民館や支所等の身近な場所に相談窓口を設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）	44.3	43.1	35.7	54.2	48.5	49.2	43.9	32.0	33.3
購入店舗での購入時の支援	30.9	26.2	39.3	8.3	39.7	36.5	26.8	44.0	66.7
購入店舗での継続した支援	34.9	34.4	25.0	12.5	35.3	46.0	26.8	52.0	66.7
その他	11.2	12.3	7.1	20.8	13.2	9.5	2.4	12.0	0.0
不明	3.4	3.1	0.0	4.2	2.9	4.8	7.3	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「購入店舗での継続した支援」「購入店舗での購入時の支援」が高く、『学生』では「市が実施するスマートフォンの使い方講習会の継続的な実施」「購入店舗での購入時の支援」などが高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
市が実施するスマートフォンの使い方講習会の継続的な実施	48.5	45.8	40.0	57.6	51.8	65.7	45.2
市が実施するスマートフォンの購入支援の継続的な実施	27.1	24.2	28.0	30.3	31.3	20.0	29.0
電話相談窓口の設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）	20.4	17.0	24.0	18.2	20.5	37.1	18.3
公民館や支所等の身近な場所に相談窓口を設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）	44.3	38.6	50.0	48.5	47.0	37.1	49.5
購入店舗での購入時の支援	30.9	32.7	44.0	24.2	24.1	45.7	23.7
購入店舗での継続した支援	34.9	37.3	46.0	21.2	32.5	37.1	31.2
その他	11.2	13.7	10.0	15.2	6.0	5.7	12.9
不明	3.4	0.7	2.0	0.0	8.4	0.0	6.5

問6

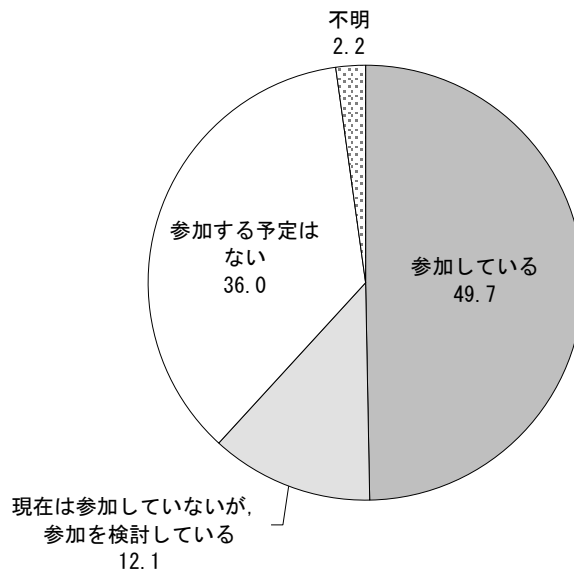
ここからは、地域のデジタル化についてお伺いします。
 自治会・町内会などの地域活動に参加していますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「参加している」が49.7%と最も高く、次いで、「参加する予定はない」(36.0%)、「現在は参加していないが、参加を検討している」(12.1%)となっています。

図表 3-21 地域活動への参加状況・意向

回答者数：447



【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』で「参加している」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
参加している	49.7	54.3	45.5	50.0	57.5	48.2	40.0
現在は参加していないが、参加を検討している	12.1	11.9	11.9	50.0	16.0	10.6	12.5
参加する予定はない	36.0	31.0	40.9	0.0	26.4	38.5	42.5
不明	2.2	2.9	1.7	0.0	0.0	2.7	5.0

年代別で見ると、回答者全体と比較して、『10歳代』『20歳代』では「参加する予定はない」が高く、『60歳代』では「参加している」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
参加している	49.7	12.0	17.0	44.0	55.6	52.5	72.0	56.5
現在は参加していないが、参加を検討している	12.1	16.0	14.9	17.3	8.3	11.5	10.7	9.8
参加する予定はない	36.0	72.0	68.1	38.7	36.1	36.1	14.7	25.0
不明	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	8.7

エリア別で見ると、回答者全体と比較して、『神辺』で「参加している」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
参加している	49.7	51.3	46.4	58.3	52.9	50.8	67.0	8.0	0.0
現在は参加していないが、参加を検討している	12.1	13.3	10.7	0.0	11.8	15.9	7.3	12.0	33.3
参加する予定はない	36.0	33.8	42.9	37.5	33.8	28.6	26.8	80.0	66.7
不明	2.2	1.5	0.0	4.2	1.5	4.8	4.9	0.0	0.0

職業別で見ると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』『自営業』では「参加している」が高く、『学生』では「参加する予定はない」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
参加している	49.7	43.8	62.0	72.7	57.8	11.4	51.6
現在は参加していないが、参加を検討している	12.1	12.4	14.0	12.1	13.3	11.4	9.7
参加する予定はない	36.0	43.8	22.0	15.2	24.1	77.1	33.3
不明	2.2	0.0	2.0	0.0	4.8	0.0	5.4

問7-1

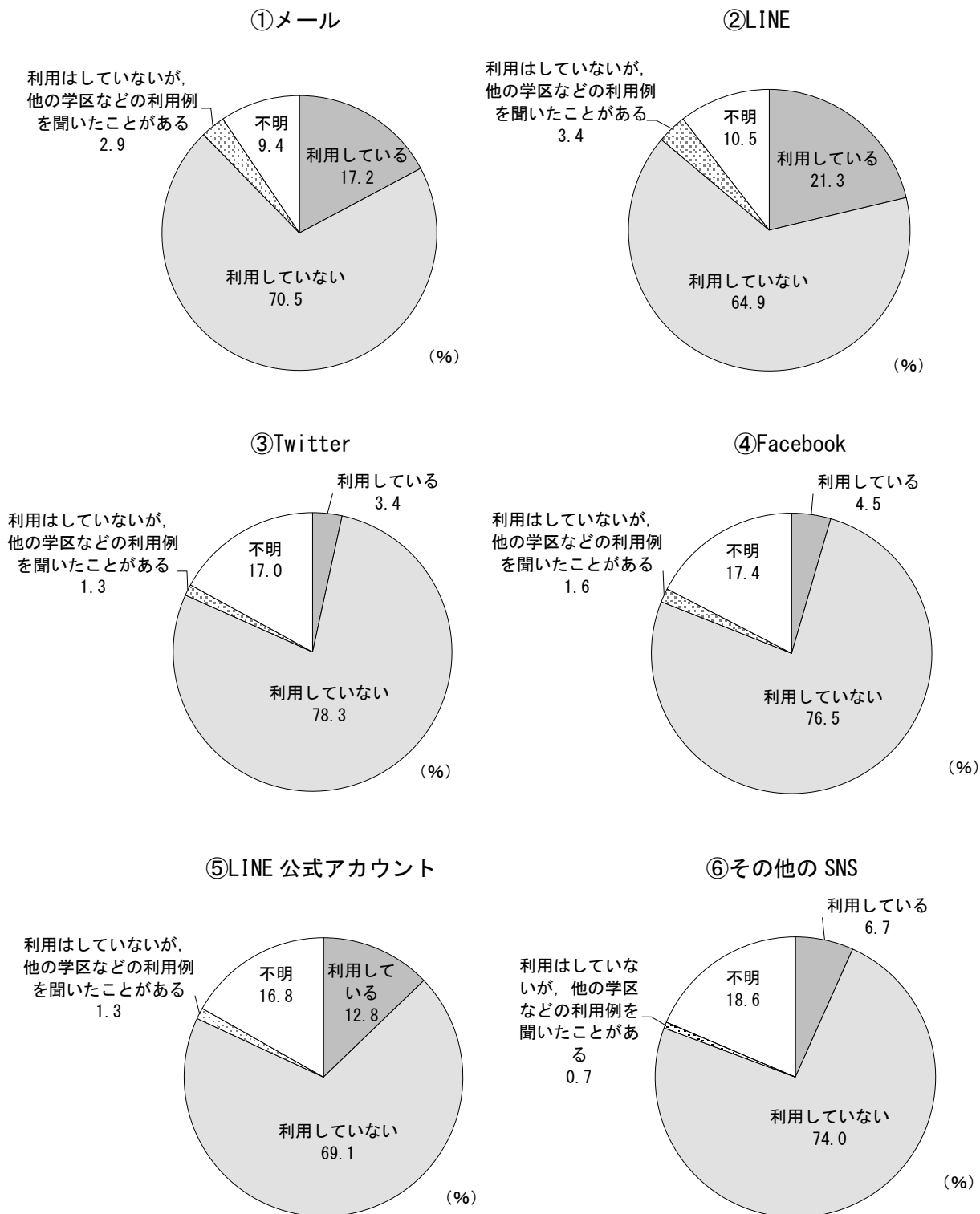
自治会・町内会などの地域活動における連絡手段として、メール、SNS などを利用していますか。次の①～⑥のそれぞれについて、当てはまるものに「○」を記入してください。
【単数回答】

【回答者全体】

全ての項目で「利用していない」が最も高くなっています。「利用している」割合は「LINE」(21.3%) が最も高く、次いで、「メール」(17.2%)、「LINE 公式アカウント」(12.8%) となっています。

図表 3-22 地域活動における連絡手段としてのメール、SNS などの利用状況

回答者数：447

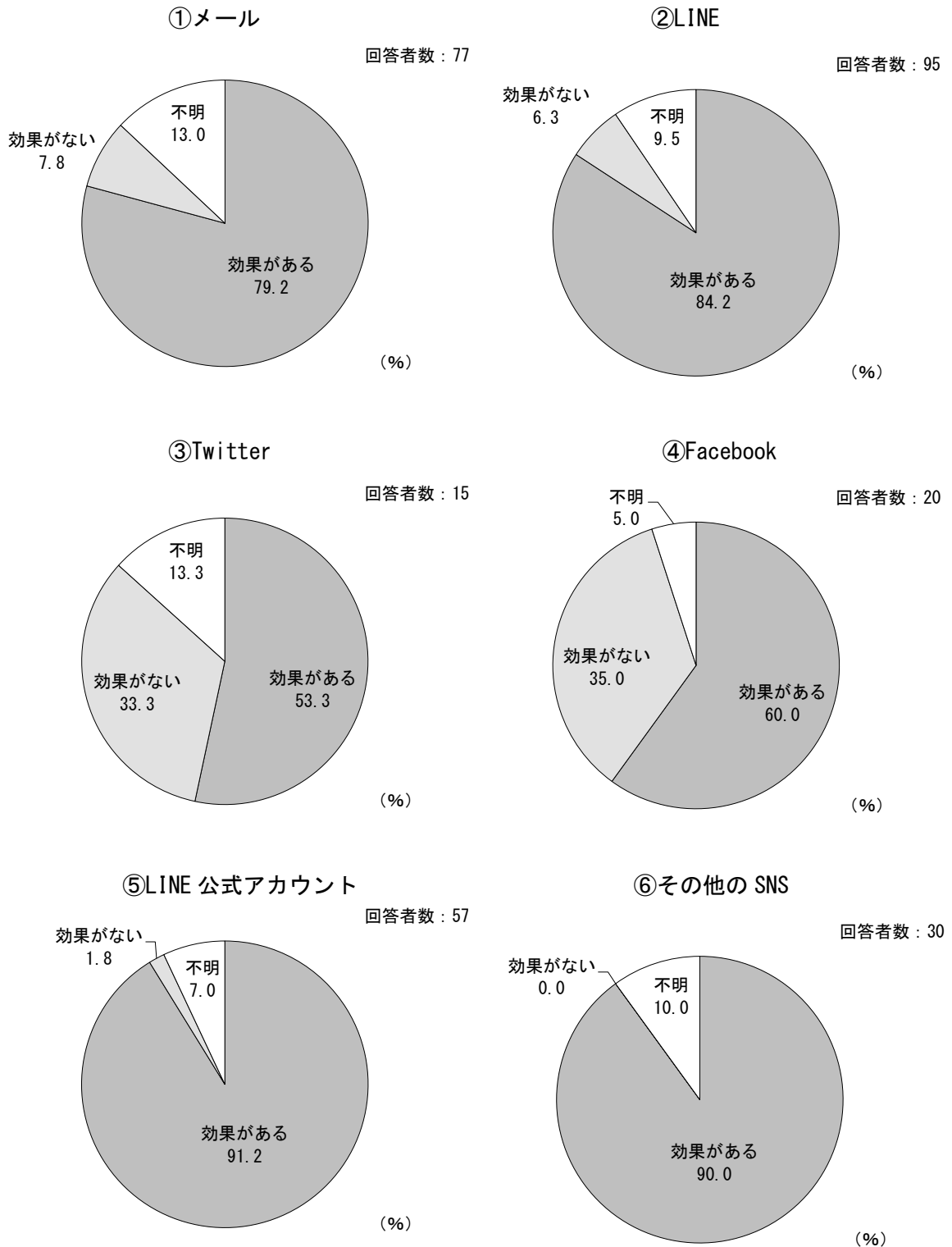


問7-2 「利用している」場合は、自治会・町内会などの地域活動における連絡手段として、メール、SNSなどの導入前と導入後で、連絡に係る負担軽減の効果はありましたか。次の①～⑥のそれぞれについて、当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

全ての項目で「効果がある」が最も高くなっています。

図表 3-23 地域活動における連絡手段としてメール、SNSなどを導入したことによる連絡に係る負担軽減の効果



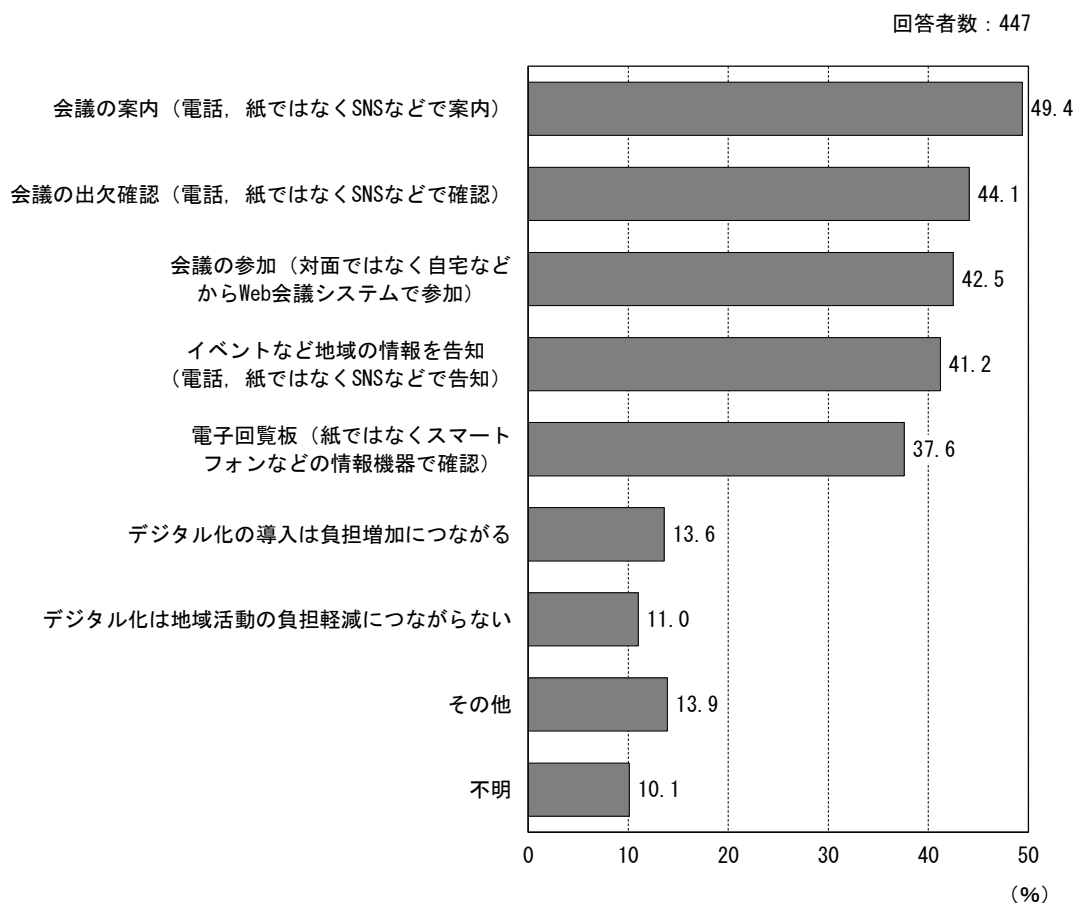
問 8

自治会・町内会などの地域活動において、Web 会議システム（スマートフォンなどを活用した遠隔での会議参加）や SNS を活用することにより負担軽減に効果があると考えられるものは何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「会議の案内（電話、紙ではなく SNS など案内）」が 49.4%と最も多くなっています。次いで、「会議の出欠確認（電話、紙ではなく SNS など確認）」（44.1%）、「会議の参加（対面ではなく自宅などから Web 会議システムで参加）」（42.5%）、「イベントなど地域の情報を告知（電話、紙ではなく SNS など告知）」（41.2%）、「電子回覧板（紙ではなくスマートフォンなどの情報機器で確認）」（37.6%）となっています。

図表 3-24 地域活動において、Web 会議システムや SNS を活用することにより負担軽減に効果があると考えられるもの



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
若者にとっては負担軽減になるけど、デジタル機器に疎い世代には負担になるので何とも言えない	女性	20 歳代	中部
回覧板等をデジタル化して欲しいが、高齢の方が多くてなかなか意見できない	女性	30 歳代	中部
結局、両方（SNS と対面や紙など）しなくてはならなくなるので負担がかかる時もあるような気がします。	女性	40 歳代	神辺
SNS 活用を提案したが、高齢者が多いことから採用されなかった	男性	50 歳代	中部
個人的に不要なものまで情報が入り、整理・判断に迷う	男性	70 歳以上	東部

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「会議の案内（電話、紙ではなくSNSなどで案内）」などが高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
会議の参加（対面ではなく自宅などからWeb会議システムで参加）	42.5	41.0	44.3	0.0	54.7	38.9	37.5
会議の案内（電話、紙ではなくSNSなどで案内）	49.4	49.0	49.8	50.0	64.2	44.2	50.0
会議の出欠確認（電話、紙ではなくSNSなどで確認）	44.1	41.9	46.0	50.0	58.5	38.5	47.5
イベントなど地域の情報を告知（電話、紙ではなくSNSなどで告知）	41.2	40.5	42.1	0.0	51.9	37.9	37.5
電子回覧板（紙ではなくスマートフォンなどの情報機器で確認）	37.6	36.7	38.7	0.0	57.5	31.6	30.0
デジタル化は地域活動の負担軽減につながらない	11.0	11.0	10.6	50.0	8.5	12.3	7.5
デジタル化の導入は負担増加につながる	13.6	12.9	14.5	0.0	8.5	15.3	15.0
その他	13.9	14.3	13.2	50.0	9.4	15.6	12.5
不明	10.1	10.5	9.8	0.0	0.0	12.6	17.5

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「会議の出欠確認（電話、紙ではなくSNSなどで確認）」などが高く、『20歳代』から『40歳代』では「会議の案内（電話、紙ではなくSNSなどで案内）」などが高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
会議の参加（対面ではなく自宅などからWeb会議システムで参加）	42.5	56.0	53.2	58.7	55.6	34.4	33.3	22.8
会議の案内（電話、紙ではなくSNSなどで案内）	49.4	48.0	59.6	62.7	61.1	52.5	38.7	31.5
会議の出欠確認（電話、紙ではなくSNSなどで確認）	44.1	60.0	53.2	56.0	56.9	42.6	28.0	29.3
イベントなど地域の情報を告知（電話、紙ではなくSNSなどで告知）	41.2	48.0	42.6	53.3	52.8	34.4	30.7	32.6
電子回覧板（紙ではなくスマートフォンなどの情報機器で確認）	37.6	44.0	55.3	53.3	54.2	27.9	30.7	13.0
デジタル化は地域活動の負担軽減につながらない	11.0	0.0	8.5	9.3	8.3	11.5	17.3	13.0
デジタル化の導入は負担増加につながる	13.6	8.0	8.5	14.7	9.7	18.0	21.3	10.9
その他	13.9	4.0	8.5	9.3	16.7	18.0	20.0	13.0
不明	10.1	0.0	2.1	0.0	0.0	6.6	12.0	33.7

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「デジタル化は地域活動の負担軽減につながる」が高く、『松永』では「会議の参加（対面ではなく自宅などからWeb会議システムで参加）」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
会議の参加（対面ではなく自宅などからWeb会議システムで参加）	42.5	45.6	28.6	58.3	38.2	41.3	26.8	56.0	66.7
会議の案内（電話、紙ではなくSNSなどで案内）	49.4	57.4	39.3	45.8	44.1	39.7	43.9	48.0	66.7
会議の出欠確認（電話、紙ではなくSNSなどで確認）	44.1	51.3	39.3	33.3	38.2	36.5	36.6	48.0	66.7
イベントなど地域の情報を告知（電話、紙ではなくSNSなどで告知）	41.2	49.7	35.7	37.5	27.9	34.9	36.6	36.0	100.0
電子回覧板（紙ではなくスマートフォンなどの情報機器で確認）	37.6	42.1	21.4	41.7	30.9	38.1	29.3	48.0	33.3
デジタル化は地域活動の負担軽減につながる	11.0	11.3	21.4	16.7	7.4	9.5	7.3	12.0	0.0
デジタル化の導入は負担増加につながる	13.6	13.8	7.1	16.7	16.2	14.3	14.6	8.0	0.0
その他	13.9	12.8	7.1	12.5	13.2	19.0	17.1	12.0	33.3
不明	10.1	7.2	7.1	8.3	14.7	15.9	14.6	4.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』『学生』で「会議の出欠確認（電話、紙ではなくSNSなどで確認）」などが高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
会議の参加（対面ではなく自宅などからWeb会議システムで参加）	42.5	50.3	48.0	45.5	27.7	65.7	30.1
会議の案内（電話、紙ではなくSNSなどで案内）	49.4	54.9	58.0	54.5	34.9	65.7	40.9
会議の出欠確認（電話、紙ではなくSNSなどで確認）	44.1	45.1	62.0	51.5	27.7	65.7	36.6
イベントなど地域の情報を告知（電話、紙ではなくSNSなどで告知）	41.2	47.7	46.0	45.5	32.5	51.4	30.1
電子回覧板（紙ではなくスマートフォンなどの情報機器で確認）	37.6	47.1	50.0	36.4	26.5	45.7	22.6
デジタル化は地域活動の負担軽減につながる	11.0	10.5	18.0	6.1	12.0	0.0	12.9
デジタル化の導入は負担増加につながる	13.6	11.1	16.0	15.2	15.7	5.7	17.2
その他	13.9	11.8	16.0	15.2	10.8	8.6	20.4
不明	10.1	3.9	2.0	12.1	20.5	0.0	18.3

問9

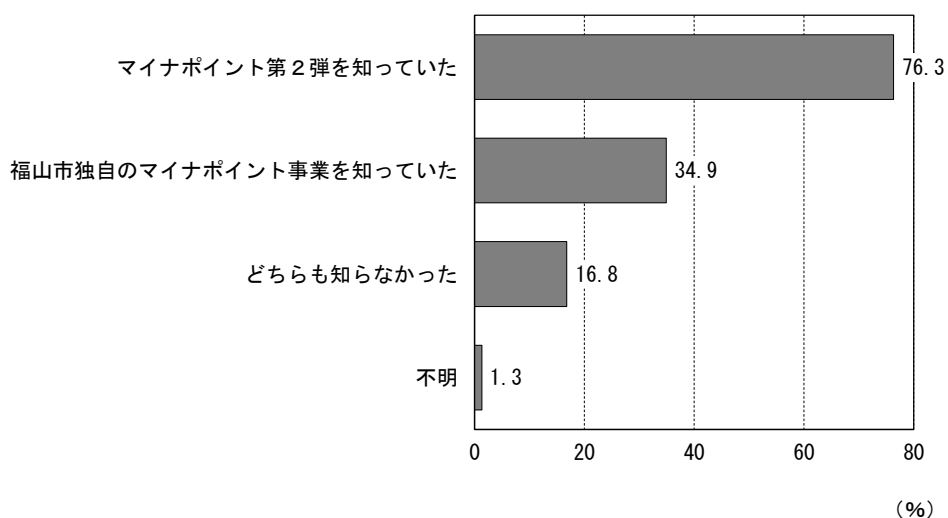
現在、行政のデジタル化として、マイナンバーカードの普及促進に取り組んでいるところです。マイナポイント第2弾では、2022年（令和4年）9月末までにマイナンバーカードを申請した方が対象となり、最大20,000円分のポイントがもらえます。さらに福山市独自のマイナポイントとして、市民限定で追加で5,000円分のポイントがもらえる事業も予定されています。この事業について、知っていましたか。当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「マイナポイント第2弾を知っていた」が76.3%と最も多くなっています。次いで、「福山市独自のマイナポイント事業を知っていた」（34.9%）、「どちらも知らなかった」（16.8%）となっています。

図表3-25 マイナポイント第2弾及び福山市独自のマイナポイント事業について

回答者数：447



【属性別】

性別では、男女別での差はありません。

子育て世帯別で見ると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「マイナポイント第2弾を知っていた」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
マイナポイント第2弾を知っていた	76.3	74.3	77.9	100.0	84.9	73.4	75.0
福山市独自のマイナポイント事業を知っていた	34.9	31.4	37.9	50.0	38.7	34.9	25.0
どちらも知らなかった	16.8	18.1	15.7	0.0	12.3	18.3	17.5
不明	1.3	1.9	0.9	0.0	0.9	1.3	2.5

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』で「どちらも知らなかった」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
マイナポイント第2弾を知っていた	76.3	52.0	72.3	85.3	83.3	80.3	78.7	67.4
福山市独自のマイナポイント事業を知っていた	34.9	24.0	27.7	34.7	38.9	36.1	40.0	33.7
どちらも知らなかった	16.8	36.0	14.9	10.7	12.5	13.1	16.0	23.9
不明	1.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3

エリア別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
マイナポイント第2弾を知っていた	76.3	77.9	71.4	66.7	70.6	79.4	80.5	80.0	66.7
福山市独自のマイナポイント事業を知っていた	34.9	35.9	28.6	37.5	32.4	41.3	29.3	32.0	33.3
どちらも知らなかった	16.8	14.4	25.0	25.0	22.1	12.7	17.1	12.0	33.3
不明	1.3	0.5	3.6	4.2	0.0	3.2	0.0	4.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『学生』で「マイナポイント第2弾を知っていた」が低くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
マイナポイント第2弾を知っていた	76.3	81.7	80.0	72.7	77.1	60.0	72.0
福山市独自のマイナポイント事業を知っていた	34.9	31.4	40.0	27.3	37.3	31.4	39.8
どちらも知らなかった	16.8	12.4	10.0	21.2	15.7	25.7	23.7
不明	1.3	1.3	0.0	0.0	3.6	0.0	1.1

問 10

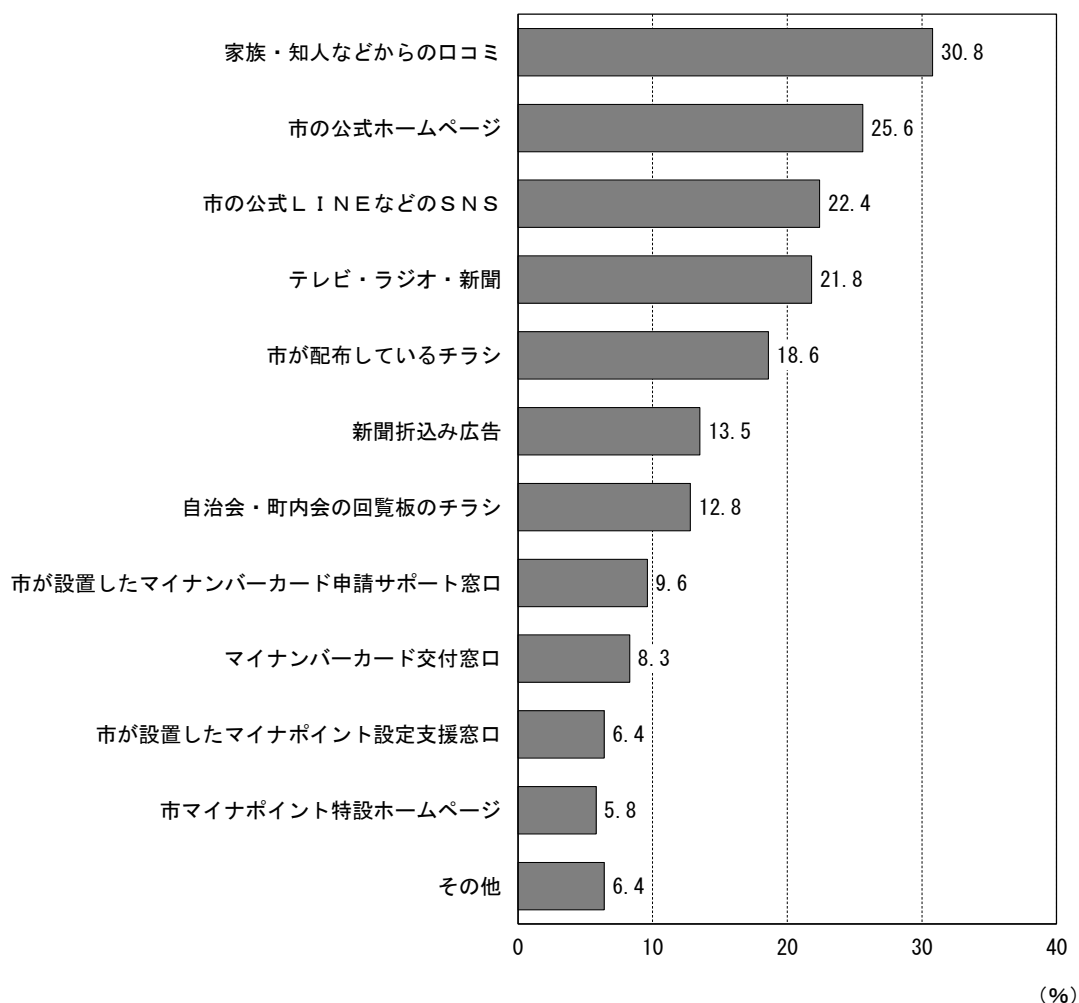
【問9で「福山市独自のマイナポイント事業を知っていた」と答えた方にお聞きします。】
この事業についてどこでお知りになりましたか。次の中から当てはまるもの全てに「○」
を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「家族・知人などからの口コミ」が30.8%と最も多くなっています。次いで、「市の公式ホームページ」(25.6%)、「市の公式LINEなどのSNS」(22.4%)、「テレビ・ラジオ・新聞」(21.8%)、「市が配布しているチラシ」(18.6%)となっています。

図表 3-26 福山市独自のマイナポイント事業を知った場所・媒体

回答者数：156



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
携帯ショップの案内	女性	20歳代	北部
市に電話で問い合わせした	女性	30歳代	中部
web ニュースサイト	男性	50歳代	中部
なんとなく知っている	男性	60歳代	北部
国からの案内	男性	70歳以上	中部

(3) 防災について

問 1

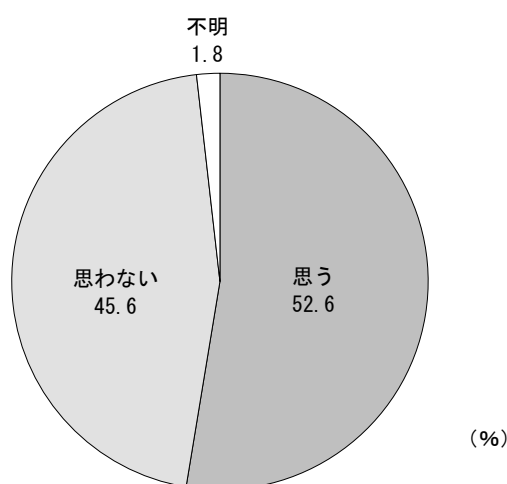
あなたの住んでいるところで、近い将来、震度6強～7の「大地震」が起こると思いますか。当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「思う」(52.6%)が「思わない」(45.6%)を上回っています。

図表 3-27 近い将来、居住地で「大地震」が起こると思うかについて

回答者数：443



【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』で「思わない」が低くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
思う	52.6	56.7	48.9	50.0	57.5	49.2	65.0
思わない	45.6	41.4	49.4	50.0	40.6	48.8	35.0
不明	1.8	1.9	1.7	0.0	1.9	2.0	0.0

年代別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
思う	52.6	56.0	46.8	60.0	55.6	55.7	48.0	47.8
思わない	45.6	44.0	53.2	40.0	40.3	42.6	50.7	48.9
不明	1.8	0.0	0.0	0.0	4.2	1.6	1.3	3.3

エリア別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
思う	52.6	55.9	42.9	54.2	50.0	54.0	46.3	44.0	100.0
思わない	45.6	42.6	53.6	45.8	47.1	44.4	53.7	52.0	0.0
不明	1.8	1.5	3.6	0.0	2.9	1.6	0.0	4.0	0.0

職業別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
思う	52.6	55.6	56.0	54.5	48.2	57.1	47.3
思わない	45.6	44.4	40.0	45.5	49.4	42.9	48.4
不明	1.8	0.0	4.0	0.0	2.4	0.0	4.3

問 2

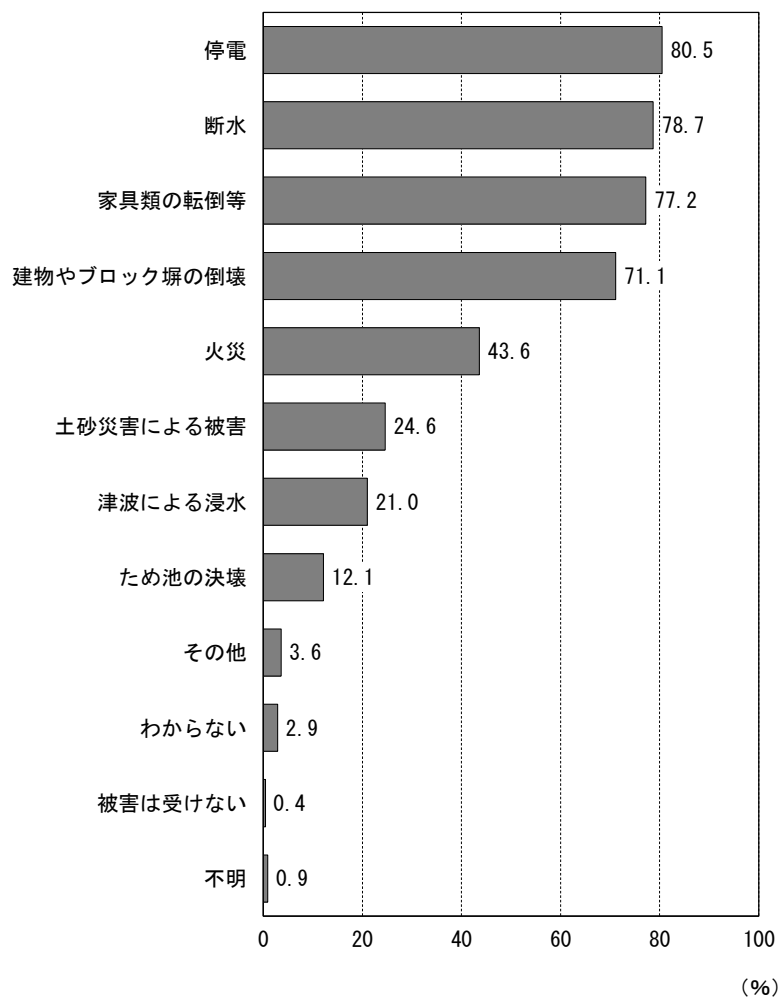
「大地震」が起きた場合、ご自宅ではどのような被害をうけると思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「停電」が 80.5%と最も多くなっています。次いで、「断水」(78.7%)、「家具類の転倒等」(77.2%)、「建物やブロック塀の倒壊」(71.1%)となっています。

図表 3-28 「大地震」が起きた場合の自宅の被害想定

回答者数：447



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
エレベーターの停止、機械式駐車場の故障、貯水タンクの破損	女性	20 歳代	東部
建物やブロック塀に亀裂 電柱が倒れてくるかも	女性	30 歳代	中部
水道管破裂。周辺道路の陥没(すでにあり)。	女性	40 歳代	中部
液状化現象	女性	50 歳代	中部
家屋の倒壊	男性	60 歳代	中部
芦田川の決壊	女性	70 歳以上	中部
自宅の災害は大なり小なり受けると思います。地域の生活被害が受けやすいと思います。	女性	70 歳以上	中部

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「停電」などが高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
建物やブロック塀の倒壊	71.1	68.1	73.6	100.0	64.2	73.8	70.0
土砂災害による被害	24.6	26.7	23.0	0.0	18.9	27.2	20.0
津波による浸水	21.0	17.6	24.3	0.0	27.4	18.6	22.5
ため池の決壊	12.1	12.9	11.5	0.0	13.2	12.3	7.5
火災	43.6	42.9	44.7	0.0	40.6	44.9	42.5
停電	80.5	79.0	82.1	50.0	87.7	77.7	82.5
断水	78.7	74.3	83.0	50.0	82.1	77.4	80.0
家具類の転倒等	77.2	76.2	77.9	100.0	80.2	77.7	65.0
その他	3.6	2.9	3.8	50.0	3.8	3.7	2.5
被害は受けない	0.4	0.5	0.4	0.0	0.9	0.3	0.0
わからない	2.9	1.4	4.3	0.0	2.8	2.3	7.5
不明	0.9	1.4	0.4	0.0	0.0	1.3	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「土砂災害による被害」「津波による浸水」が高く、『60歳代』では「建物やブロック塀の倒壊」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
建物やブロック塀の倒壊	71.1	64.0	70.2	69.3	68.1	63.9	81.3	73.9
土砂災害による被害	24.6	36.0	29.8	24.0	16.7	23.0	25.3	26.1
津波による浸水	21.0	32.0	17.0	24.0	30.6	14.8	18.7	16.3
ため池の決壊	12.1	4.0	14.9	14.7	6.9	13.1	13.3	13.0
火災	43.6	40.0	31.9	50.7	50.0	32.8	50.7	41.3
停電	80.5	80.0	76.6	89.3	84.7	70.5	81.3	78.3
断水	78.7	68.0	68.7	85.3	84.7	75.4	77.3	80.4
家具類の転倒等	77.2	72.0	74.5	78.7	83.3	68.9	81.3	76.1
その他	3.6	0.0	2.1	4.0	4.2	1.6	5.3	4.3
被害は受けない	0.4	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0
わからない	2.9	0.0	6.4	1.3	2.8	3.3	1.3	4.3
不明	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』では「津波による浸水」が高く、『北部』では「土砂災害による被害」が高く、『東部』では「火災」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
建物やブロック塀の倒壊	71.1	69.2	78.6	70.8	70.6	77.8	73.2	60.0	66.7
土砂災害による被害	24.6	17.9	25.0	33.3	41.2	30.2	26.8	8.0	0.0
津波による浸水	21.0	28.2	17.9	33.3	4.4	23.8	7.3	20.0	0.0
ため池の決壊	12.1	7.7	14.3	16.7	16.2	14.3	22.0	8.0	0.0
火災	43.6	39.5	35.7	45.8	48.5	55.6	39.0	48.0	33.3
停電	80.5	83.1	78.6	79.2	76.5	79.4	82.9	80.0	33.3
断水	78.7	81.5	82.1	75.0	70.6	79.4	78.0	84.0	33.3
家具類の転倒等	77.2	79.0	64.3	75.0	79.4	77.8	75.6	76.0	66.7
その他	3.6	5.1	0.0	4.2	2.9	1.6	0.0	8.0	0.0
被害は受けない	0.4	0.0	3.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	2.9	1.5	7.1	0.0	2.9	3.2	4.9	8.0	0.0
不明	0.9	0.5	0.0	8.3	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「断水」「火災」などが高く、『学生』では「土砂災害による被害」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
建物やブロック塀の倒壊	71.1	69.9	74.0	66.7	73.5	71.4	71.0
土砂災害による被害	24.6	23.5	22.0	21.2	20.5	37.1	28.0
津波による浸水	21.0	20.9	32.0	21.2	13.3	25.7	20.4
ため池の決壊	12.1	13.7	12.0	21.2	12.0	8.6	7.5
火災	43.6	41.2	58.0	33.3	48.2	37.1	41.9
停電	80.5	77.1	88.0	75.8	84.3	82.9	79.6
断水	78.7	75.8	90.0	78.8	85.5	68.6	75.3
家具類の転倒等	77.2	77.8	80.0	63.6	77.1	80.0	78.5
その他	3.6	3.3	2.0	0.0	4.8	2.9	5.4
被害は受けない	0.4	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.1
わからない	2.9	1.3	0.0	3.0	3.6	0.0	7.5
不明	0.9	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	1.1

問3

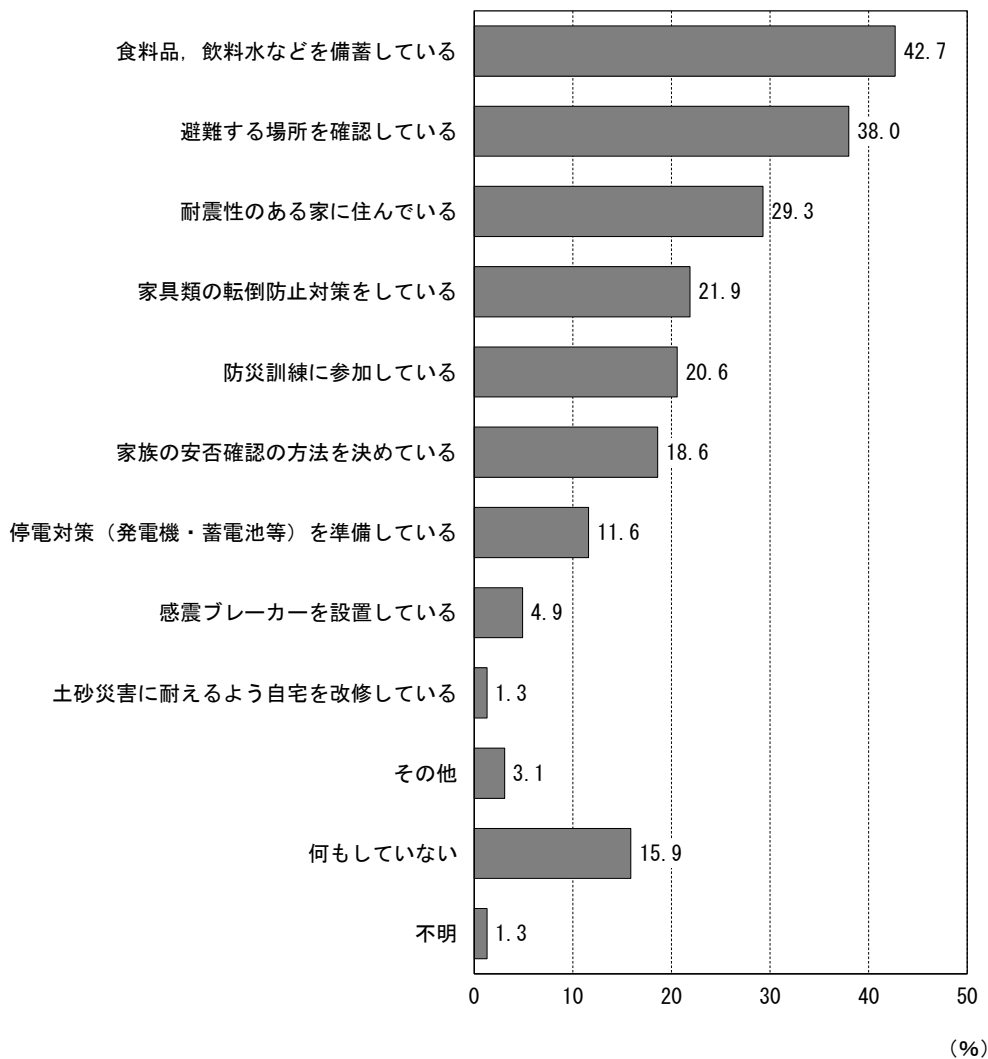
ご自宅で実施している地震対策はありますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「食料品、飲料水などを備蓄している」が42.7%と最も多くなっています。次いで、「避難する場所を確認している」(38.0%)、「耐震性のある家に住んでいる」(29.3%)となっています。

図表 3-29 自宅で実施している地震対策の内容

回答者数：447



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
アマチュア無線の取得	男性	10 歳代	松永
レインセラー（雨水を貯めている）	男性	40 歳代	東部
断水に備えての簡易トイレセットの購入・備蓄。	女性	40 歳代	東部
耐震性まではいかないが、可能な限り家に筋交を入れ、壁部分を増やして強度を持たせるための改築をした	女性	50 歳代	中部
機会ある毎に話はしているが高齢者世帯の為いざという時は実行不能	男性	70 歳以上	東部

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』では「防災訓練に参加している」が高く、『女性』では「食料品、飲料水などを備蓄している」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「耐震性のある家に住んでいる」「食料品、飲料水などを備蓄している」などが高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
耐震性のある家に住んでいる	29.3	27.6	30.6	50.0	50.0	23.6	17.5
土砂災害に耐えるよう自宅を改修している	1.3	2.4	0.4	0.0	3.8	0.7	0.0
感震ブレイカーを設置している	4.9	6.2	3.8	0.0	4.7	5.3	2.5
停電対策（発電機・蓄電池等）を準備している	11.6	12.4	11.1	0.0	18.9	9.0	12.5
食料品、飲料水などを備蓄している	42.7	35.2	49.8	0.0	49.1	39.9	47.5
家具類の転倒防止対策をしている	21.9	22.4	21.3	50.0	23.6	22.6	12.5
避難する場所を確認している	38.0	39.0	37.4	0.0	45.3	34.9	42.5
家族の安否確認の方法を決めている	18.6	19.5	17.9	0.0	15.1	19.6	20.0
防災訓練に参加している	20.6	27.1	14.9	0.0	9.4	24.9	17.5
その他	3.1	3.8	2.6	0.0	2.8	3.7	0.0
何もしていない	15.9	15.2	16.2	50.0	11.3	17.3	17.5
不明	1.3	1.0	1.7	0.0	0.0	2.0	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『30歳代』では「食料品、飲料水などを備蓄している」「耐震性のある家に住んでいる」が高く、『40歳代』では「耐震性のある家に住んでいる」が高く、『60歳代』『70歳以上』では「防災訓練に参加している」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
耐震性のある家に住んでいる	29.3	32.0	29.8	41.3	41.7	27.9	24.0	14.1
土砂災害に耐えるよう自宅を改修している	1.3	0.0	2.1	2.7	1.4	0.0	0.0	2.2
感震ブレイカーを設置している	4.9	0.0	8.5	2.7	4.2	1.6	4.0	9.8
停電対策（発電機・蓄電池等）を準備している	11.6	20.0	12.8	14.7	19.4	6.6	4.0	9.8
食料品、飲料水などを備蓄している	42.7	48.0	38.3	60.0	45.8	45.9	34.7	31.5
家具類の転倒防止対策をしている	21.9	24.0	10.6	26.7	25.0	21.3	21.3	21.7
避難する場所を確認している	38.0	28.0	34.0	38.7	43.1	34.4	40.0	39.1
家族の安否確認の方法を決めている	18.6	20.0	14.9	12.0	18.1	26.2	13.3	25.0
防災訓練に参加している	20.6	0.0	4.3	13.3	13.9	11.5	37.3	38.0
その他	3.1	4.0	0.0	1.3	5.6	6.6	0.0	4.3
何もしていない	15.9	8.0	21.3	14.7	11.1	14.8	16.0	20.7
不明	1.3	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	1.3	4.3

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』『神辺』では「食料品、飲料水などを備蓄している」が高く、『松永』では「防災訓練に参加している」が高く、『東部』では「耐震性のある家に住んでいる」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
耐震性のある家に住んでいる	29.3	29.7	21.4	16.7	23.5	41.3	34.1	28.0	0.0
土砂災害に耐えるよう自宅を改修している	1.3	1.0	0.0	4.2	1.5	3.2	0.0	0.0	0.0
感震ブレーカーを設置している	4.9	4.6	10.7	4.2	4.4	7.9	0.0	0.0	33.3
停電対策(発電機・蓄電池等)を準備している	11.6	11.8	3.6	12.5	11.8	11.1	9.8	20.0	33.3
食料品、飲料水などを備蓄している	42.7	44.1	57.1	33.3	30.9	41.3	53.7	40.0	66.7
家具類の転倒防止対策をしている	21.9	24.1	17.9	12.5	13.2	25.4	24.4	28.0	33.3
避難する場所を確認している	38.0	40.5	35.7	37.5	36.8	38.1	34.1	32.0	33.3
家族の安否確認の方法を決めている	18.6	16.9	17.9	16.7	11.8	25.4	24.4	24.0	33.3
防災訓練に参加している	20.6	22.1	14.3	37.5	20.6	15.9	19.5	16.0	0.0
その他	3.1	0.5	3.6	8.3	2.9	7.9	2.4	8.0	0.0
何もしていない	15.9	15.9	17.9	20.8	13.2	14.3	14.6	24.0	0.0
不明	1.3	1.0	0.0	4.2	1.5	1.6	2.4	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『その他』で「防災訓練に参加している」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
耐震性のある家に住んでいる	29.3	34.0	32.0	36.4	26.5	25.7	21.5
土砂災害に耐えるよう自宅を改修している	1.3	1.3	2.0	0.0	2.4	0.0	1.1
感震ブレーカーを設置している	4.9	3.3	2.0	3.0	9.6	2.9	6.5
停電対策(発電機・蓄電池等)を準備している	11.6	12.4	8.0	3.0	13.3	20.0	10.8
食料品、飲料水などを備蓄している	42.7	45.1	52.0	33.3	50.6	40.0	31.2
家具類の転倒防止対策をしている	21.9	21.6	20.0	18.2	25.3	20.0	22.6
避難する場所を確認している	38.0	34.0	44.0	42.4	37.3	37.1	40.9
家族の安否確認の方法を決めている	18.6	18.3	16.0	15.2	25.3	22.9	14.0
防災訓練に参加している	20.6	13.1	22.0	18.2	24.1	2.9	36.6
その他	3.1	3.3	6.0	0.0	2.4	2.9	3.2
何もしていない	15.9	19.0	8.0	24.2	14.5	14.3	14.0
不明	1.3	0.7	2.0	0.0	2.4	0.0	2.2

問 4

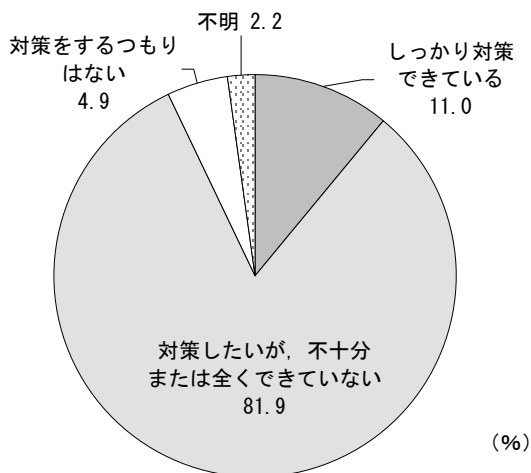
あなたのご自宅は地震対策ができていますか。当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「対策したいが、不十分または全くできていない」が 81.9%と顕著に高くなっています。

図表 3-30 自宅の地震対策の評価

回答者数 : 447



【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『女性』で「対策したいが、不十分または全くできていない」が高くなっています。

子育て世帯別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
しっかり対策できている	11.0	15.2	7.2	0.0	14.2	10.3	7.5
対策したいが、不十分または全くできていない	81.9	75.2	87.7	100.0	84.9	80.1	87.5
対策をするつもりはない	4.9	6.7	3.4	0.0	0.9	6.3	5.0
不明	2.2	2.9	1.7	0.0	0.0	3.3	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10 歳代』で「対策したいが、不十分または全くできていない」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
しっかり対策できている	11.0	8.0	6.4	9.3	11.1	14.8	9.3	14.1
対策したいが、不十分または全くできていない	81.9	92.0	85.1	86.7	84.7	80.3	80.0	73.9
対策をするつもりはない	4.9	0.0	8.5	2.7	2.8	3.3	6.7	7.6
不明	2.2	0.0	0.0	1.3	1.4	1.6	4.0	4.3

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』で「しっかり対策できている」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
しっかり対策できている	11.0	10.3	25.0	8.3	11.8	9.5	4.9	16.0	0.0
対策したいが、不十分または全くできていない	81.9	84.1	60.7	83.3	83.8	85.7	87.8	60.0	100.0
対策をするつもりはない	4.9	4.1	7.1	4.2	4.4	3.2	4.9	16.0	0.0
不明	2.2	1.5	7.1	4.2	0.0	1.6	2.4	8.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』で「対策したいが、不十分または全くできていない」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
しっかり対策できている	11.0	13.1	8.0	12.1	10.8	5.7	10.8
対策したいが、不十分または全くできていない	81.9	81.0	92.0	81.8	83.1	88.6	74.2
対策をするつもりはない	4.9	5.2	0.0	6.1	4.8	5.7	6.5
不明	2.2	0.7	0.0	0.0	1.2	0.0	8.6

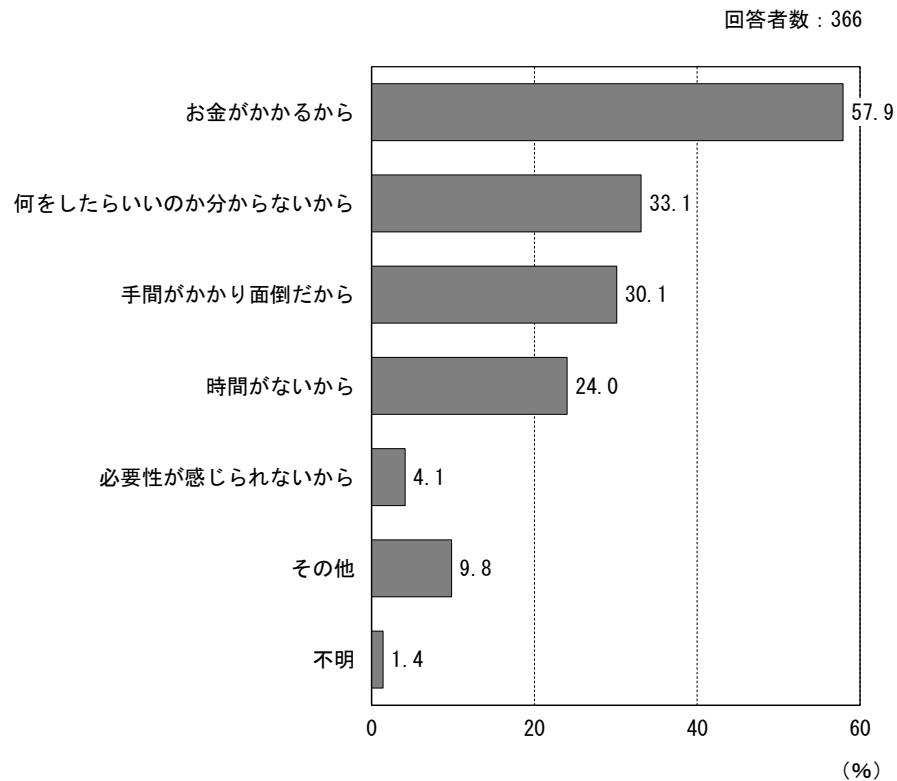
問5

【問4で「対策したいが、不十分または全くできていない」と回答した方にお聞きします。】
 あなたのご自宅の地震対策が不十分または全くできていない理由は何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「お金がかかるから」が57.9%と最も多くなっています。次いで、「何をしたらいいのかわからないから」(33.1%)、「手間がかかり面倒だから」(30.1%)、「時間がないから」(24.0%)となっています。

図表 3-31 自宅の地震対策の評価を「対策したいが、不十分または全くできていない」と回答した理由



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
賃貸だから。	女性	20 歳代	中部
少しずつやっている 対策をしている途中でまだ十分ではない	男性	30 歳代	中部
ある程度できているが新しい情報により、より対策したいから	男性	40 歳代	東部
十分ではないが、大体できていると思い、それ以上はしていません。	女性	40 歳代	東部
できるだけしたつもりだが、完璧にするためには建て替えるしかないと言われたから	女性	50 歳代	中部
古い家だから避難することを考えています	男性	60 歳代	神辺
裏山を取り除くことはできないから	女性	60 歳代	神辺

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』では「お金がかかるから」「手間がかかり面倒だから」が高く、『女性』では「何をしたらいいのかわからないから」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「時間がないから」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	366	158	206	2	90	241	35
お金がかかるから	57.9	64.6	53.4	0.0	55.6	59.3	54.3
時間がないから	24.0	22.2	25.7	0.0	40.0	17.8	25.7
手間がかかり面倒だから	30.1	35.4	26.2	0.0	30.0	28.6	40.0
何をしたらいいのかわからないから	33.1	26.6	38.3	0.0	24.4	34.9	42.9
必要性が感じられないから	4.1	5.7	2.4	50.0	3.3	4.6	2.9
その他	9.8	7.6	11.2	50.0	10.0	10.0	8.6
不明	1.4	1.9	1.0	0.0	0.0	2.1	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「何をしたらいいのかわからないから」が高く、『20歳代』『30歳代』では「時間がないから」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	366	23	40	65	61	49	60	68
お金がかかるから	57.9	43.5	62.5	49.2	60.7	63.3	61.7	58.8
時間がないから	24.0	30.4	42.5	35.4	32.8	24.5	3.3	10.3
手間がかかり面倒だから	30.1	34.8	32.5	33.8	21.3	34.7	30.0	27.9
何をしたらいいのかわからないから	33.1	60.9	35.0	35.4	26.2	34.7	23.3	33.8
必要性が感じられないから	4.1	4.3	0.0	4.6	3.3	2.0	1.7	10.3
その他	9.8	4.3	5.0	9.2	11.5	8.2	15.0	10.3
不明	1.4	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	5.0	1.5

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「何をしたらいいのかわからないから」が高く、『神辺』では「お金がかかるから」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	366	164	17	20	57	54	36	15	3
お金がかかるから	57.9	52.4	64.7	50.0	61.4	63.0	72.2	60.0	33.3
時間がないから	24.0	27.4	11.8	20.0	15.8	14.8	33.3	40.0	66.7
手間がかかり面倒だから	30.1	26.8	29.4	40.0	38.6	27.8	30.6	20.0	66.7
何をしたらいいのかわからないから	33.1	35.4	52.9	25.0	35.1	22.2	27.8	33.3	66.7
必要性が感じられないから	4.1	1.8	5.9	0.0	8.8	3.7	8.3	6.7	0.0
その他	9.8	12.8	0.0	10.0	3.5	11.1	13.9	0.0	0.0
不明	1.4	1.8	0.0	0.0	0.0	1.9	2.8	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「お金がかかるから」が高く、『学生』では「手間がかかり面倒だから」「何をしたらいいのかわからないから」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	366	124	46	27	69	31	69
お金がかかるから	57.9	60.5	71.7	63.0	55.1	45.2	50.7
時間がないから	24.0	31.5	26.1	25.9	11.6	32.3	17.4
手間がかかり面倒だから	30.1	29.0	30.4	33.3	27.5	45.2	26.1
何をしたらいいのかわからないから	33.1	35.5	17.4	40.7	36.2	45.2	27.5
必要性が感じられないから	4.1	3.2	2.2	3.7	4.3	3.2	7.2
その他	9.8	10.5	10.9	7.4	8.7	6.5	11.6
不明	1.4	0.8	0.0	0.0	1.4	0.0	4.3

問6

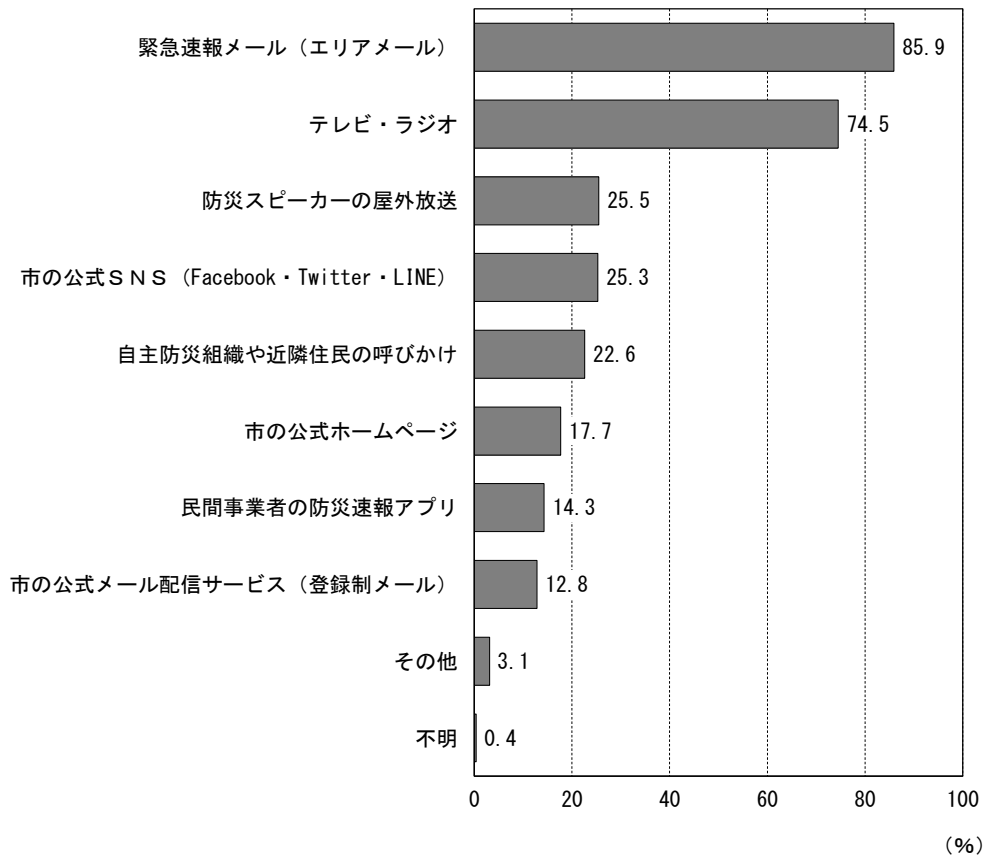
あなたが、地震や津波の情報を得る方法として有効だと思うものはどれですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「緊急速報メール（エリアメール）」が 85.9%と最も多く、次いで、「テレビ・ラジオ」（74.5%）となっています。

図表 3-32 地震や津波の情報を得る方法として有効だと思うもの

回答者数：447



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
インターネット	男性	30歳代	南部
Twitter 検索, Facebook で知人の投稿を見る	女性	30歳代	南部
気象庁のホームページ, NHK ニュース・防災アプリ	男性	40歳代	中部

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「緊急速報メール（エリアメール）」などが高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
緊急速報メール（エリアメール）	85.9	81.9	89.8	50.0	92.5	83.4	87.5
テレビ・ラジオ	74.5	74.3	74.5	100.0	67.9	76.7	75.0
市の公式ホームページ	17.7	19.0	16.6	0.0	20.8	17.6	10.0
市の公式メール配信サービス（登録制メール）	12.8	11.0	14.5	0.0	17.0	12.3	5.0
市の公式SNS（Facebook・Twitter・LINE）	25.3	24.3	26.4	0.0	34.9	23.3	15.0
防災スピーカーの屋外放送	25.5	23.3	27.7	0.0	27.4	22.6	42.5
民間事業者の防災速報アプリ	14.3	16.7	12.3	0.0	20.8	13.0	7.5
自主防災組織や近隣住民の呼びかけ	22.6	26.2	19.6	0.0	13.2	23.6	40.0
その他	3.1	2.9	3.4	0.0	2.8	3.0	5.0
不明	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「防災スピーカーの屋外放送」が高く、『20歳代』では「市の公式SNS（Facebook・Twitter・LINE）」「防災スピーカーの屋外放送」が高く、『30歳代』では「市の公式SNS（Facebook・Twitter・LINE）」が高く、『40歳代』では「緊急速報メール（エリアメール）」が高く、『70歳以上』では「テレビ・ラジオ」「自主防災組織や近隣住民の呼びかけ」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
緊急速報メール（エリアメール）	85.9	84.0	87.2	89.3	97.2	91.8	81.3	73.9
テレビ・ラジオ	74.5	60.0	59.6	69.3	66.7	73.8	81.3	91.3
市の公式ホームページ	17.7	16.0	19.1	21.3	13.9	26.2	12.0	16.3
市の公式メール配信サービス（登録制メール）	12.8	4.0	6.4	16.0	12.5	13.1	13.3	15.2
市の公式SNS（Facebook・Twitter・LINE）	25.3	24.0	40.4	36.0	34.7	18.0	16.0	14.7
防災スピーカーの屋外放送	25.5	36.0	36.2	34.7	23.6	23.0	18.7	18.5
民間事業者の防災速報アプリ	14.3	20.0	14.9	18.7	19.4	16.4	12.0	5.4
自主防災組織や近隣住民の呼びかけ	22.6	28.0	19.1	20.0	13.9	14.8	25.3	34.8
その他	3.1	0.0	2.1	2.7	5.6	3.3	4.0	2.2
不明	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「市の公式SNS (Facebook・Twitter・LINE)」が高く、『東部』では「テレビ・ラジオ」が高く、『神辺』では「民間事業者の防災速報アプリ」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
緊急速報メール (エリアメール)	85.9	88.2	85.7	79.2	79.4	88.9	80.5	96.0	66.7
テレビ・ラジオ	74.5	70.3	82.1	75.0	73.5	85.7	80.5	60.0	100.0
市の公式ホームページ	17.7	20.0	17.9	12.5	11.8	20.6	14.6	20.0	0.0
市の公式メール配信サービス (登録制メール)	12.8	13.8	21.4	4.2	13.2	14.3	12.2	0.0	0.0
市の公式SNS (Facebook・Twitter・LINE)	25.3	26.7	35.7	16.7	26.5	19.0	29.3	16.0	33.3
防災スピーカーの屋外放送	25.5	29.7	28.6	25.0	17.6	19.0	22.0	36.0	0.0
民間事業者の防災速報アプリ	14.3	14.9	10.7	8.3	8.8	9.5	31.7	20.0	0.0
自主防災組織や近隣住民の呼びかけ	22.6	26.2	21.4	16.7	25.0	19.0	14.6	20.0	0.0
その他	3.1	2.1	7.1	4.2	2.9	1.6	4.9	8.0	0.0
不明	0.4	0.5	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『主夫・主婦』では「テレビ・ラジオ」が高く、『学生』では「防災スピーカーの屋外放送」が高く、『その他』では「自主防災組織や近隣住民の呼びかけ」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
緊急速報メール (エリアメール)	85.9	91.5	90.0	87.9	81.9	85.7	77.4
テレビ・ラジオ	74.5	71.2	72.0	66.7	86.7	62.9	77.4
市の公式ホームページ	17.7	16.3	14.0	15.2	18.1	22.9	20.4
市の公式メール配信サービス (登録制メール)	12.8	13.1	12.0	18.2	14.5	2.9	12.9
市の公式SNS (Facebook・Twitter・LINE)	25.3	27.5	30.0	30.3	18.1	31.4	21.5
防災スピーカーの屋外放送	25.5	26.1	20.0	21.2	22.9	42.9	24.7
民間事業者の防災速報アプリ	14.3	17.6	14.0	15.2	10.8	22.9	8.6
自主防災組織や近隣住民の呼びかけ	22.6	16.3	18.0	24.2	20.5	25.7	35.5
その他	3.1	3.9	0.0	3.0	3.6	2.9	3.2
不明	0.4	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.1

問7

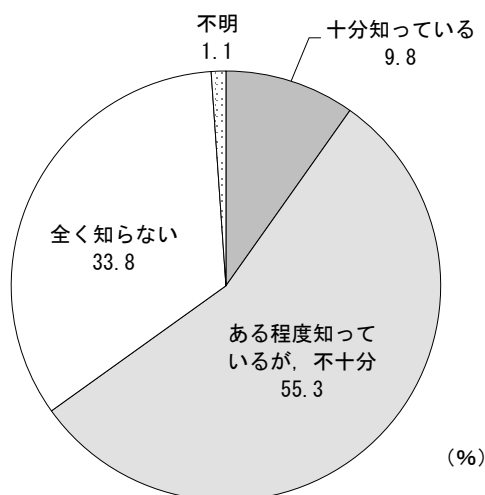
南海トラフ地震が発生した場合の福山市の被害想定（最大震度，津波の高さ，最大の津波が来るまでの時間，津波で浸水する範囲）を知っていますか。当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「ある程度知っているが，不十分」が55.3%と最も高く，次いで，「全く知らない」(33.8%)，「十分知っている」(9.8%)となっています。

図表3-33 南海トラフ地震が発生した場合の福山市の被害想定について

回答者数：447



【属性別】

性別と子育て世帯別では，回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
十分知っている	9.8	12.4	7.2	50.0	13.2	9.0	7.5
ある程度知っているが，不十分	55.3	55.7	54.9	50.0	52.8	56.8	50.0
全く知らない	33.8	30.5	37.0	0.0	34.0	32.6	42.5
不明	1.1	1.4	0.9	0.0	0.0	1.7	0.0

年代別で見ると，回答者全体と比較して，『10歳代』では「全く知らない」「十分知っている」が高く，『20歳代』では「全く知らない」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
十分知っている	9.8	20.0	17.0	8.0	6.9	11.5	8.0	7.6
ある程度知っているが，不十分	55.3	36.0	29.8	52.0	62.5	62.3	61.3	60.9
全く知らない	33.8	44.0	53.2	40.0	30.6	26.2	29.3	27.2
不明	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	4.3

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』で「ある程度知っているが、不十分」が低くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
十分知っている	9.8	10.8	10.7	16.7	7.4	11.1	9.8	0.0	0.0
ある程度知っているが、不十分	55.3	58.5	50.0	41.7	54.4	60.3	56.1	40.0	33.3
全く知らない	33.8	30.3	39.3	37.5	36.8	27.0	31.7	60.0	66.7
不明	1.1	0.5	0.0	4.2	1.5	1.6	2.4	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』『自営業』では「ある程度知っているが、不十分」が高く、『学生』では「全く知らない」「十分知っている」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
十分知っている	9.8	9.8	8.0	12.1	9.6	20.0	6.5
ある程度知っているが、不十分	55.3	52.3	72.0	69.7	56.6	28.6	54.8
全く知らない	33.8	37.9	20.0	18.2	31.3	51.4	35.5
不明	1.1	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	3.2

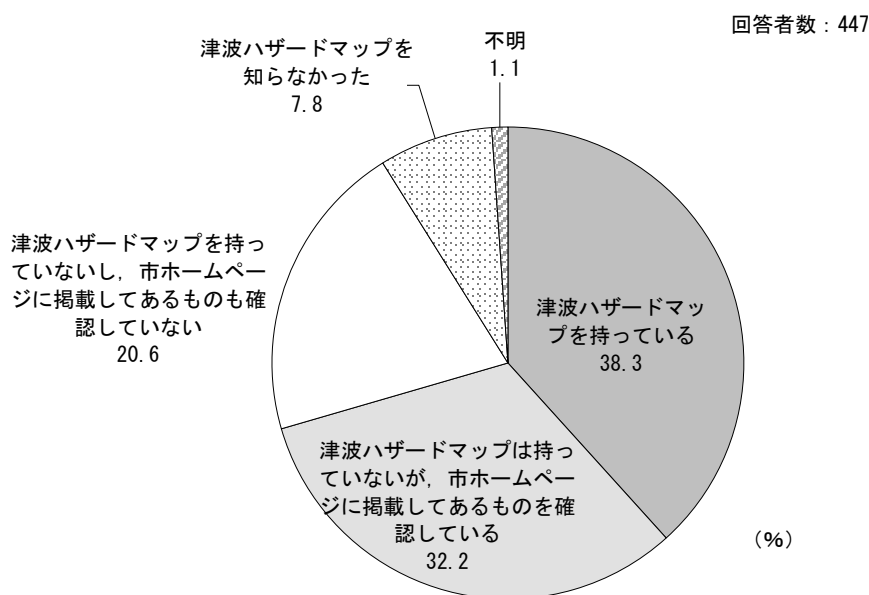
問8

本市が2013年（平成25年）に発行した津波ハザードマップを持っていますか。または、市ホームページに掲載してあるものを確認していますか。当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「津波ハザードマップを持っている」が38.3%と最も高く、次いで、「津波ハザードマップは持っていないが、市ホームページに掲載してあるものを確認している」(32.2%)、「津波ハザードマップは持っていないし、市ホームページに掲載してあるものも確認していない」(20.6%)、「津波ハザードマップを知らなかった」(7.8%)となっています。

図表 3-34 福山市が2013年に発行した津波ハザードマップについて



【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』で「津波ハザードマップを持っている」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい (子育て世帯)』で「津波ハザードマップは持っていないが、市ホームページに掲載してあるものを確認している」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
津波ハザードマップを持っている	38.3	43.3	33.6	50.0	37.7	39.2	32.5
津波ハザードマップは持っていないが、市ホームページに掲載してあるものを確認している	32.2	29.5	34.5	50.0	40.6	29.9	27.5
津波ハザードマップは持っていないし、市ホームページに掲載してあるものも確認していない	20.6	18.6	22.6	0.0	17.0	21.9	20.0
津波ハザードマップを知らなかった	7.8	7.6	8.1	0.0	4.7	7.6	17.5
不明	1.1	1.0	1.3	0.0	0.0	1.3	2.5

年代別でみると、回答者全体と比較して、『20歳代』では「津波ハザードマップを持っていないし、市ホームページに掲載してあるものも確認していない」が高く、『30歳代』『50歳代』では「津波ハザードマップは持ってないが、市ホームページに掲載してあるものを確認している」が高く、『60歳代』『70歳以上』では「津波ハザードマップを持っている」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
津波ハザードマップを持っている	38.3	16.0	12.8	22.7	44.4	36.1	53.3	54.3
津波ハザードマップは持ってないが、市ホームページに掲載してあるものを確認している	32.2	40.0	25.5	50.7	29.2	42.6	22.7	21.7
津波ハザードマップを持っていないし、市ホームページに掲載してあるものも確認していない	20.6	28.0	44.7	17.3	22.2	18.0	16.0	13.0
津波ハザードマップを知らなかった	7.8	16.0	17.0	8.0	4.2	3.3	5.3	8.7
不明	1.1	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	2.7	2.2

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「津波ハザードマップを持っている」が高く、『北部』では「津波ハザードマップを持っていないし、市ホームページに掲載してあるものも確認していない」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
津波ハザードマップを持っている	38.3	42.6	50.0	29.2	25.0	44.4	41.5	20.0	0.0
津波ハザードマップは持ってないが、市ホームページに掲載してあるものを確認している	32.2	30.8	25.0	33.3	32.4	36.5	36.6	32.0	33.3
津波ハザードマップを持っていないし、市ホームページに掲載してあるものも確認していない	20.6	19.0	21.4	25.0	32.4	11.1	9.8	32.0	66.7
津波ハザードマップを知らなかった	7.8	5.6	3.6	12.5	10.3	6.3	12.2	16.0	0.0
不明	1.1	2.1	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』では「津波ハザードマップを持っている」が高く、『学生』では「津波ハザードマップを持っていないし、市ホームページに掲載してあるものも確認していない」「津波ハザードマップを知らなかった」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
津波ハザードマップを持っている	38.3	30.7	40.0	63.6	42.2	11.4	47.3
津波ハザードマップは持ってないが、市ホームページに掲載してあるものを確認している	32.2	37.9	34.0	15.2	33.7	34.3	25.8
津波ハザードマップを持っていないし、市ホームページに掲載してあるものも確認していない	20.6	22.9	20.0	21.2	15.7	31.4	17.2
津波ハザードマップを知らなかった	7.8	8.5	4.0	0.0	6.0	22.9	7.5
不明	1.1	0.0	2.0	0.0	2.4	0.0	2.2

問9

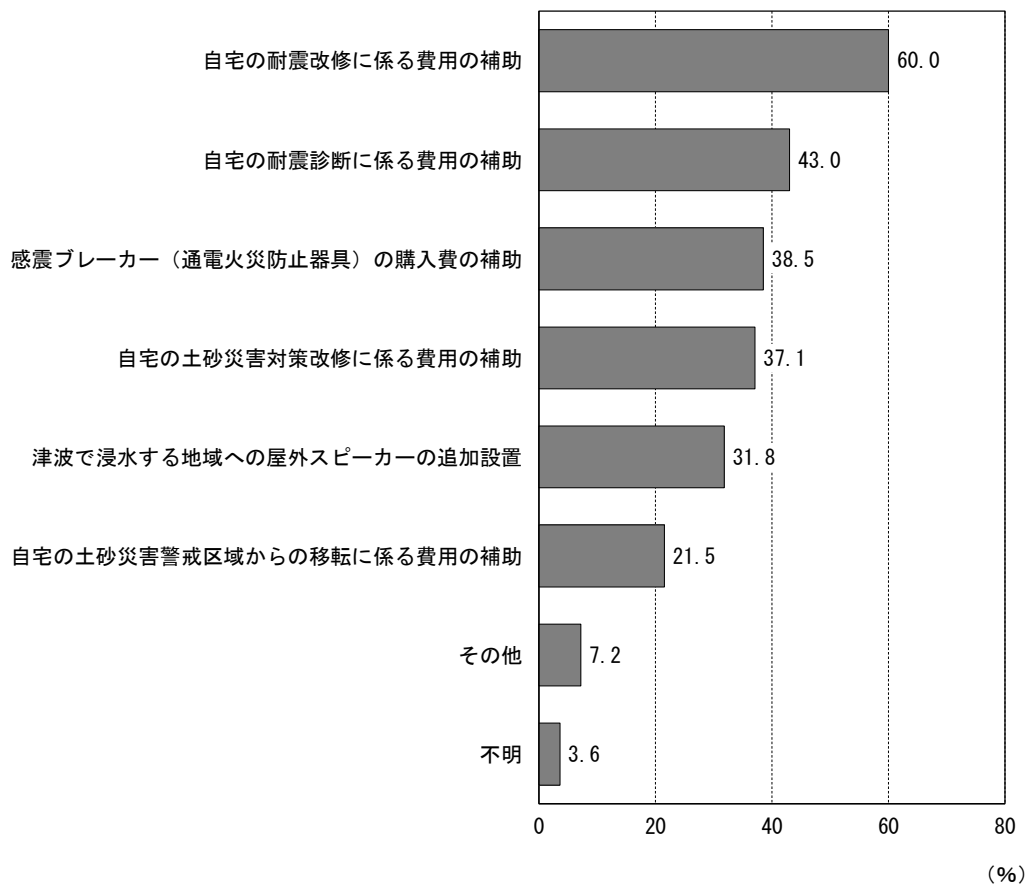
地震による死者の主な理由は、建物倒壊、土砂災害、火災、津波です。
市の支援策としてあなたが有効と思うものは、次のうちどれですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「自宅の耐震改修に係る費用の補助」が60.0%と最も多くなっています。次いで、「自宅の耐震診断に係る費用の補助」(43.0%)、「感震ブレーカー（通電火災防止器具）の購入費の補助」(38.5%)、「自宅の土砂災害対策改修に係る費用の補助」(37.1%)となっています。

図表 3-35 地震による死者の主な理由を踏まえて有効だと思う市の支援策

回答者数：447



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
土砂災害が起きそうな地域に対して（特に山に近い地域）補修工事や対策をしておくべきだと思う	女性	10歳代	東部
避難場所の確保・具体的な被害を想定した避難訓練の実施するための地域への支援	男性	30歳代	東部
対策を強く促す政策。費用補助は不要です。	男性	40歳代	中部
個人単位でなく、町内会単位の地域としての対策にかかる費用の補助	女性	40歳代	中部
浸水したらどうすれば（どう行動すれば）よいかという案内や説明を回覧板で回してほしい	女性	50歳代	神辺
津波対策として高い施設市の南部（浸水区域）にたくさん設置してほしい	男性	60歳代	中部

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「自宅の耐震改修に係る費用の補助」「自宅の耐震診断に係る費用の補助」「自宅の土砂災害対策改修に係る費用の補助」などが高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
自宅の耐震診断に係る費用の補助	43.0	41.9	43.8	50.0	53.8	39.5	40.0
自宅の耐震改修に係る費用の補助	60.0	57.1	62.6	50.0	67.9	56.8	62.5
自宅の土砂災害対策改修に係る費用の補助	37.1	35.2	38.7	50.0	48.1	33.6	35.0
自宅の土砂災害警戒区域からの移転に係る費用の補助	21.5	19.0	23.8	0.0	30.2	17.9	25.0
感震ブレーカー（通電火災防止器具）の購入費の補助	38.5	37.1	39.6	50.0	36.8	37.5	50.0
津波で浸水する地域への屋外スピーカーの追加設置	31.8	30.5	32.8	50.0	37.7	29.9	30.0
その他	7.2	7.6	6.4	50.0	6.6	8.0	2.5
不明	3.6	4.8	2.6	0.0	1.9	4.0	5.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『20歳代』では「感震ブレーカー（通電火災防止器具）の購入費の補助」などが高く、『30歳代』では「自宅の耐震改修に係る費用の補助」「自宅の耐震診断に係る費用の補助」などが高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
自宅の耐震診断に係る費用の補助	43.0	36.0	42.6	58.7	40.3	34.4	32.0	48.9
自宅の耐震改修に係る費用の補助	60.0	56.0	61.7	74.7	62.5	49.2	58.7	54.3
自宅の土砂災害対策改修に係る費用の補助	37.1	32.0	46.8	46.7	43.1	26.2	38.7	27.2
自宅の土砂災害警戒区域からの移転に係る費用の補助	21.5	28.0	31.9	33.3	19.4	23.0	14.7	10.9
感震ブレーカー（通電火災防止器具）の購入費の補助	38.5	36.0	51.1	38.7	31.9	42.6	30.7	41.3
津波で浸水する地域への屋外スピーカーの追加設置	31.8	28.0	36.2	49.3	30.6	39.3	24.0	18.5
その他	7.2	4.0	4.3	8.0	9.7	4.9	10.7	5.4
不明	3.6	0.0	0.0	1.3	4.2	3.3	2.7	8.7

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』では「感震ブレーカー（通電火災防止器具）の購入費の補助」が高く、『東部』『神辺』では「自宅の土砂災害対策改修に係る費用の補助」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
自宅の耐震診断に係る費用の補助	43.0	42.1	50.0	33.3	42.6	50.8	48.8	24.0	33.3
自宅の耐震改修に係る費用の補助	60.0	59.5	60.7	62.5	57.4	61.9	61.0	64.0	33.3
自宅の土砂災害対策改修に係る費用の補助	37.1	35.4	14.3	29.2	36.8	47.6	51.2	36.0	33.3
自宅の土砂災害警戒区域からの移転に係る費用の補助	21.5	23.6	17.9	16.7	22.1	19.0	24.4	16.0	0.0
感震ブレーカー（通電火災防止器具）の購入費の補助	38.5	37.9	42.9	50.0	33.8	46.0	31.7	28.0	66.7
津波で浸水する地域への屋外スピーカーの追加設置	31.8	31.8	35.7	37.5	26.5	27.0	34.1	44.0	33.3
その他	7.2	8.2	7.1	0.0	7.4	7.9	2.4	12.0	0.0
不明	3.6	3.6	0.0	4.2	4.4	4.8	2.4	4.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「津波で浸水する地域への屋外スピーカーの追加設置」が高く、『学生』では「感震ブレーカー（通電火災防止器具）の購入費の補助」「自宅の土砂災害警戒区域からの移転に係る費用の補助」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
自宅の耐震診断に係る費用の補助	43.0	43.8	44.0	42.4	44.6	51.4	36.6
自宅の耐震改修に係る費用の補助	60.0	65.4	58.0	51.5	56.6	65.7	55.9
自宅の土砂災害対策改修に係る費用の補助	37.1	38.6	34.0	45.5	39.8	42.9	29.0
自宅の土砂災害警戒区域からの移転に係る費用の補助	21.5	23.5	20.0	18.2	21.7	37.1	14.0
感震ブレーカー（通電火災防止器具）の購入費の補助	38.5	35.9	40.0	36.4	42.2	51.4	34.4
津波で浸水する地域への屋外スピーカーの追加設置	31.8	36.6	44.0	24.2	22.9	28.6	29.0
その他	7.2	6.5	6.0	9.1	6.0	2.9	10.8
不明	3.6	2.6	4.0	3.0	4.8	0.0	5.4

問 10-1

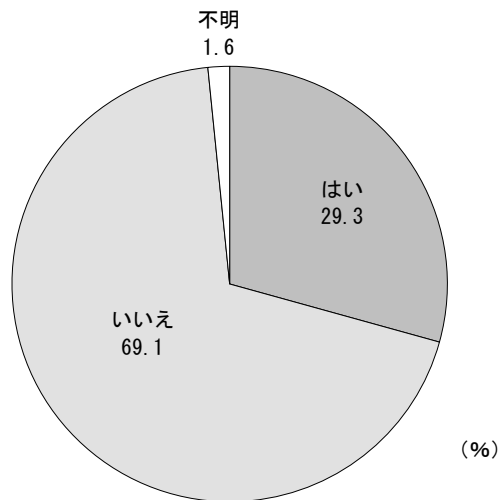
福山市では、耐震性の低い一戸建ての木造住宅（1981年（昭和56年）6月より前に建築された住宅）の耐震改修に要する費用（上限100万円まで）を補助する制度があります。あなたのご自宅は、対象となる1981年6月より前に建築された木造の住宅ですか。当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「いいえ」（69.1%）が「はい」（29.3%）を上回っています。

図表 3-36 自宅が、補助制度の対象となる「1981年6月より前に建築された住宅」に該当するかについて

回答者数：447



【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』では「いいえ」が高く、『いいえ（子育て世帯以外）』では「はい」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
はい	29.3	31.4	26.8	100.0	5.7	38.2	25.0
いいえ	69.1	66.2	72.3	0.0	94.3	59.8	72.5
不明	1.6	2.4	0.9	0.0	0.0	2.0	2.5

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』から『40歳代』では「いいえ」が高く、『70歳以上』では「はい」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
はい	29.3	0.0	19.1	14.7	15.3	26.2	37.3	60.9
いいえ	69.1	100.0	80.9	85.3	84.7	73.8	60.0	33.7
不明	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	5.4

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『北部』で「はい」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
はい	29.3	25.1	28.6	37.5	47.1	23.8	34.1	12.0	33.3
いいえ	69.1	73.3	71.4	62.5	51.5	73.0	65.9	84.0	66.7
不明	1.6	1.5	0.0	0.0	1.5	3.2	0.0	4.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』『学生』では「いいえ」が高く、『主夫・主婦』『その他』では「はい」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
はい	29.3	17.6	24.0	33.3	41.0	11.4	46.2
いいえ	69.1	81.7	76.0	66.7	57.8	88.6	48.4
不明	1.6	0.7	0.0	0.0	1.2	0.0	5.4

問 10-2

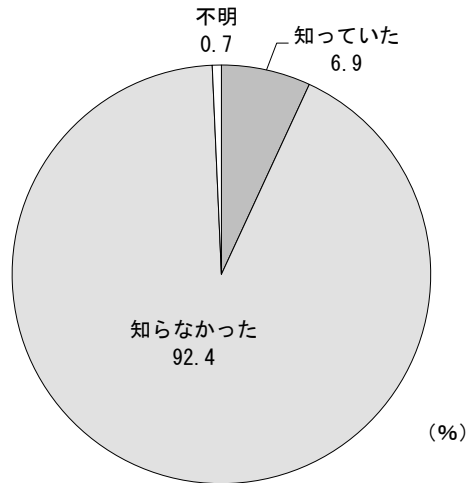
あなたは、この補助制度を知っていましたか。当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「知らなかった」(92.4%)が「知っていた」(6.9%)を大きく上回っています。

図表 3-37 「耐震性の低い一戸建て木造住宅の耐震改修費用補助制度」について

回答者数：447



【属性別】

性別と子育て世帯別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
知っていた	6.9	10.5	3.8	0.0	10.4	6.0	5.0
知らなかった	92.4	88.6	95.7	100.0	89.6	93.4	92.5
不明	0.7	1.0	0.4	0.0	0.0	0.7	2.5

年代別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
知っていた	6.9	4.0	6.4	9.3	2.8	6.6	12.0	5.4
知らなかった	92.4	96.0	93.6	90.7	97.2	93.4	88.0	91.8
不明	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3

エリア別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
知っていた	6.9	4.6	7.1	8.3	8.8	11.1	7.3	8.0	0.0
知らなかった	92.4	94.9	92.9	87.5	91.2	87.3	92.7	92.0	100.0
不明	0.7	0.5	0.0	4.2	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0

職業別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
知っていた	6.9	7.8	4.0	0.0	6.0	2.9	11.8
知らなかった	92.4	92.2	96.0	100.0	92.8	97.1	86.0
不明	0.7	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	2.2

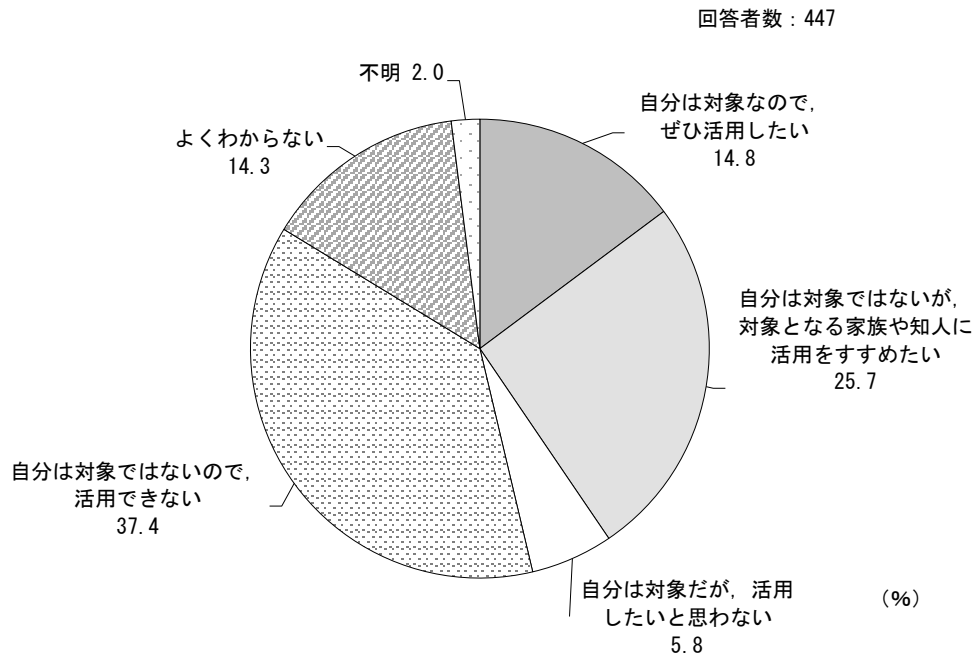
問 10-3

あなたは、この補助制度を活用したいと思いますか。当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「自分は対象ではないので、活用できない」が37.4%と最も高く、次いで、「自分は対象ではないが、対象となる家族や知人に活用をすすめたい」(25.7%)となっています。

図表 3-38 「耐震性の低い一戸建て木造住宅の耐震改修費用補助制度」の活用の意向



【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『女性』で「自分は対象ではないが、対象となる家族や知人に活用をすすめたい」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい (子育て世帯)』で「自分は対象ではないが、対象となる家族や知人に活用をすすめたい」「自分は対象ではないので、活用できない」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
自分は対象なので、ぜひ活用したい	14.8	18.6	10.6	100.0	7.5	17.3	15.0
自分は対象ではないが、対象となる家族や知人に活用をすすめたい	25.7	20.0	31.1	0.0	42.5	19.3	30.0
自分は対象だが、活用したいと思わない	5.8	6.7	5.1	0.0	0.0	8.0	5.0
自分は対象ではないので、活用できない	37.4	40.5	34.9	0.0	42.5	35.5	37.5
よくわからない	14.3	12.9	15.7	0.0	7.5	17.3	10.0
不明	2.0	1.4	2.6	0.0	0.0	2.7	2.5

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「自分は対象ではないので、活用できない」が高く、『20歳代』から『40歳代』では「自分は対象ではないが、対象となる家族や知人に活用をすすめたい」が高く、『70歳以上』では「自分は対象なので、ぜひ活用したい」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
自分は対象なので、ぜひ活用したい	14.8	0.0	12.8	5.3	5.6	14.8	18.7	31.5
自分は対象ではないが、対象となる家族や知人に活用をすすめたい	25.7	28.0	36.2	41.3	38.9	16.4	17.3	9.8
自分は対象だが、活用したいと思わない	5.8	0.0	2.1	2.7	2.8	8.2	8.0	10.9
自分は対象ではないので、活用できない	37.4	60.0	36.2	41.3	41.7	45.9	36.0	20.7
よくわからない	14.3	12.0	12.8	9.3	9.7	13.1	17.3	21.7
不明	2.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.6	2.7	5.4

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「よくわからない」が高く、『北部』では「自分は対象なので、ぜひ活用したい」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
自分は対象なので、ぜひ活用したい	14.8	12.8	17.9	16.7	25.0	9.5	19.5	4.0	0.0
自分は対象ではないが、対象となる家族や知人に活用をすすめたい	25.7	24.1	21.4	33.3	25.0	27.0	24.4	40.0	0.0
自分は対象だが、活用したいと思わない	5.8	6.2	0.0	8.3	5.9	7.9	4.9	0.0	33.3
自分は対象ではないので、活用できない	37.4	41.5	32.1	33.3	25.0	39.7	31.7	48.0	66.7
よくわからない	14.3	13.3	28.6	4.2	17.6	12.7	17.1	8.0	0.0
不明	2.0	2.1	0.0	4.2	1.5	3.2	2.4	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「自分は対象ではないが、対象となる家族や知人に活用をすすめたい」が高く、『学生』では「自分は対象ではないので、活用できない」が高くなっています。

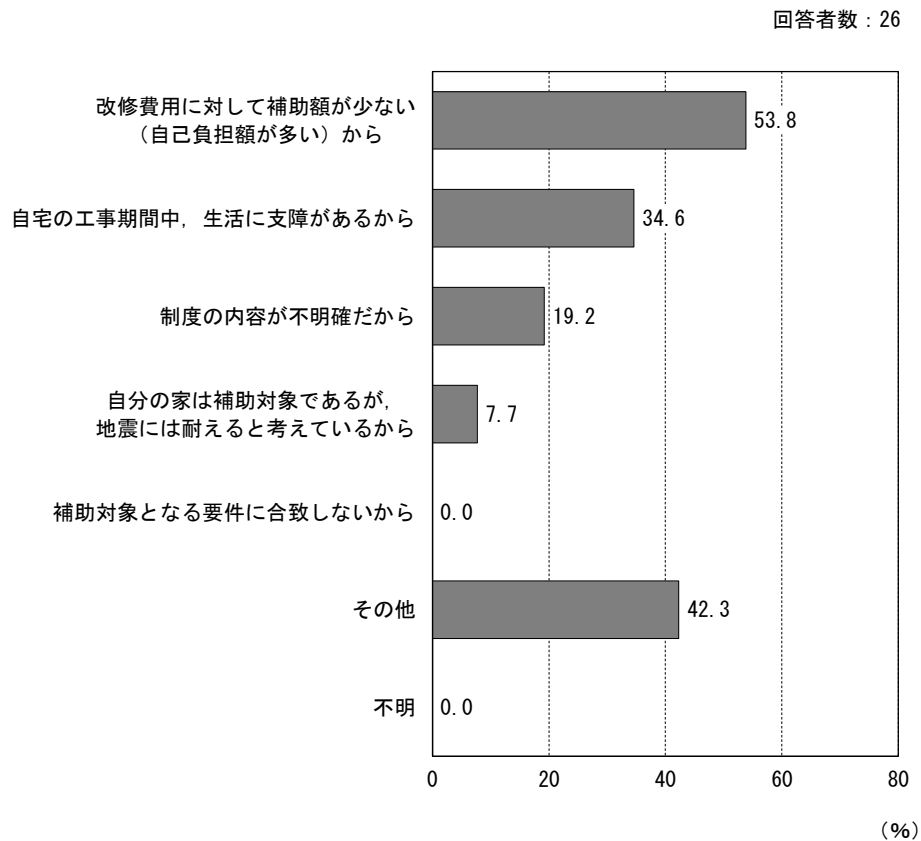
	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
自分は対象なので、ぜひ活用したい	14.8	9.8	12.0	15.2	18.1	5.7	24.7
自分は対象ではないが、対象となる家族や知人に活用をすすめたい	25.7	28.1	38.0	27.3	22.9	31.4	15.1
自分は対象だが、活用したいと思わない	5.8	3.3	4.0	6.1	9.6	2.9	8.6
自分は対象ではないので、活用できない	37.4	45.8	32.0	39.4	26.5	48.6	31.2
よくわからない	14.3	12.4	10.0	12.1	18.1	11.4	18.3
不明	2.0	0.7	4.0	0.0	4.8	0.0	2.2

問 10-4 【問 10-3 で「自分は対象だが、活用したいと思わない」と回答した方にお聞きします。】
 活用したいと思わない理由は何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「改修費用に対して補助額が少ない」が 53.8%と最も多く、次いで、「自宅の工事期間中、生活に支障があるから」（34.6%）となっています。

図表 3-39 「耐震性の低い一戸建て木造住宅の耐震改修費用補助制度」を「自分は対象だが、活用したいと思わない」と回答した理由



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
現在の危険な家を補修するよりも、安全な新しい家を建てたいため。	女性	30 歳代	中部
手続きが面倒そう。会社員なので平日時間がない。	女性	30 歳代	中部
改修より移転が望ましいと思っているから。	男性	50 歳代	東部
1981 年 6 月より前の鉄骨だとどうなのかかなり調べてもらいたい。耐震診断してからのこと。必要なら補助を受けたい。	女性	50 歳代	神辺
基礎から修繕しないといけないから	男性	60 歳代	神辺
高齢なので改修する意欲が湧かない。	女性	70 歳以上	中部

問 11

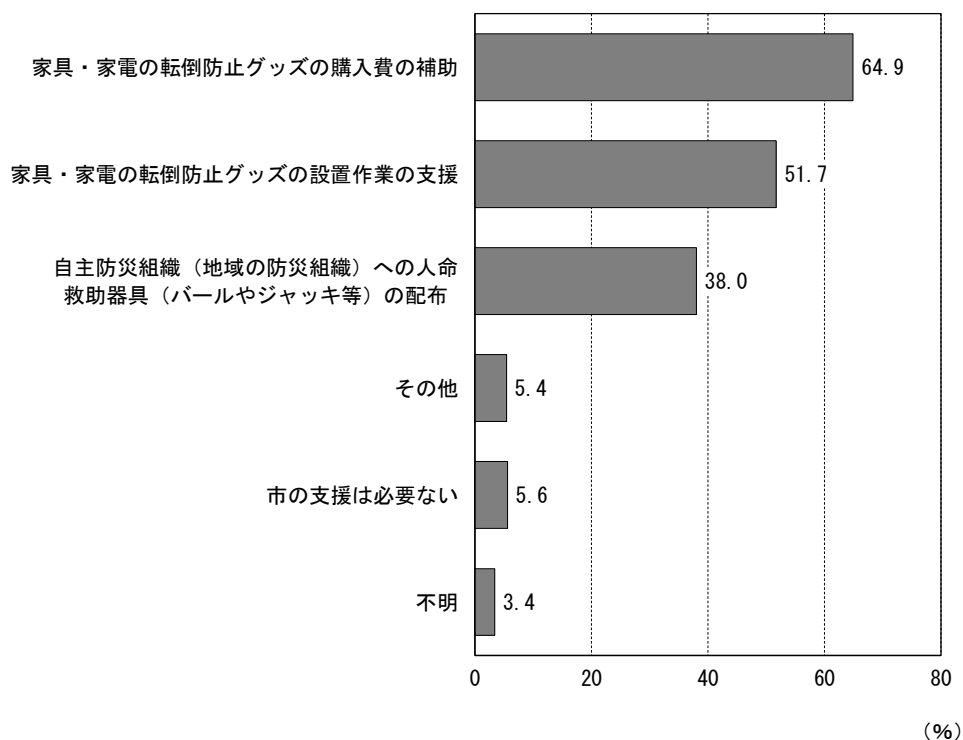
地震による負傷者の主な発生理由は、建物倒壊、家具類の転倒等です。
市の支援策としてあなたが有効と思うものは、次のうちどれですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「家具・家電の転倒防止グッズの購入費の補助」が64.9%と最も多くなっています。次いで、「家具・家電の転倒防止グッズの設置作業の支援」(51.7%)、「自主防災組織（地域の防災組織）への人命救助器具（バールやジャッキ等）の配布」(38.0%)となっています。

図表 3-40 地震による負傷者の主な発生理由を踏まえて有効だと思う市の支援策

回答者数：447



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
どのような転倒防止グッズがあるのか、どこで買えるのか等の情報提供	女性	30 歳代	中部
古いブロック塀の補助を問いかけたら、住居でなければダメだと言われました。なぜ会社には補助が出ないのでしょう。	女性	40 歳代	中部
モノでは無くて、重要なのは人。イザという時に動ける人の確保と育成（時間帯によっては、学生も貴重な人財となり得る。）	男性	50 歳代	中部
お金の補助も大切だが避難場所の充実化、コロナなど感染対策となるとスペースも必要となる。個々への支援も必要だが実際行った後のフォローはもっと大切なことだと思う。これは被災してみないと分からないと思う。	女性	50 歳代	神辺
各家庭にヘルメットや救命胴衣を家族人数分配布、自家発電またはバッテリーの配布または補助	男性	60 歳代	北部
市民全員だと税金がもったいないです。低所得層などに限定すべきではないでしょうか。問6（災害時の情報伝達）にお金を使った方がいいと思います。	女性	70 歳以上	北部

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「自主防災組織（地域の防災組織）への人命救助器具（バールやジャッキ等）の配布」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
家具・家電の転倒防止グッズの購入費の補助	64.9	68.1	61.7	100.0	67.9	65.1	55.0
家具・家電の転倒防止グッズの設置作業の支援	51.7	53.3	50.2	50.0	55.7	50.8	47.5
自主防災組織（地域の防災組織）への人命救助器具（バールやジャッキ等）の配布	38.0	33.8	42.1	0.0	43.4	35.5	42.5
その他	5.4	5.7	5.1	0.0	7.5	4.7	5.0
市の支援は必要ない	5.6	6.2	5.1	0.0	5.7	5.0	10.0
不明	3.4	2.9	3.8	0.0	0.0	3.7	10.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『20歳代』『30歳代』で「自主防災組織（地域の防災組織）への人命救助器具（バールやジャッキ等）の配布」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
家具・家電の転倒防止グッズの購入費の補助	64.9	64.0	55.3	69.3	69.4	70.5	65.3	58.7
家具・家電の転倒防止グッズの設置作業の支援	51.7	56.0	44.7	57.3	50.0	47.5	52.0	53.3
自主防災組織（地域の防災組織）への人命救助器具（バールやジャッキ等）の配布	38.0	48.0	51.1	49.3	34.7	31.1	40.0	25.0
その他	5.4	0.0	2.1	6.7	6.9	6.6	6.7	4.3
市の支援は必要ない	5.6	4.0	4.3	9.3	4.2	4.9	2.7	7.6
不明	3.4	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	4.0	12.0

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』では「家具・家電の転倒防止グッズの購入費の補助」が高く、『東部』では「家具・家電の転倒防止グッズの設置作業の支援」が高く、『神辺』では「自主防災組織（地域の防災組織）への人命救助器具（バールやジャッキ等）の配布」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
家具・家電の転倒防止グッズの購入費の補助	64.9	64.6	50.0	75.0	69.1	65.1	65.9	60.0	66.7
家具・家電の転倒防止グッズの設置作業の支援	51.7	52.8	39.3	58.3	51.5	61.9	46.3	36.0	33.3
自主防災組織（地域の防災組織）への人命救助器具（バールやジャッキ等）の配布	38.0	34.4	42.9	37.5	32.4	44.4	48.8	44.0	33.3
その他	5.4	4.1	3.6	8.3	7.4	4.8	7.3	4.0	33.3
市の支援は必要ない	5.6	6.2	14.3	0.0	5.9	3.2	4.9	4.0	0.0
不明	3.4	2.6	3.6	4.2	4.4	4.8	4.9	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』で「自主防災組織（地域の防災組織）への人命救助器具（バールやジャッキ等）の配布」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用 労働者	非正規雇用 労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
家具・家電の転倒防止グッズの購入費の補助	64.9	70.6	58.0	69.7	62.7	65.7	59.1
家具・家電の転倒防止グッズの設置作業の支援	51.7	55.6	54.0	45.5	47.0	57.1	48.4
自主防災組織（地域の防災組織）への人命救助器具（バールやジャッキ等）の配布	38.0	37.3	36.0	48.5	34.9	42.9	37.6
その他	5.4	5.2	6.0	3.0	4.8	0.0	8.6
市の支援は必要ない	5.6	3.3	10.0	6.1	6.0	2.9	7.5
不明	3.4	0.7	2.0	0.0	7.2	0.0	7.5

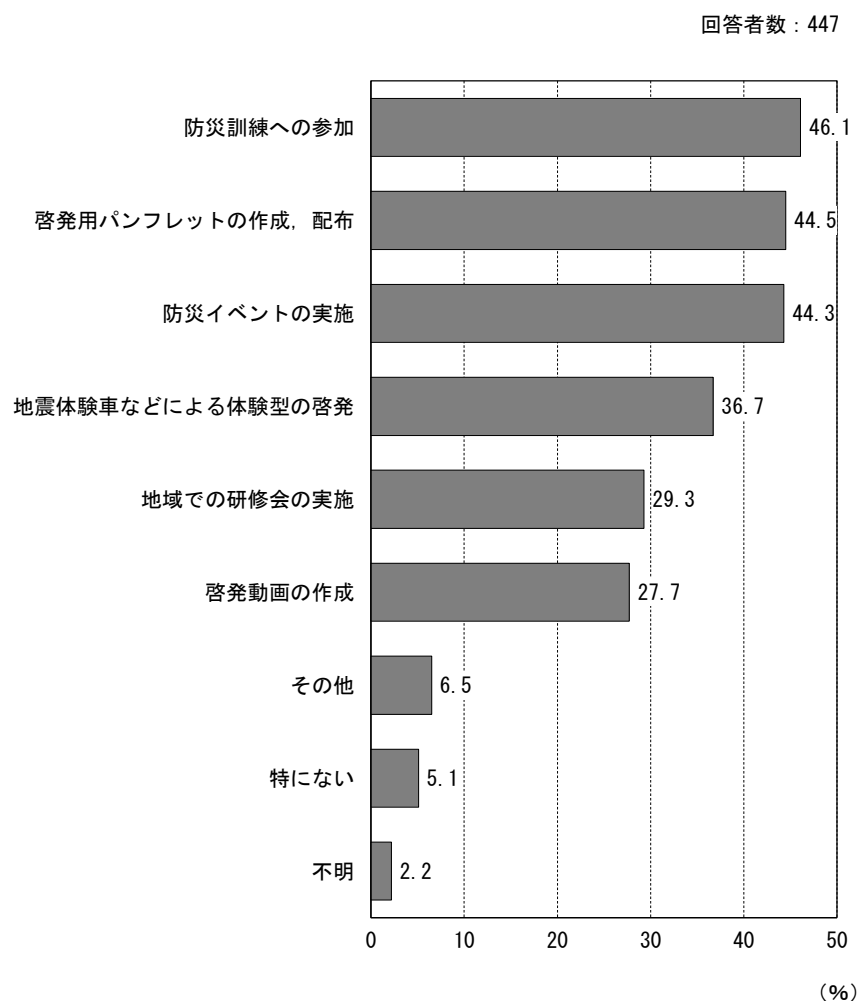
問 12

地震による被害者を発生させないためには、一人ひとりの防災意識を高めることが必要です。そのためにあなたが有効と思うものは、次のうちどれですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「防災訓練への参加」が46.1%と最も多くなっています。次いで、「啓発用パンフレットの作成、配布」(44.5%)、「防災イベントの実施」(44.3%)となっています。

図表 3-41 地震に対する一人ひとりの防災意識を高めるために有効だと思うこと



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
パンフレットなども有効だと思う。しかし今までに同じようなものをたくさん貰っているため具体的に自分ができること、起こることを体感できるイベントを開催して欲しい。	女性	20 歳代	東部
子供への教育が必要だと思う。意識づけ。	女性	30 歳代	中部
その地域に住む人への過去の災害事例の周知	男性	40 歳代	東部
家庭に設置しておいた方が良い道具の一覧表、もしくは一式の販売案内。設置場所や使い方の説明書。	女性	50 歳代	神辺
防災センターの設置（岩国市、高松市にもあります）	男性	60 歳代	北部
地震は突然なので隣近所の方と日常において仲良くしておく事が一番だと思います。	女性	70 歳以上	中部

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「防災イベントの実施」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
啓発動画の作成	27.7	29.5	26.0	50.0	24.5	28.9	27.5
啓発用パンフレットの作成, 配布	44.5	47.1	42.1	50.0	34.0	47.8	47.5
地震体験車などによる体験型の啓発	36.7	33.8	39.6	0.0	34.0	35.2	55.0
防災イベントの実施	44.3	42.4	46.4	0.0	52.8	39.9	55.0
防災訓練への参加	46.1	47.1	44.7	100.0	45.3	45.5	52.5
地域での研修会の実施	29.3	33.3	25.5	50.0	25.5	29.6	37.5
その他	6.5	6.2	6.8	0.0	7.5	6.6	2.5
特にない	5.1	5.7	4.7	0.0	6.6	5.0	2.5
不明	2.2	2.9	1.7	0.0	1.9	2.3	2.5

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「地震体験車などによる体験型の啓発」が高く、『20歳代』では「地震体験車などによる体験型の啓発」「防災イベントの実施」が高く、『30歳代』では「防災イベントの実施」「地域での研修会の実施」が高く、『70歳以上』では「啓発用パンフレットの作成, 配布」「防災訓練への参加」などが高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
啓発動画の作成	27.7	32.0	21.3	25.3	25.0	32.8	22.7	34.8
啓発用パンフレットの作成, 配布	44.5	52.0	34.0	46.7	34.7	41.0	41.3	58.7
地震体験車などによる体験型の啓発	36.7	56.0	59.6	37.3	36.1	24.6	34.7	29.3
防災イベントの実施	44.3	36.0	55.3	66.7	43.1	34.4	34.7	38.0
防災訓練への参加	46.1	36.0	38.3	48.0	38.9	39.3	52.0	56.5
地域での研修会の実施	29.3	12.0	10.6	42.7	16.7	19.7	37.3	42.4
その他	6.5	0.0	2.1	5.3	13.9	8.2	8.0	3.3
特にない	5.1	0.0	4.3	4.0	6.9	11.5	2.7	4.3
不明	2.2	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	2.7	6.5

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『神辺』で「防災訓練への参加」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
啓発動画の作成	27.7	30.3	17.9	29.2	23.5	31.7	26.8	20.0	33.3
啓発用パンフレットの作成、配布	44.5	47.2	46.4	41.7	44.1	44.4	39.0	36.0	33.3
地震体験車などによる体験型の啓発	36.7	35.9	42.9	29.2	39.7	34.9	41.5	32.0	33.3
防災イベントの実施	44.3	44.6	39.3	41.7	35.3	46.0	51.2	56.0	66.7
防災訓練への参加	46.1	43.6	39.3	41.7	47.1	47.6	61.0	44.0	66.7
地域での研修会の実施	29.3	28.2	32.1	25.0	27.9	36.5	29.3	24.0	33.3
その他	6.5	6.2	0.0	12.5	7.4	7.9	7.3	4.0	0.0
特にない	5.1	4.6	7.1	4.2	7.4	1.6	7.3	8.0	0.0
不明	2.2	1.5	0.0	8.3	1.5	4.8	0.0	4.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』『学生』では「地震体験車などによる体験型の啓発」が高く、『自営業』では「地域での研修会の実施」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
啓発動画の作成	27.7	24.8	28.0	36.4	26.5	31.4	29.0
啓発用パンフレットの作成、配布	44.5	40.5	38.0	42.4	43.4	51.4	53.8
地震体験車などによる体験型の啓発	36.7	34.6	48.0	33.3	27.7	60.0	34.4
防災イベントの実施	44.3	51.0	46.0	39.4	37.3	48.6	38.7
防災訓練への参加	46.1	38.6	52.0	45.5	55.4	42.9	48.4
地域での研修会の実施	29.3	22.9	28.0	39.4	36.1	14.3	36.6
その他	6.5	5.9	8.0	12.1	4.8	2.9	7.5
特にない	5.1	7.2	4.0	0.0	6.0	0.0	5.4
不明	2.2	0.7	0.0	3.0	3.6	0.0	5.4

(4) 新型コロナウイルス感染症に対する意識・行動変化について

問 1

新型コロナウイルス感染症に対する意識について、次の①～③のそれぞれ当てはまるものの1つに「○」を記入してください。【単数回答】

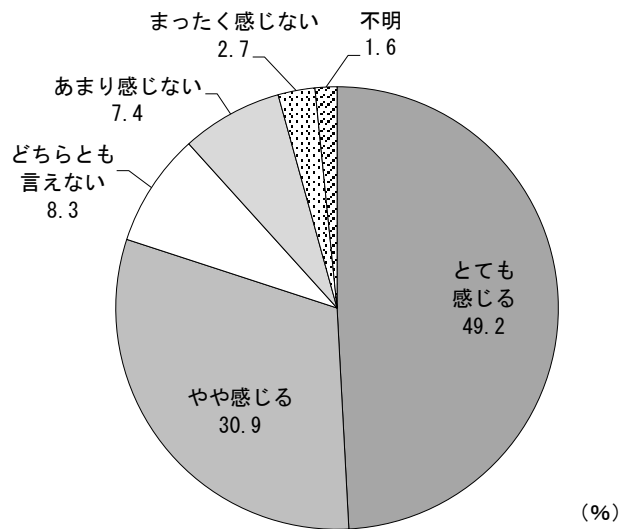
【回答者全体】

「①感染拡大の状況が常に気になる」については、回答者全体では、「とても感じる」が49.2%と最も高く、次いで、「やや感じる」(30.9%)となっています。

また、感じる(「とても感じる」と「やや感じる」の合計)が80.1%と、感じない(「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計)の10.1%を大きく上回っています。

図表 3-42 新型コロナウイルス感染症に対する意識について：感染拡大の状況が常に気になる

回答者数：447



【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』で「とても感じる」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』で「あまり感じない」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
とても感じる	49.2	56.2	43.4	0.0	38.7	53.5	45.0
やや感じる	30.9	25.2	35.3	100.0	33.0	28.2	45.0
どちらとも言えない	8.3	8.1	8.5	0.0	10.4	7.3	10.0
あまり感じない	7.4	6.7	8.1	0.0	14.2	6.0	0.0
まったく感じない	2.7	2.4	3.0	0.0	3.8	2.7	0.0
不明	1.6	1.4	1.7	0.0	0.0	2.3	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「あまり感じない」が高く、『20歳代』では「どちらとも言えない」が高く、『30歳代』では「やや感じる」が高く、『60歳代』『70歳以上』では「とても感じる」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
とても感じる	49.2	20.0	36.2	36.0	45.8	50.8	69.3	59.8
やや感じる	30.9	40.0	31.9	41.3	29.2	26.2	24.0	29.3
どちらとも言えない	8.3	12.0	23.4	6.7	11.1	11.5	2.7	1.1
あまり感じない	7.4	24.0	6.4	13.3	9.7	8.2	0.0	2.2
まったく感じない	2.7	4.0	2.1	2.7	4.2	1.6	2.7	2.2
不明	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.3	5.4

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「あまり感じない」が高く、『北部』では「やや感じる」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
とても感じる	49.2	49.2	42.9	54.2	35.3	58.7	58.5	56.0	0.0
やや感じる	30.9	32.8	21.4	33.3	45.6	14.3	22.0	40.0	33.3
どちらとも言えない	8.3	9.7	10.7	4.2	4.4	9.5	9.8	0.0	33.3
あまり感じない	7.4	4.6	21.4	4.2	10.3	11.1	7.3	0.0	0.0
まったく感じない	2.7	3.1	3.6	4.2	1.5	1.6	0.0	4.0	33.3
不明	1.6	0.5	0.0	0.0	2.9	4.8	2.4	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「とても感じる」が高く、『学生』では「やや感じる」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
とても感じる	49.2	44.4	60.0	48.5	57.8	20.0	54.8
やや感じる	30.9	32.0	24.0	15.2	32.5	42.9	32.3
どちらとも言えない	8.3	11.8	4.0	9.1	3.6	17.1	5.4
あまり感じない	7.4	10.5	10.0	9.1	2.4	17.1	1.1
まったく感じない	2.7	0.7	2.0	12.1	1.2	2.9	4.3
不明	1.6	0.7	0.0	6.1	2.4	0.0	2.2

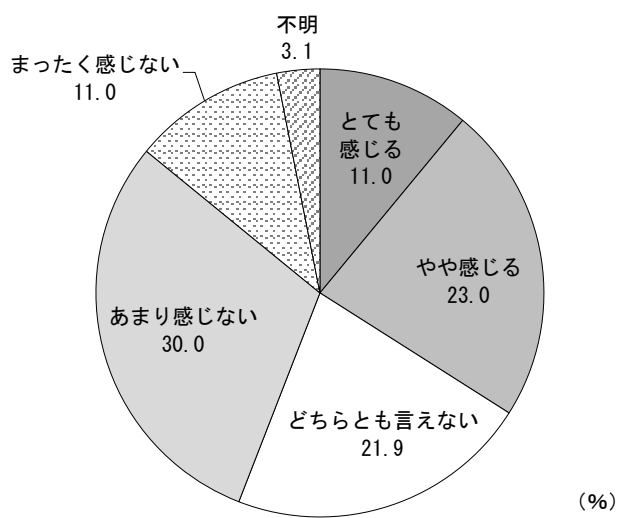
【回答者全体】

「②感染したら差別や嫌がらせを受ける不安がある」については、回答者全体では、「あまり感じない」が30.0%と最も高く、次いで、「やや感じる」(23.0%)となっています。

また、感じない(「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計)が41.0%と、感じる(「とても感じる」と「やや感じる」の合計)の34.0%を上回っています。

図表 3-43 新型コロナウイルス感染症に対する意識について：感染したら差別や嫌がらせを受ける不安がある

回答者数：447



【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』で「やや感じる」が低くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
とても感じる	11.0	10.5	11.5	0.0	12.3	11.3	5.0
やや感じる	23.0	25.7	20.9	0.0	11.3	27.2	22.5
どちらとも言えない	21.9	23.8	20.4	0.0	24.5	19.9	30.0
あまり感じない	30.0	26.2	33.2	50.0	33.0	29.2	27.5
まったく感じない	11.0	10.0	11.5	50.0	17.9	9.3	5.0
不明	3.1	3.8	2.6	0.0	0.9	3.0	10.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『30歳代』で「どちらとも言えない」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
とても感じる	11.0	12.0	10.6	4.0	16.7	14.8	9.3	10.9
やや感じる	23.0	20.0	25.5	18.7	19.4	23.0	28.0	25.0
どちらとも言えない	21.9	20.0	14.9	32.0	16.7	19.7	20.0	25.0
あまり感じない	30.0	32.0	29.8	32.0	36.1	24.6	32.0	25.0
まったく感じない	11.0	16.0	17.0	13.3	11.1	14.8	8.0	4.3
不明	3.1	0.0	2.1	0.0	0.0	3.3	2.7	9.8

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『北部』で「やや感じる」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
とても感じる	11.0	11.8	3.6	12.5	8.8	9.5	12.2	20.0	0.0
やや感じる	23.0	19.0	10.7	20.8	33.8	31.7	19.5	28.0	0.0
どちらとも言えない	21.9	22.6	28.6	12.5	19.1	20.6	24.4	24.0	33.3
あまり感じない	30.0	34.4	39.3	37.5	26.5	17.5	29.3	20.0	33.3
まったく感じない	11.0	10.8	14.3	8.3	8.8	14.3	12.2	4.0	33.3
不明	3.1	1.5	3.6	8.3	2.9	6.3	2.4	4.0	0.0

職業別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
とても感じる	11.0	11.8	12.0	9.1	13.3	14.3	6.5
やや感じる	23.0	21.6	26.0	27.3	25.3	20.0	21.5
どちらとも言えない	21.9	22.9	12.0	12.1	28.9	17.1	24.7
あまり感じない	30.0	30.7	34.0	30.3	26.5	34.3	28.0
まったく感じない	11.0	12.4	16.0	15.2	2.4	14.3	10.8
不明	3.1	0.7	0.0	6.1	3.6	0.0	8.6

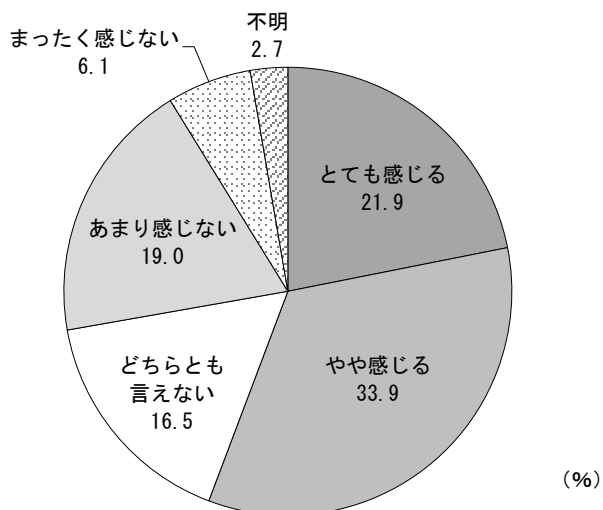
【回答者全体】

「③感染するのが不安でたまらない」については、回答者全体では、「やや感じる」が 33.9%と最も高く、次いで、「とても感じる」(21.9%) となっています。

また、感じる(「とても感じる」と「やや感じる」の合計)が 55.8%と、感じない(「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計)の 25.1%を上回っています。

図表 3-44 新型コロナウイルス感染症に対する意識について：感染するのが不安でたまらない

回答者数：447



【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』で「あまり感じない」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
とても感じる	21.9	21.0	23.0	0.0	17.0	23.9	20.0
やや感じる	33.8	32.4	35.3	0.0	33.0	33.6	37.5
どちらとも言えない	16.3	18.1	14.9	0.0	13.2	16.9	20.0
あまり感じない	19.2	20.0	17.9	100.0	24.5	17.9	15.0
まったく感じない	6.0	5.7	6.4	0.0	11.3	5.0	0.0
不明	2.7	2.9	2.6	0.0	0.9	2.7	7.5

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』で「やや感じる」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
とても感じる	21.9	12.0	17.0	21.3	22.2	19.7	25.3	26.1
やや感じる	33.8	44.0	36.2	30.7	33.3	32.8	38.7	29.3
どちらとも言えない	16.3	20.0	17.0	20.0	16.7	21.3	13.3	10.9
あまり感じない	19.2	16.0	21.3	16.0	20.8	21.3	18.7	19.6
まったく感じない	6.0	8.0	6.4	10.7	6.9	3.3	2.7	5.4
不明	2.7	0.0	2.1	1.3	0.0	1.6	1.3	8.7

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』『松永』で「やや感じる」が低くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
とても感じる	21.9	21.0	25.0	20.8	16.2	25.4	24.4	32.0	0.0
やや感じる	33.8	40.0	17.9	12.5	35.3	33.3	29.3	32.0	0.0
どちらとも言えない	16.3	14.4	14.3	25.0	17.6	12.7	22.0	16.0	66.7
あまり感じない	19.2	17.4	28.6	25.0	23.5	17.5	19.5	12.0	0.0
まったく感じない	6.0	6.2	10.7	8.3	5.9	4.8	2.4	4.0	33.3
不明	2.7	1.0	3.6	8.3	1.5	6.3	2.4	4.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『学生』で「とても感じる」が低くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
とても感じる	21.9	17.6	30.0	18.2	24.1	11.4	28.0
やや感じる	33.8	34.0	40.0	30.3	37.3	42.9	24.7
どちらとも言えない	16.3	20.3	8.0	15.2	16.9	20.0	12.9
あまり感じない	19.2	20.9	18.0	21.2	14.5	17.1	21.5
まったく感じない	6.0	6.5	4.0	12.1	2.4	8.6	6.5
不明	2.7	0.7	0.0	3.0	4.8	0.0	6.5

問2-1

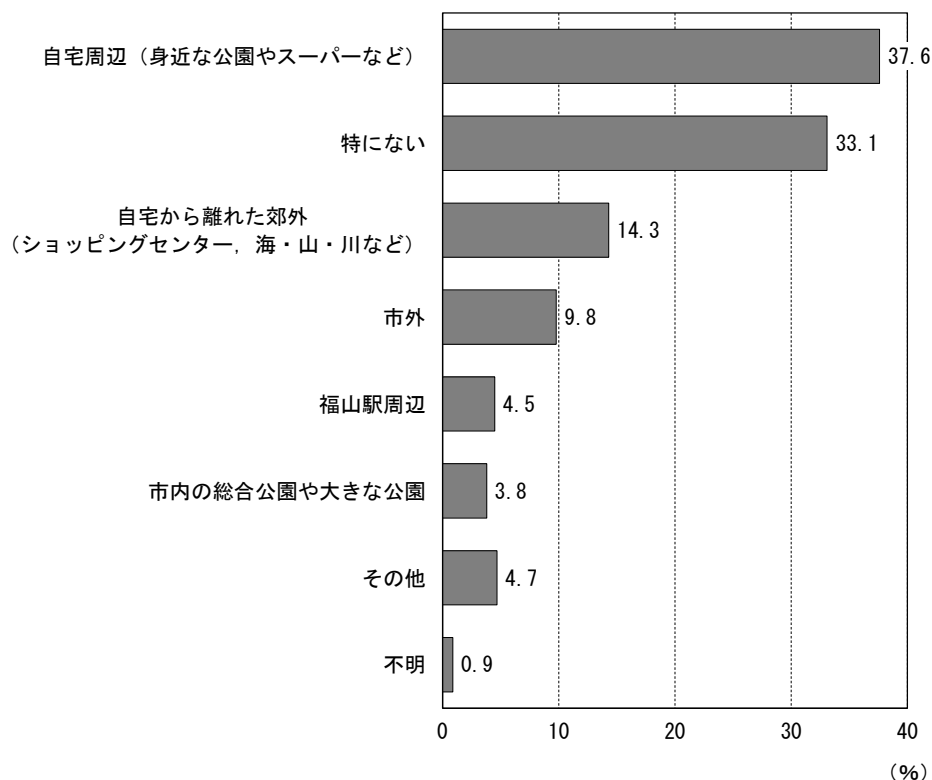
1年前と比べて、外出における行動変化について、当てはまるもの1つに「○」を記入してください。
 頻繁に訪れるようになった場所【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「自宅周辺（身近な公園やスーパーなど）」が37.6%と最も高く、次いで、「特にない」（33.1%）となっています。

図表3-45 1年前と比べた外出における行動変化：頻繁に訪れるようになった場所

回答者数：447



【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「自宅から離れた郊外（ショッピングセンター、海・山・川など）」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
自宅周辺 (身近な公園やスーパーなど)	37.6	37.6	37.4	50.0	34.0	39.5	32.5
福山駅周辺	4.5	4.3	4.7	0.0	0.9	5.3	7.5
市内の総合公園や大きな公園	3.8	4.8	3.0	0.0	4.7	3.7	2.5
自宅から離れた郊外 (ショッピングセンター, 海・山・川など)	14.3	13.8	14.5	50.0	21.7	12.0	12.5
市外	9.8	7.1	12.3	0.0	9.4	9.0	17.5
特にない	33.1	34.8	31.9	0.0	29.2	34.9	30.0
その他	4.7	3.8	5.1	50.0	3.8	5.0	5.0
不明	0.9	0.5	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「自宅から離れた郊外（ショッピングセンター、海・山・川など）」「市外」が高く、『20歳代』では「自宅から離れた郊外（ショッピングセンター、海・山・川など）」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
自宅周辺（身近な公園やスーパーなど）	37.6	20.0	29.8	37.3	31.9	45.9	37.3	45.7
福山駅周辺	4.5	12.0	12.8	0.0	4.2	1.6	6.7	2.2
市内の総合公園や大きな公園	3.8	0.0	4.3	4.0	1.4	0.0	9.3	4.3
自宅から離れた郊外（ショッピングセンター、海・山・川など）	14.3	32.0	25.5	17.3	18.1	9.8	8.0	6.5
市外	9.8	32.0	19.1	8.0	19.4	3.3	6.7	0.0
特にない	33.1	8.0	21.3	33.3	27.8	37.7	41.3	40.2
その他	4.7	4.0	4.3	0.0	9.7	6.6	4.0	4.3
不明	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	3.3

エリア別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
自宅周辺（身近な公園やスーパーなど）	37.6	39.0	35.7	37.5	41.2	36.5	39.0	24.0	0.0
福山駅周辺	4.5	5.6	0.0	4.2	4.4	6.3	2.4	0.0	0.0
市内の総合公園や大きな公園	3.8	5.1	3.6	0.0	1.5	4.8	4.9	0.0	0.0
自宅から離れた郊外（ショッピングセンター、海・山・川など）	14.3	14.4	14.3	20.8	11.8	19.0	14.6	0.0	33.3
市外	9.8	8.7	14.3	4.2	7.4	11.1	14.6	16.0	0.0
特にない	33.1	33.3	32.1	29.2	33.8	27.0	31.7	48.0	66.7
その他	4.7	3.6	0.0	4.2	5.9	6.3	4.9	12.0	0.0
不明	0.9	0.5	0.0	0.0	1.5	1.6	2.4	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『学生』で「自宅から離れた郊外（ショッピングセンター、海・山・川など）」「市外」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
自宅周辺（身近な公園やスーパーなど）	37.6	37.9	42.0	39.4	39.8	22.9	37.6
福山駅周辺	4.5	5.2	2.0	3.0	2.4	11.4	4.3
市内の総合公園や大きな公園	3.8	2.6	2.0	6.1	6.0	0.0	5.4
自宅から離れた郊外（ショッピングセンター、海・山・川など）	14.3	15.0	20.0	6.1	8.4	31.4	11.8
市外	9.8	12.4	8.0	12.1	2.4	31.4	4.3
特にない	33.1	32.0	30.0	30.3	39.8	8.6	40.9
その他	4.7	4.6	0.0	3.0	7.2	5.7	5.4
不明	0.9	0.0	0.0	3.0	3.6	0.0	0.0

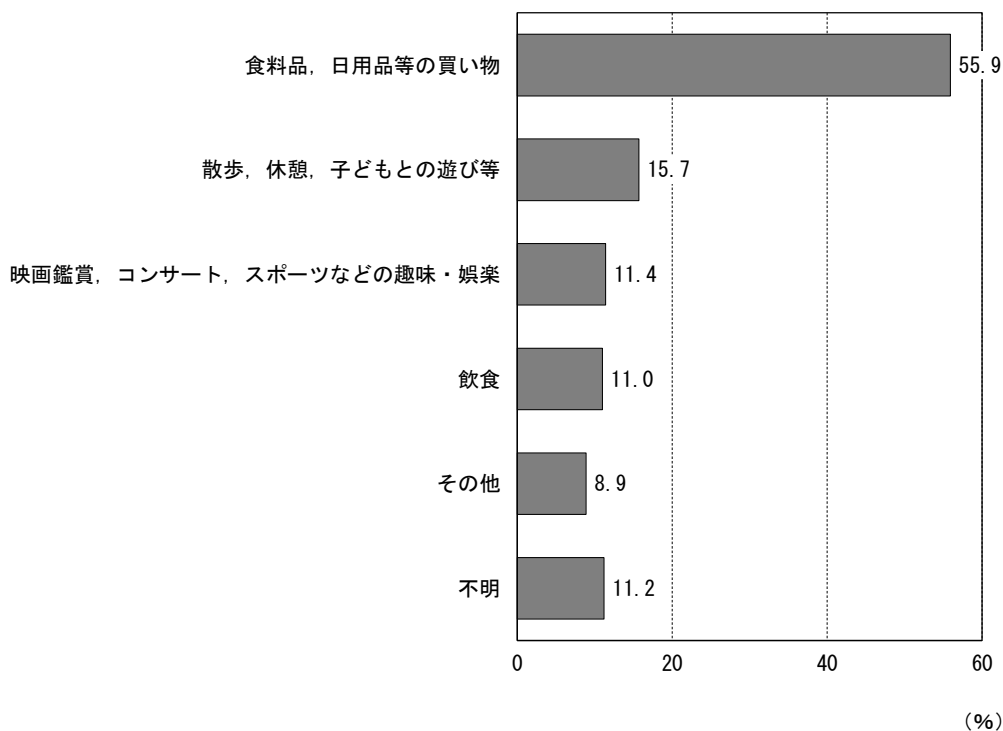
問2-2 目的【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「食料品、日用品等の買い物」が55.9%と顕著に高くなっています。

図表3-46 1年前と比べた外出における行動変化：目的

回答者数：447



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
大学への通学	女性	10歳代	中部
美容などの自己投資	女性	20歳代	中部
集団ワクチン接種ボランティア	女性	20歳代	松永
キャンプ場	男性	30歳代	中部
福山市にずっといると飽きるので近場の県外にでかけて子供と遊びます	女性	40歳代	東部
医者	男性	70歳以上	松永

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「散歩、休憩、子どもとの遊び等」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
食料品、日用品等の買い物	55.9	57.1	54.9	50.0	50.0	57.8	57.5
飲食	11.0	11.0	11.1	0.0	10.4	12.0	5.0
散歩、休憩、子どもとの遊び等	15.7	15.2	16.2	0.0	26.4	12.6	10.0
映画鑑賞、コンサート、スポーツなどの趣味・娯楽	11.4	8.6	14.0	0.0	10.4	10.0	25.0
その他	8.9	8.1	9.4	50.0	6.6	10.0	7.5
不明	11.2	11.0	11.5	0.0	2.8	14.6	7.5

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』『20歳代』では「映画鑑賞、コンサート、スポーツなどの趣味・娯楽」が高く、『30歳代』では「散歩、休憩、子どもとの遊び等」が高く、『50歳代』では「食料品、日用品等の買い物」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
食料品、日用品等の買い物	55.9	24.0	44.7	54.7	44.4	70.5	65.3	63.0
飲食	11.0	20.0	17.0	8.0	18.1	8.2	8.0	6.5
散歩、休憩、子どもとの遊び等	15.7	12.0	14.9	26.7	16.7	6.6	16.0	13.0
映画鑑賞、コンサート、スポーツなどの趣味・娯楽	11.4	44.0	23.4	5.3	15.3	8.2	8.0	3.3
その他	8.9	8.0	10.6	12.0	8.3	11.5	4.0	8.7
不明	11.2	0.0	2.1	4.0	9.7	6.6	17.3	23.9

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』で「その他」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
食料品、日用品等の買い物	55.9	56.4	57.1	41.7	57.4	55.6	51.2	68.0	66.7
飲食	11.0	13.8	7.1	4.2	8.8	12.7	7.3	4.0	33.3
散歩、休憩、子どもとの遊び等	15.7	16.4	7.1	12.5	17.6	22.2	12.2	8.0	0.0
映画鑑賞、コンサート、スポーツなどの趣味・娯楽	11.4	12.3	10.7	16.7	10.3	12.7	9.8	4.0	0.0
その他	8.9	9.2	10.7	20.8	5.9	6.3	7.3	12.0	0.0
不明	11.2	7.2	14.3	16.7	13.2	11.1	24.4	8.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』では「飲食」が高く、『学生』では「映画鑑賞、コンサート、スポーツなどの趣味・娯楽」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
食料品、日用品等の買い物	55.9	58.8	58.0	45.5	62.7	31.4	57.0
飲食	11.0	15.0	4.0	21.2	7.2	20.0	4.3
散歩、休憩、子どもとの遊び等	15.7	14.4	18.0	12.1	16.9	5.7	20.4
映画鑑賞、コンサート、スポーツなどの趣味・娯楽	11.4	10.5	10.0	9.1	6.0	45.7	6.5
その他	8.9	7.8	4.0	15.2	9.6	8.6	10.8
不明	11.2	7.2	14.0	6.1	15.7	0.0	18.3

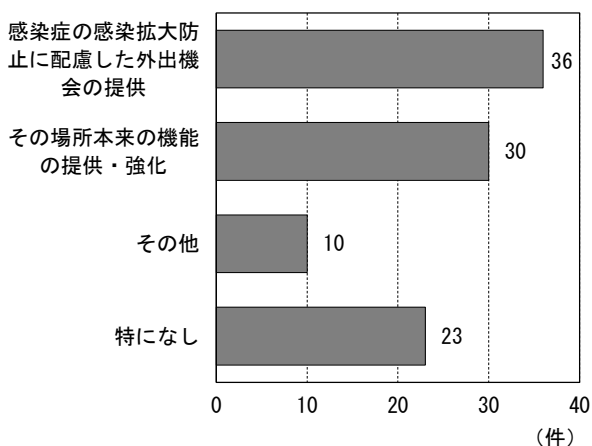
問2-3 頻繁に訪れるようになった場所に望む機能について記入してください。【自由記述】

【回答者全体】

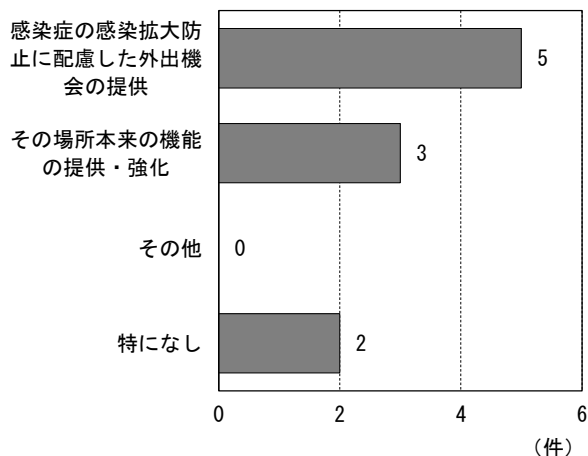
多くの場所について、「感染症の感染拡大防止に配慮した外出機会の提供」「その場所本来の機能の提供・強化」に関する内容が大半を占めています。

図表3-47 1年前と比べた外出における行動変化：頻繁に訪れるようになった場所に望む機能

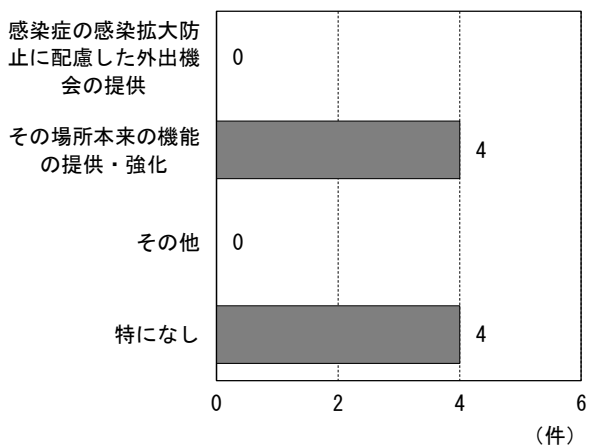
①自宅周辺（身近な公園やスーパーなど）



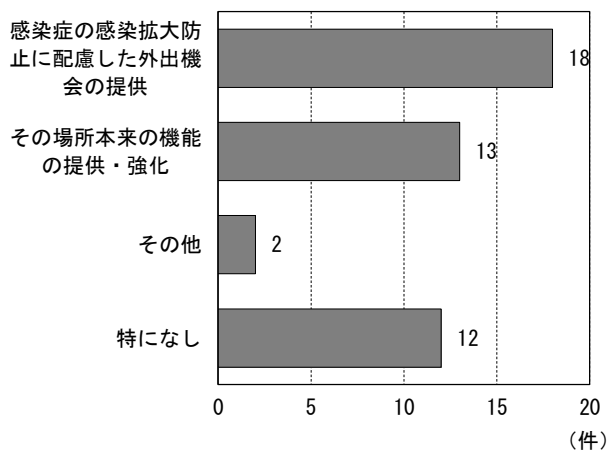
②福山駅周辺



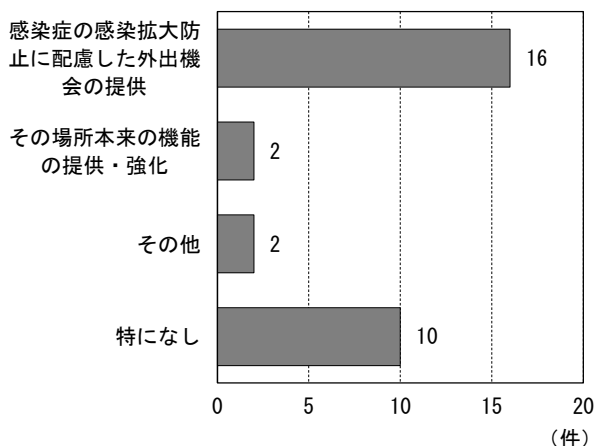
③市内の総合公園や大きな公園



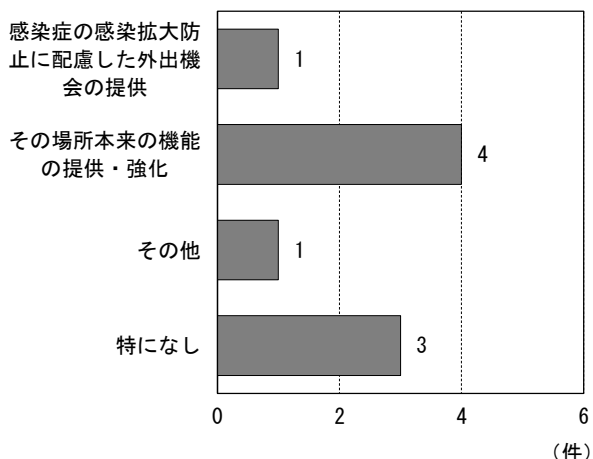
④自宅から離れた郊外（ショッピングセンター、海・山・川など）



⑤市外



⑥その他



図表 3-48 1年前と比べた外出における行動変化：頻りに訪れるようになった場所に望む機能についての主な意見

①自宅周辺（身近な公園やスーパーなど）

感染症の感染拡大防止に配慮した外出機会の提供（36件）

自由記述	性別	年代	エリア
感染症対策や清潔感	女性	10歳代	北部
コロナにかからないような対策の充実	女性	30歳代	東部
消毒液の設置。アナウンスによる注意喚起。マスクをしない人の入店禁止。	男性	60歳代	神辺
周辺でのコロナの発生状況が分かれば安心できる	男性	70歳以上	東部

その場所本来の機能の提供・強化（30件）

自由記述	性別	年代	エリア
食料とマスクやトイレットペーパーなどの生活必需品。	男性	20歳代	南部
もっと遊具を増やしたりスペースを広げてほしい	女性	30歳代	松永
充実した品揃え	女性	40歳代	中部
キャッシュレス決済等を導入し、スムーズに買い物ができる仕組み。	男性	50歳代	松永

その他（10件）

自由記述	性別	年代	エリア
フリーWi-Fi	男性	30歳代	中部
ワクチン接種会場	男性	40歳代	北部
防災マップなども地域のスーパーなどに掲示してもらっていたほうが、みんなが見るような気がします。	女性	40歳代	東部

②福山駅周辺

感染症の感染拡大防止に配慮した外出機会の提供（5件）

自由記述	性別	年代	エリア
人との間隔，場所のスペースを広く	女性	60歳代	中部

その場所本来の機能の提供・強化（3件）

自由記述	性別	年代	エリア
福山駅周辺を頻りに運行するバスの運行範囲をもう少し広くしてほしい。	女性	10歳代	中部

③市内の総合公園や大きな公園

その場所本来の機能の提供・強化（4件）

自由記述	性別	年代	エリア
草刈りなどして欲しい（マダニにかまれた経験あり）	女性	60歳代	神辺

④自宅から離れた郊外（ショッピングセンター、海・山・川など）

感染症の感染拡大防止に配慮した外出機会の提供（18件）

自由記述	性別	年代	エリア
消毒を置いて欲しい（レジ前には必ず）。川山海で咳がある子供はマスクしてほしい（してない子が多い）	女性	30歳代	東部
感染を気にしなくても食事を楽しめる場所。	女性	40歳代	松永
建物の出入り口に、エアーカーテンのような、除菌機能がある設備の設置が出来ないか？	男性	50歳代	東部

その場所本来の機能の提供・強化（13件）

自由記述	性別	年代	エリア
仙酔島に行った時、五色岩があるところへ続く道が落石注意の看板があり入ることができなかつたり（以前も行けなかった）、公園も遊べる場所がなく寂しく感じたので遊具や売店などを設置してほしい	女性	10歳代	東部
トイレの整備、遊具の修繕	男性	30歳代	北部
どの年代も買い物を楽しめる店舗。非日常的なアクティビティがあるところ。	女性	40歳代	松永

その他（2件）

自由記述	性別	年代	エリア
マスクフリーにして欲しい	男性	50歳代	神辺

⑤市外

感染症の感染拡大防止に配慮した外出機会の提供（16件）

自由記述	性別	年代	エリア
市外、県外の感染状況（クラスター情報）がリアルタイムでわからない。情報がわかりやすく知れたら安心だと思う。	女性	40歳代	中部
感染対策の見える化	女性	40歳代	松永
換気機能	男性	50歳代	中部

その場所本来の機能の提供・強化（2件）

自由記述	性別	年代	エリア
冷暖房	男性	50歳代	中部

その他（2件）

自由記述	性別	年代	エリア
飲食店、アクリル板はもう外してほしい	女性	20歳代	北部

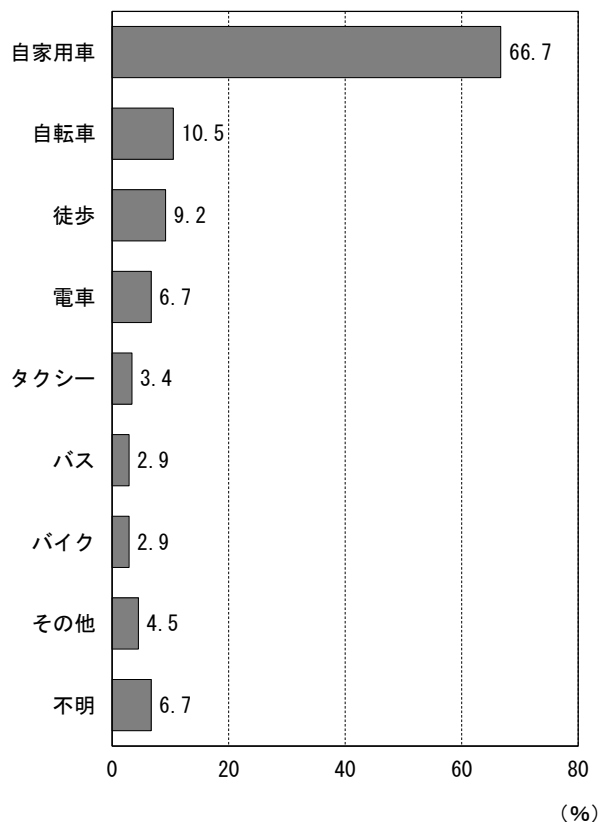
問2-4 頻繁に使うようになった移動手段【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「自家用車」が66.7%と顕著に高くなっています。

図表3-49 1年前と比べた外出における行動変化：頻繁に使うようになった移動手段

回答者数：447



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
レンタカー	女性	10歳代	神辺
友人に車を出してもらったり時々近所の人に買物を頼んでいます	女性	70歳以上	中部

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「自家用車」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
電車	6.7	6.2	7.2	0.0	2.8	6.6	17.5
バス	2.9	1.9	3.8	0.0	0.0	3.7	5.0
タクシー	3.4	1.9	4.7	0.0	0.0	4.3	5.0
自家用車	66.7	68.6	65.5	0.0	82.1	61.8	62.5
バイク	2.9	4.3	1.7	0.0	3.8	2.7	2.5
自転車	10.5	11.9	8.9	50.0	7.5	11.6	10.0
徒歩	9.2	11.9	6.4	50.0	0.9	13.0	2.5
その他	4.5	2.9	6.0	0.0	6.6	4.3	0.0
不明	6.7	6.7	6.8	0.0	0.0	9.6	2.5

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「電車」が高く、『30歳代』では「自家用車」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
電車	6.7	44.0	6.4	4.0	2.8	3.3	8.0	3.3
バス	2.9	8.0	6.4	0.0	2.8	1.6	5.3	1.1
タクシー	3.4	0.0	4.3	0.0	1.4	3.3	1.3	9.8
自家用車	66.7	20.0	61.7	77.3	73.6	72.1	68.0	63.0
バイク	2.9	4.0	8.5	0.0	2.8	1.6	1.3	4.3
自転車	10.5	20.0	8.5	6.7	11.1	6.6	6.7	17.4
徒歩	9.2	0.0	4.3	1.3	12.5	1.6	14.7	18.5
その他	4.5	4.0	0.0	9.3	5.6	8.2	1.3	2.2
不明	6.7	0.0	2.1	2.7	1.4	6.6	12.0	14.1

エリア別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
電車	6.7	6.7	3.6	12.5	7.4	11.1	2.4	0.0	0.0
バス	2.9	4.6	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
タクシー	3.4	5.1	0.0	0.0	1.5	3.2	2.4	4.0	0.0
自家用車	66.7	63.6	71.4	66.7	73.5	69.8	63.4	64.0	66.7
バイク	2.9	2.1	3.6	0.0	5.9	3.2	4.9	0.0	0.0
自転車	10.5	12.8	7.1	12.5	5.9	6.3	9.8	16.0	33.3
徒歩	9.2	10.8	7.1	0.0	7.4	6.3	9.8	20.0	0.0
その他	4.5	5.1	7.1	4.2	1.5	3.2	7.3	4.0	0.0
不明	6.7	4.6	7.1	8.3	7.4	6.3	17.1	4.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「自家用車」が高く、『学生』では「電車」が高く、『その他』では「徒歩」が高くなっています。

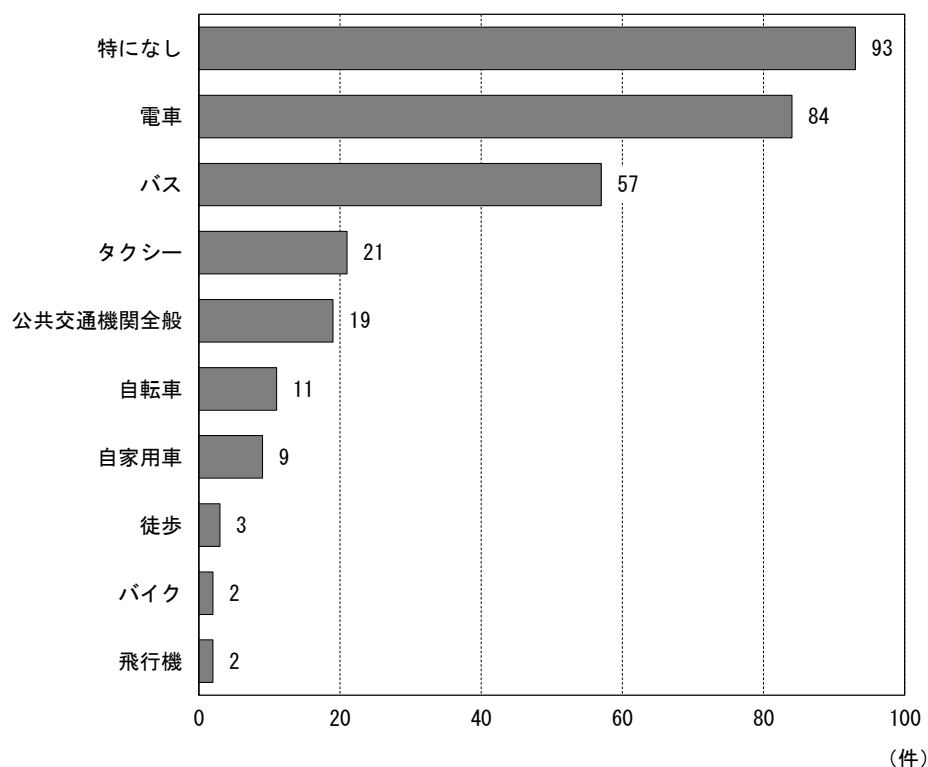
	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
電車	6.7	4.6	2.0	6.1	3.6	34.3	5.4
バス	2.9	3.3	4.0	3.0	2.4	8.6	0.0
タクシー	3.4	2.0	2.0	3.0	8.4	0.0	3.2
自家用車	66.7	75.2	78.0	72.7	68.7	22.9	59.1
バイク	2.9	2.0	2.0	6.1	2.4	8.6	2.2
自転車	10.5	6.5	6.0	12.1	15.7	20.0	10.8
徒歩	9.2	3.9	4.0	12.1	12.0	2.9	19.4
その他	4.5	4.6	4.0	6.1	6.0	2.9	3.2
不明	6.7	3.3	6.0	6.1	7.2	0.0	15.1

問 2 - 5 使わなくなった移動手段について記入してください。【自由記述】

【回答者全体】

「特になし」に関する内容が 93 件と最も多くなっています。次いで、「電車」(84 件)、「バス」(57 件) などとなっています。

図表 3-50 1 年前と比べた外出における行動変化：使わなくなった移動手段



図表 3-51 1 年前と比べた外出における行動変化：使わなくなった移動手段についての主な意見

特になし (93 件)

自由記述	性別	年代	エリア
移動手段に今も前も変わりはありません。	男性	30 歳代	中部
元々山の上の団地なので自動車以外の交通手段がありません。公共交通機関もあまり便がなく不便ですので、特に今までとかわりがないです。	女性	40 歳代	東部
もともと車か自転車しか乗らないので変わらない	女性	50 歳代	中部
状況に応じて使用しているので、使わなくなったものは無し。	男性	70 歳以上	中部

電車 (84 件)

自由記述	性別	年代	エリア
岡山や倉敷に行くことが少なくなったので電車にあまり乗っていない。	女性	10 歳代	中部
新幹線。出張が減ったから。	男性	30 歳代	中部
県外へ行った時は、電車よりは、タクシーとなっている。	女性	50 歳代	北部
電車を利用しないで、自動車を使うようになった。	男性	70 歳以上	東部

バス (57 件)

自由記述	性別	年代	エリア
バス。人が多い時は乗らなくなった。	女性	20 歳代	中部
最寄りの路線バス (2021 年 9 月末日で廃線になったため)	男性	30 歳代	中部
バス。子供がいろんなところをベタベタ触るのが気になってやめました	女性	30 歳代	南部
高速バスは使わなくなった。	女性	50 歳代	中部

タクシー (21 件)

自由記述	性別	年代	エリア
遅い時間まで出歩くことが少なくなりタクシーに乗る機会が減った	女性	20 歳代	中部
タクシー。夜間の外出がなくなった。	女性	40 歳代	中部
飲酒しない為、タクシーを利用しなくなった。	男性	50 歳代	松永
人との接触をできるだけ避けるためタクシーを使用しないようにしている。	男性	60 歳代	中部

公共交通機関全般 (19 件)

自由記述	性別	年代	エリア
バス、電車等、他の人が一緒の乗り物	女性	40 歳代	中部
バス等、三密にかかわる乗物	男性	70 歳以上	東部
出来る限りマイカーで移動。公共交通機関はなるべく使わない。	女性	70 歳以上	中部

自転車 (11 件)

自由記述	性別	年代	エリア
自転車。壊れて購入するのも高いので。	男性	30 歳代	中部
坂が多いので自転車にのらなくなった	女性	30 歳代	東部
自転車。マスクして乗るのはキツイ	女性	60 歳代	中部

自家用車 (9 件)

自由記述	性別	年代	エリア
友人の車での外出など、乗り合わせて出かけること	女性	30 歳代	中部
無理して自家用車で出掛けていたが電車に代えた。	男性	60 歳代	北部

問3-1

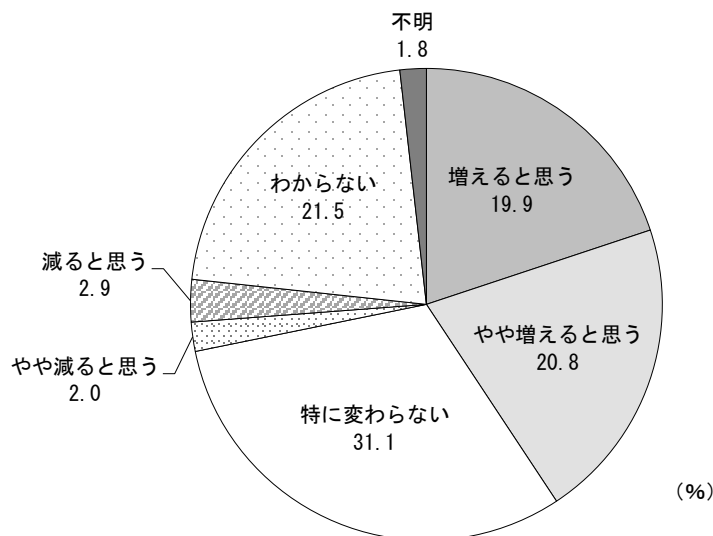
コロナ禍において、近場での観光を楽しむいわゆるマイクロツーリズムが話題になりました。今後、市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度に変化はあると思いますか。当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「特に変わらない」が31.1%と最も多くなっています。次いで、「わからない」(21.5%)、「やや増えると思う」(20.8%)となっています。

図表3-52 市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度

回答者数：447



【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』で「増えると思う」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	447	210	235	2	106	301	40
増えると思う	19.9	21.9	18.3	0.0	25.5	17.9	20.0
やや増えると思う	20.8	20.5	20.9	50.0	14.2	23.3	20.0
特に変わらない	31.1	31.4	30.6	50.0	33.0	30.9	27.5
やや減ると思う	2.0	1.9	2.1	0.0	2.8	1.7	2.5
減ると思う	2.9	1.9	3.8	0.0	5.7	2.3	0.0
わからない	21.5	20.5	22.6	0.0	18.9	22.6	20.0
不明	1.8	1.9	1.7	0.0	0.0	1.3	10.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』『20歳代』で「わからない」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	447	25	47	75	72	61	75	92
増えると思う	19.9	20.0	8.5	17.3	20.8	27.9	20.0	21.7
やや増えると思う	20.8	12.0	27.7	18.7	16.7	23.0	25.3	19.6
特に変わらない	31.1	24.0	23.4	37.3	38.9	24.6	32.0	29.3
やや減ると思う	2.0	4.0	2.1	2.7	1.4	1.6	2.7	1.1
減ると思う	2.9	4.0	4.3	1.3	6.9	1.6	2.7	1.1
わからない	21.5	32.0	34.0	22.7	15.3	21.3	16.0	20.7
不明	1.8	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	6.5

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「わからない」が高く、『北部』では「特に変わらない」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	447	195	28	24	68	63	41	25	3
増えると思う	19.9	17.9	28.6	29.2	14.7	25.4	22.0	16.0	0.0
やや増えると思う	20.8	22.1	17.9	25.0	19.1	20.6	14.6	20.0	66.7
特に変わらない	31.1	29.7	17.9	29.2	44.1	30.2	36.6	16.0	33.3
やや減ると思う	2.0	2.6	0.0	0.0	1.5	3.2	0.0	4.0	0.0
減ると思う	2.9	2.1	0.0	0.0	1.5	6.3	7.3	4.0	0.0
わからない	21.5	24.6	32.1	12.5	17.6	9.5	19.5	40.0	0.0
不明	1.8	1.0	3.6	4.2	1.5	4.8	0.0	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』で「特に変わらない」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	447	153	50	33	83	35	93
増えると思う	19.9	19.0	14.0	27.3	27.7	14.3	17.2
やや増えると思う	20.8	19.6	24.0	30.3	19.3	22.9	18.3
特に変わらない	31.1	32.7	44.0	30.3	21.7	22.9	33.3
やや減ると思う	2.0	2.6	2.0	3.0	1.2	2.9	1.1
減ると思う	2.9	2.0	4.0	0.0	4.8	2.9	3.2
わからない	21.5	24.2	12.0	6.1	21.7	31.4	23.7
不明	1.8	0.0	0.0	3.0	3.6	2.9	3.2

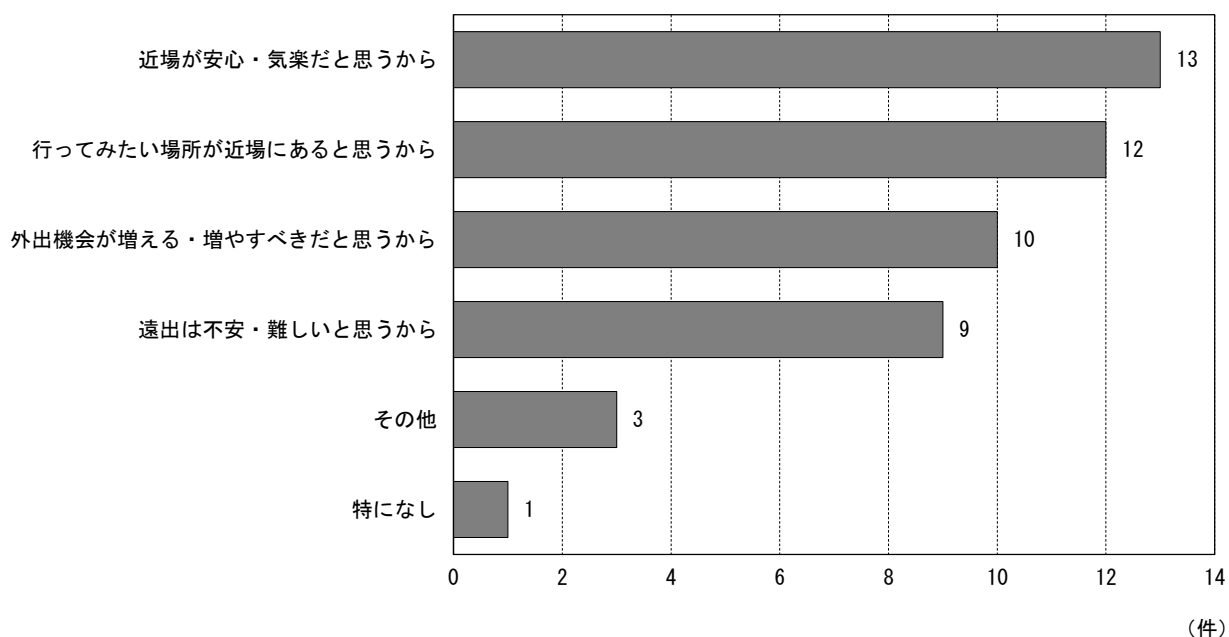
問3-2

「増えると思う」「やや増えると思う」「特に変わらない」「やや減ると思う」「減ると思う」を選んだ方はその理由を自由記述欄に記入してください。【自由記述】

【回答者全体】

市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「増えると思う」と回答した理由をみると、「近場が安心・気楽だと思うから」に関する内容が13件と最も多くなっています。次いで、「行ってみたい場所が近場にあると思うから」(12件)、「外出機会が増える・増やすべきだと思うから」(10件)、「遠出は不安・難しいと思うから」(9件)などとなっています。

図表3-53 市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「増えると思う」と回答した理由



図表3-54 市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「増えると思う」と回答した理由の主な意見

近場が安心・気楽だと思うから (13件)

自由記述	性別	年代	エリア
近くなら不安が少ない	女性	20歳代	中部
楽に行ける, 感染者の多い都会に行くよりは都会の人と関わる確率が低いので	女性	40歳代	中部
車で気軽に行ける	男性	60歳代	中部

行ってみたい場所が近場にあると思うから (12件)

自由記述	性別	年代	エリア
福山城が新しくなったから	女性	30歳代	南部
近所の自然の多い場所に, 頻繁に出かけるようになった	男性	40歳代	中部
近場で家族の時間を大切に人が増えたように思う	女性	50歳代	神辺

外出機会が増える・増やすべきだと思うから (10件)

自由記述	性別	年代	エリア
致死率の劇的な低下を周知すれば、皆の行動様式は大きく変わるはず。いや、変えなければいけない。	男性	60歳代	中部
3年もたっているのに若い人はあまり気にしていない様に思える	女性	70歳以上	北部

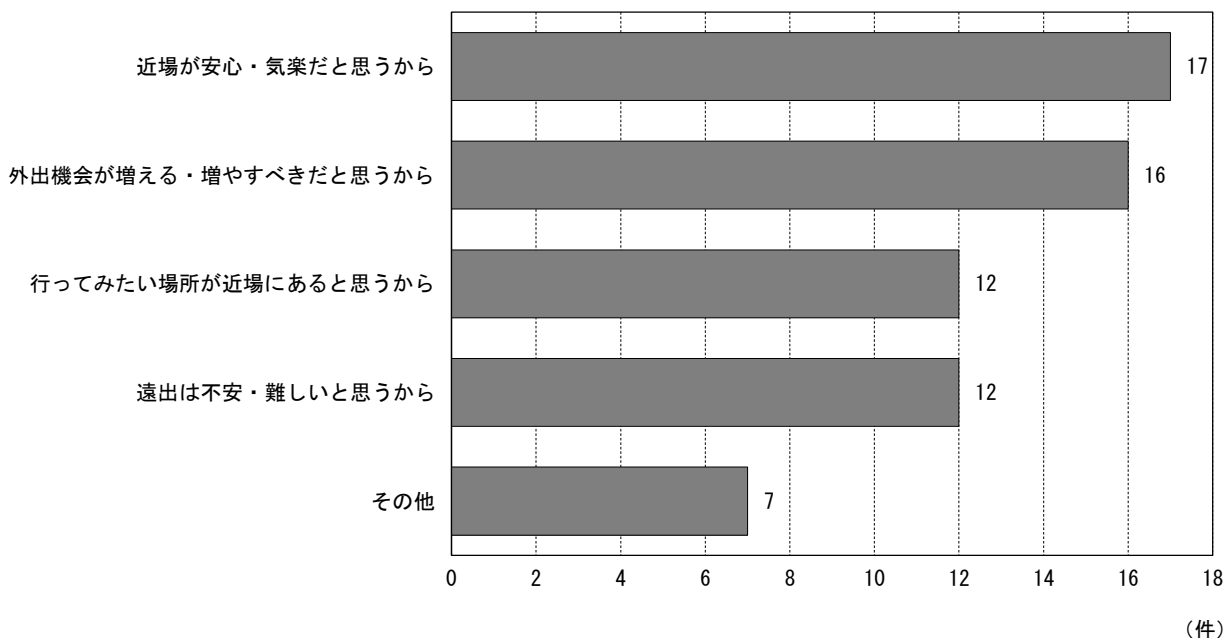
遠出は不安・難しいと思うから (9件)

自由記述	性別	年代	エリア
遠くに旅行に行けない雰囲気はずっとあるため、近くで楽しめるところに行きたいと思うから	男性	30歳代	北部
今は県内の観光を楽しんでいる。県外は不安です。	女性	70歳以上	東部

【回答者全体】

市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「やや増えると思う」と回答した理由をみると、「近場が安心・気楽だと思うから」に関する内容が17件と最も多くなっています。次いで、「外出機会が増える・増やすべきだと思うから」(16件)、「行ってみたい場所が近場にあると思うから」「遠出は不安・難しいと思うから」(12件)などとなっています。

図表 3-55 市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「やや増えると思う」と回答した理由



図表 3-56 市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「やや増えると思う」と回答した理由の主な意見

近場が安心・気楽だと思うから (17件)

自由記述	性別	年代	エリア
遠くに出かけるのは不安だが、近場だったらいいと思しやすいから	女性	20歳代	中部
近場なら車でも行けるから	女性	40歳代	神辺
新型コロナウイルス感染拡大防止のため	男性	70歳以上	中部

外出機会が増える・増やすべきだと思うから (16件)

自由記述	性別	年代	エリア
全国旅行支援が始まるから	男性	20歳代	北部
地域が活性化して欲しいから。	女性	40歳代	北部
マスクさえしていれば、割合安心できるよう気がしてきたから。	男性	70歳以上	東部

行ってみたい場所が近場にあると思うから (12件)

自由記述	性別	年代	エリア
地元のことを知りたくなるから	男性	10歳代	中部
近くで家族が楽しめる場所が増えているので	女性	40歳代	中部
遠出をしなくなった分、近場の遊園地、動物園に行く。福山城はベストタイミング！	女性	70歳以上	南部

遠出は不安・難しいと思うから（12件）

自由記述	性別	年代	エリア
遠くに出かけるのは不安だが、近場だったらいいと思しやすいから	女性	20歳代	中部
まだ自由に遠出をするのに、抵抗がある人が多いと思うので	女性	40歳代	中部
まだまだ遠方への（関西圏、関東圏）旅行が難しいので近場が増えるのでは？	男性	60歳代	中部

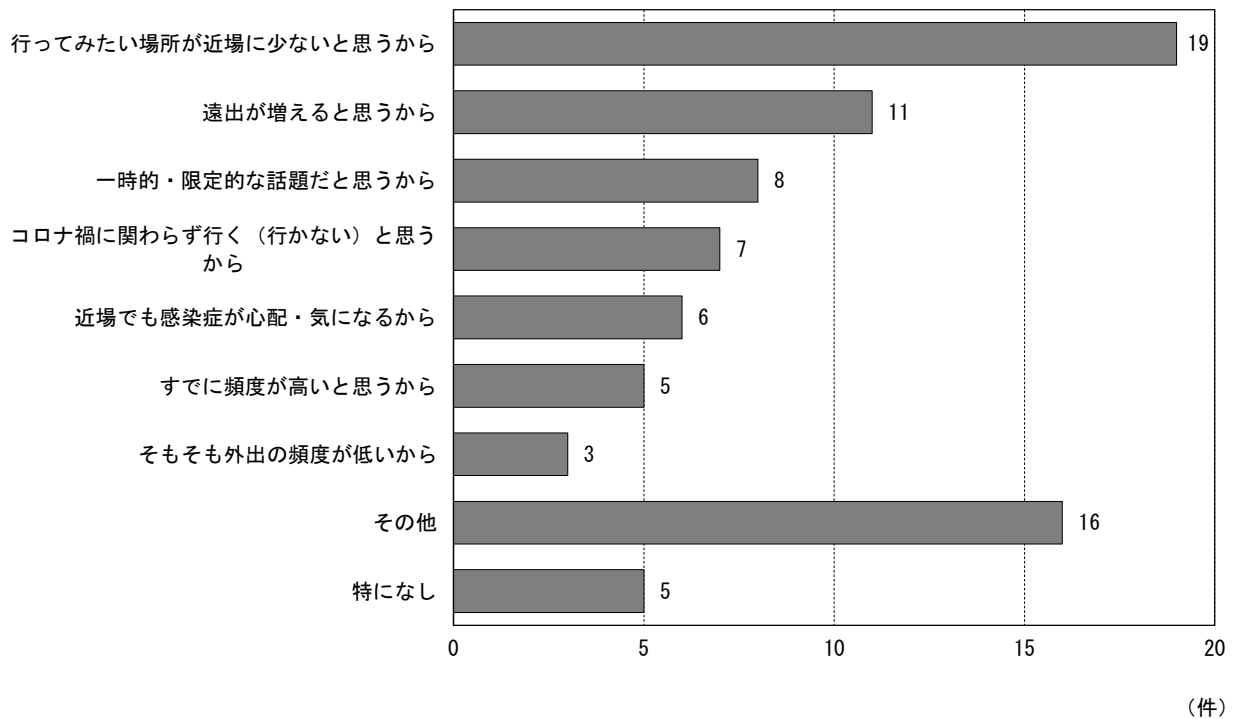
その他（7件）

自由記述	性別	年代	エリア
健康志向	男性	50歳代	中部

【回答者全体】

市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「特に変わらない」と回答した理由をみると、「行ってみたい場所が近場に少ないと思うから」に関する内容が 19 件と最も多くなっています。次いで、「遠出が増えると思うから」（11 件）などとなっています。

図表 3-57 市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「特に変わらない」と回答した理由



図表 3-58 市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「特に変わらない」と回答した理由の主な意見

行ってみたい場所が近場に少ないと思うから（19 件）

自由記述	性別	年代	エリア
若い世代が行く場所が少ないと感じるから	男性	10 歳代	中部
もともと市内に観光するものはない	女性	30 歳代	神辺
行ってみたい観光地が見当たらない	男性	60 歳代	中部

遠出が増えると思うから（11 件）

自由記述	性別	年代	エリア
コロナ禍でも周りに遠出している人が多いため。	女性	20 歳代	中部
人の多いところは避けて遠方でも近郊でも行くため	男性	30 歳代	中部
遠方を優先すると思うから	男性	50 歳代	東部

一時的・限定的な話題だと思うから (8件)

自由記述	性別	年代	エリア
1度行けば、満足するから	男性	40歳代	北部
皆さんがそんなに意識していないと思うから。	男性	60歳代	北部

コロナ禍に関わらず行く (行かない) と思うから (7件)

自由記述	性別	年代	エリア
今までも行かないし今後も行かない	女性	50歳代	中部
行く人はいつでも行くし、行かない人は行かないと思うから。	男性	60歳代	東部

近場でも感染症が心配・気になるから (6件)

自由記述	性別	年代	エリア
家族に介護職の者がいるため例え近場だろうと人混みの場所に行くことはできない。	女性	40歳代	東部
やはり感染が気になるから	女性	50歳代	中部

すでに頻度が高いと思うから (5件)

自由記述	性別	年代	エリア
元々マイクロツーリズム派だったから。	女性	50歳代	中部

そもそも外出の頻度が低いから (3件)

自由記述	性別	年代	エリア
外出自体あまりしないから	男性	10歳代	神辺

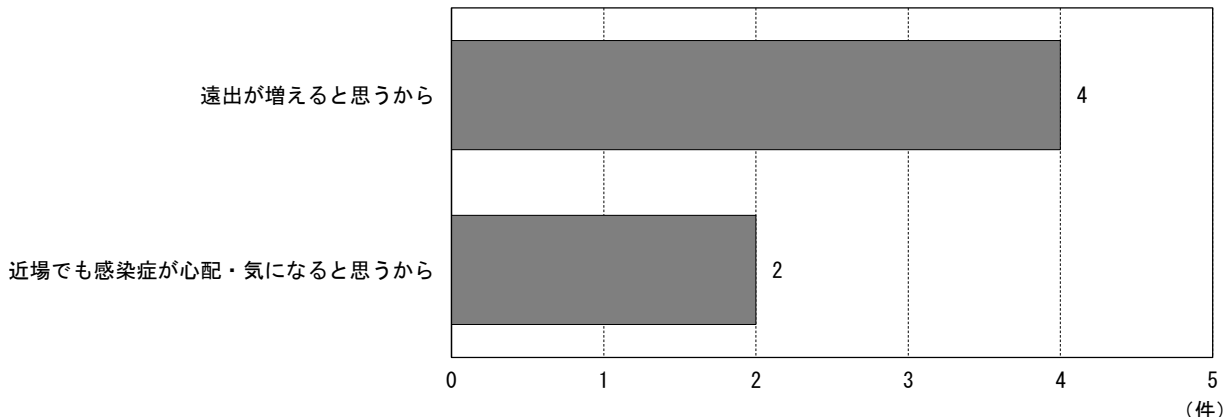
その他 (16件)

自由記述	性別	年代	エリア
妊娠中のため	女性	30歳代	中部
情報が入らないので分からない	女性	40歳代	中部
行動パターンを変えることに違和感を覚える	女性	60歳代	中部

【回答者全体】

市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「やや減ると思う」と回答した理由をみると、「遠出が増えると思うから」(4件)、「近場でも感染症が心配・気になると思うから」(2件)となっています。

図表 3-59 市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「やや減ると思う」と回答した理由



図表 3-60 市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「やや減ると思う」と回答した理由の主な意見

遠出が増えると思うから (4件)

自由記述	性別	年代	エリア
今よりはだんだん遠くへ外出する機会が増えると思うので	女性	50歳代	東部

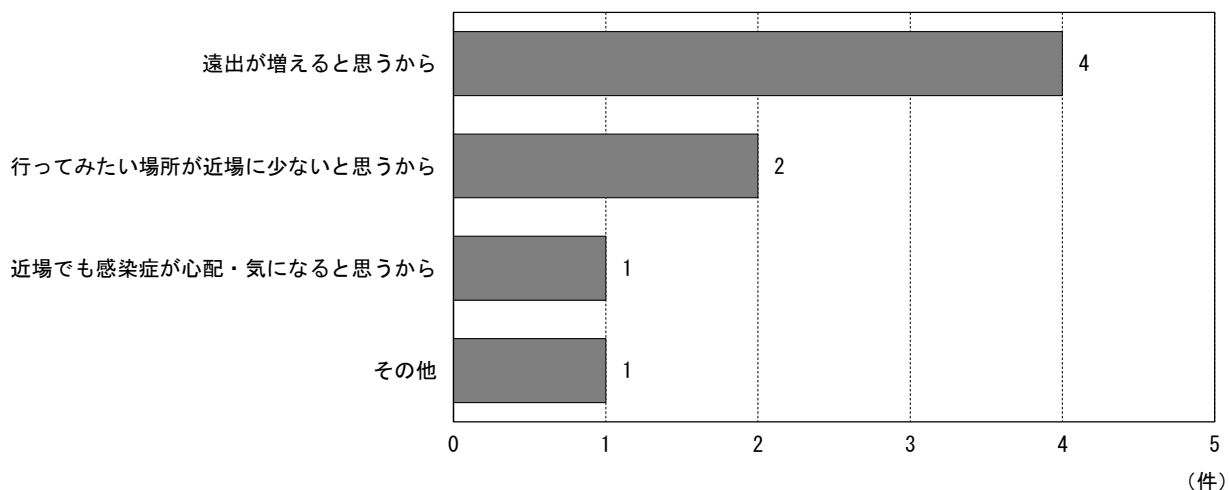
近場でも感染症が心配・気になると思うから (2件)

自由記述	性別	年代	エリア
観光に行くのに感染のリスクを伴うから。	女性	10歳代	中部

【回答者全体】

市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「減ると思う」と回答した理由をみると、「遠出が増えると思うから」(4件)、「行ってみたい場所が近場に少ないと思うから」(2件)、「近場でも感染症が心配・気になると思うから」(1件)などとなっています。

図表 3-61 市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「減ると思う」と回答した理由



図表 3-62 市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度が「減ると思う」と回答した理由の主な意見

遠出が増えると思うから (4件)

自由記述	性別	年代	エリア
コロナ禍は都会へ行くのを避けるため福山、尾道等が人気だったが、コロナが収まるとみんな広島市や岡山市など都会に遊びに行くとおもう	女性	20歳代	北部

行ってみたい場所が近場に少ないと思うから (2件)

自由記述	性別	年代	エリア
近場だけでは飽きる。水族館が欲しい。	男性	50歳代	神辺

近場でも感染症が心配・気になると思うから (1件)

自由記述	性別	年代	エリア
コロナ禍なので市内でも控えている	女性	20歳代	中部

その他 (1件)

自由記述	性別	年代	エリア
市民の収入が減り、支出が増えているため。	男性	30歳代	東部

問 4

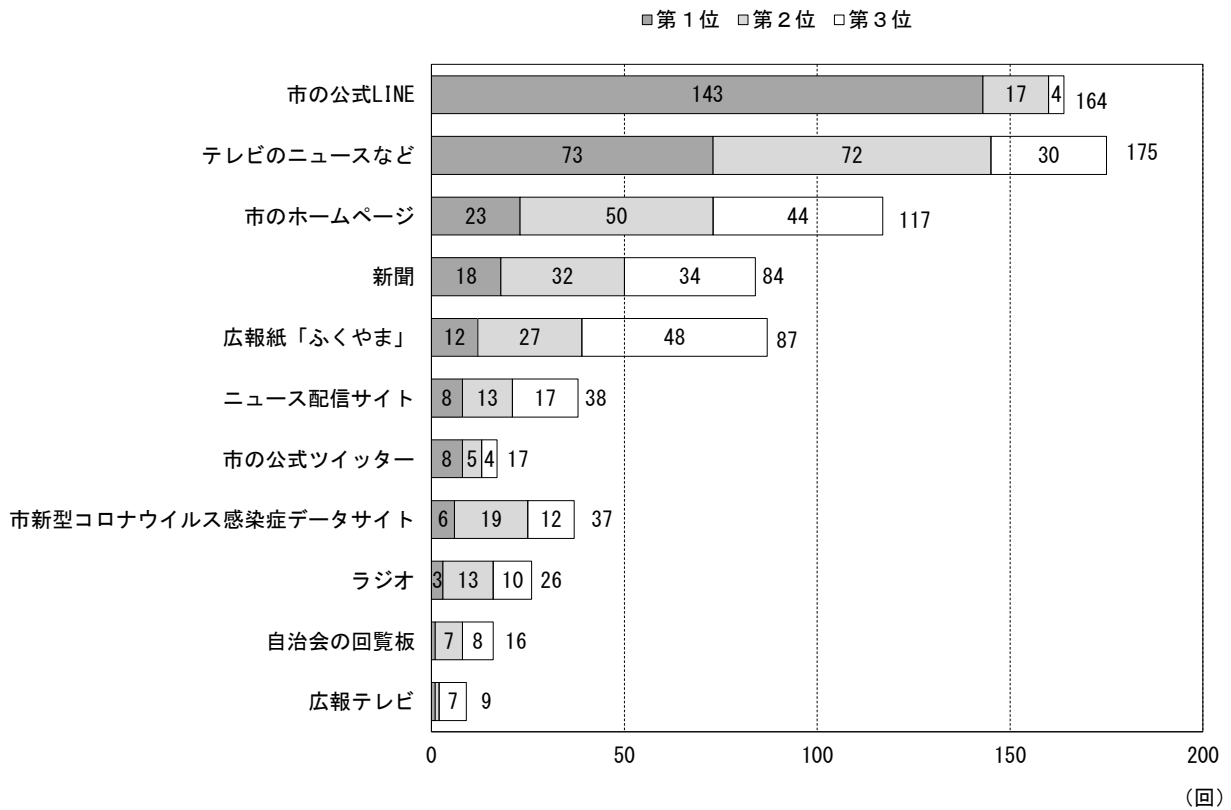
あなたが本市の新型コロナウイルス感染症の感染状況や注意喚起、本市の支援策等の取組を知る手段として、よく利用しているものを最大3つ選択し、役に立ったと思う順に1～3の番号を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

第1位に選ばれた回数は「市の公式LINE」が143回と顕著に多くなっています。

また、「役に立ったと思う」と回答された回数（1～3の番号の記入があった回数）は、「テレビのニュースなど」が175回と最も多く、次いで、「市の公式LINE」（164回）となっています。

図表 3-63 本市の新型コロナウイルス感染症の感染状況などを知るためによく利用している手段の中で役に立ったと思うもの

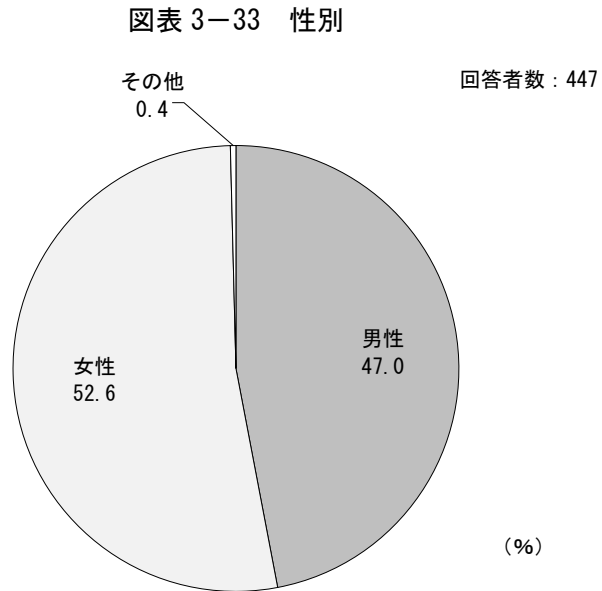


(注) 1～3の番号の記入があった回答のみを集計。回答数：1が296件，2が256件，3が218件。

(5) 回答者の属性

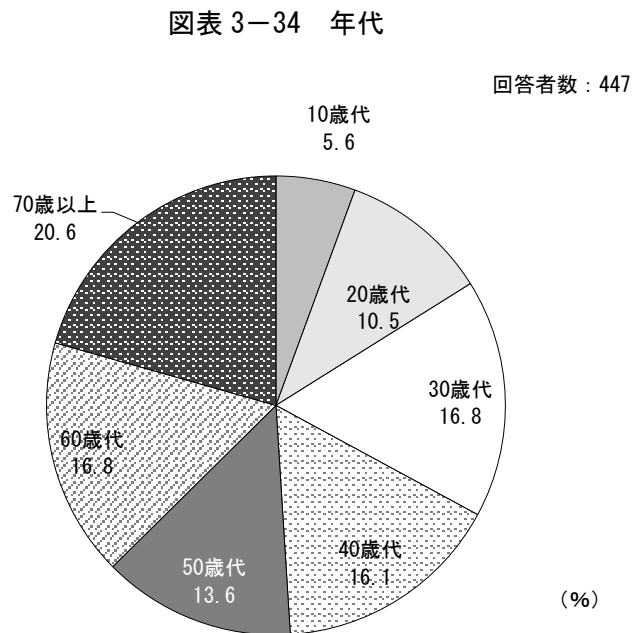
① 性別

「男性」が47.0%、「女性」が52.6%と、僅かに女性が多くなっています。



② 年代

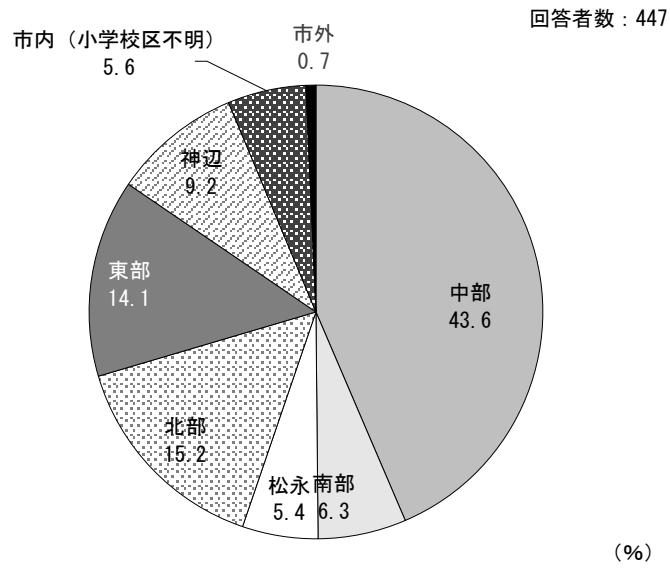
「70歳以上」(20.6%)が最も多く、次いで「30歳代」「60歳代」(16.8%)、「40歳代」(16.1%)となっています。



③ エリア

「中部」が最も多く、43.6%を占めています。次いで「北部」(15.2%)、「東部」(14.1%)となっています。

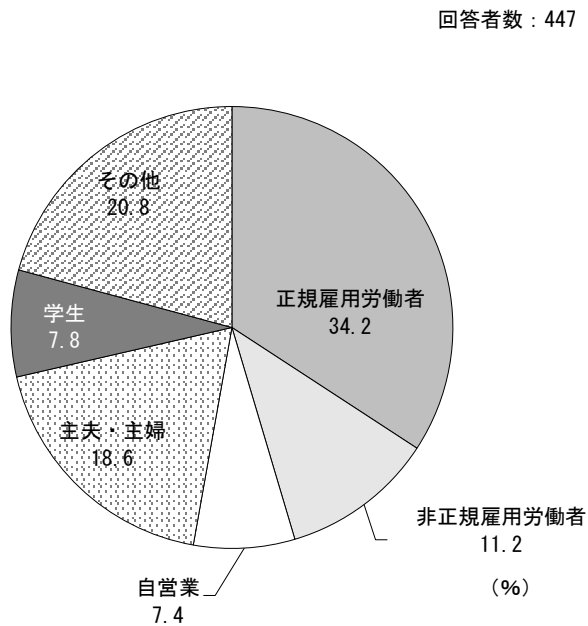
図表 3-35 エリア



④ 職業

「正規雇用労働者」(34.2%)が最も多く、次いで「その他」(20.8%)、「主夫・主婦」(18.6%)となっています。

図表 3-37 職業

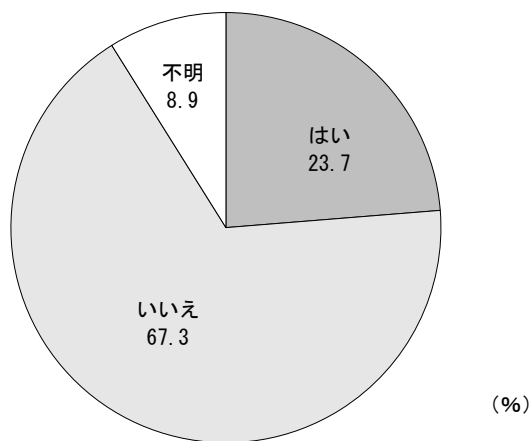


⑤ 子育て世帯

「いいえ」が67.3%を占め、子育て世帯ではない回答者が多くなっています。

図表 3-36 子育て世帯

回答者数：447



資料編 2022年度（令和4年度） 第2回 市政モニターアンケート調査票

【アンケートの趣旨】

今回のアンケートでは、「文化財の保存と活用」、「本市でのデジタル化推進の取組」、「地震対策に関する認知度や実践度」、「新型コロナウイルス感染症に対する意識や行動の変化」についてお伺いします。

【回答にあたって】

モニターの皆様には以下の質問にご回答いただき、同封の返信用封筒にて送付いただきますようお願いいたします。**【2022年（令和4年）9月26日（月）必着】**

なお、アンケート結果の迅速な集計・分析のために、返信用封筒の宛先を委託業者（公益財団法人 中国地域創造研究センター）としております。

また、①アンケートの回答内容と②回答された方の名前や住所を除く情報（年代、性別、地域、職業等、子育て世帯該当・非該当）を同業者に提供しますが、回答された方が特定されない形で集計・分析し、結果を市ホームページなどで公表します。個人情報の取り扱いには十分留意しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【電子申請システムによる回答へ変更のお願い】

アンケート結果の迅速な集計・分析のために、福山市電子申請システムによる回答にご協力いただける方は、同封の手順書を確認いただき手続きをさせていただきますようお願いいたします。

なお、今回から電子申請システムに変更された方は、同封している返信用封筒による提出は必要ありません。次回アンケートから、電子メールによりアンケートの案内をさせていただきます。

【アンケート内容】

1 文化財の保存と活用について

1622年（元和8年）に福山城が築城され、「福山」というまちが誕生して400年を記念して、福山城築城400年記念事業を推進しています。このことについて、次の設問にお答えください。

また、本市には数多くの文化財が残されており、福山市歴史文化基本構想（以下「基本構想」という。）の方針に基づき、文化財の保存と活用を推進しています。今後も着実に取組を進め、文化財を将来にわたって継承していくため、今年度、基本構想の内容をより具体化させた福山市文化財保存活用地域計画（以下「地域計画」という。）を作成することとしています。

文化財の保存と活用に関する現状と課題、市民の意識等を把握し、地域計画作成の基礎資料とするため、設問にお答えください。

問1 福山城築城400年を記念し、「令和の大普請」として、福山城の大改修を実施しましたが、このことを知っていますか。当てはまるものに「○」を記入してください。

①知っている

②知らなかった

問2 8月27日、28日に「福山城400年博オープニングイベント開幕祭」を開催しましたが、会場に行きましたか。または、インターネット配信やテレビ放送を見ましたか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①会場に行った。若しくはインターネット配信またはテレビを見た。
 ②会場に行かなかった。インターネット配信、テレビでも見なかった。

また、「①会場に行った。若しくはインターネット配信またはテレビを見た。」と答えた方は、この開幕祭をどのように感じましたか。次の自由記述欄に記入してください。

(自由記述欄)

問3 整備後の福山城にどのような印象を持ちましたか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①福山市のシンボルとして、ふさわしい姿となった
 ②かつての福山城の姿が再現され、素晴らしい
 ③展示内容が見直され、一度は見学に訪れたい
 ④福山市を訪れる人におすすめしたいスポットになった
 ⑤様々なイベントが開催されており、ぜひ参加したい
 ⑥新たな観光施設として活用が期待される
 ⑦周辺も含めた整備がなされ、都市機能が充実した
 ⑧今後もより一層の整備に取り組んでほしい
 ⑨特に印象はない
 ⑩その他 (具体的に以下の自由記述欄にご記入ください)

(自由記述欄)

問4 今年度、福山城で「お城に泊まる」体験(城泊)を実証実施する予定です。こういった城泊や広場でのイベントのほか、MICE※の会場として使用するといった福山城の新たな活用についてどのように思いますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。また、福山城の新たな活用についてご意見があれば、次の自由記述欄に記入してください。

※MICE: 企業が行う Meeting(ミーティング), 営業成績優秀者・従業員などを対象とした Incentive (報奨旅行), 政府・国際機関・学協会などが主催する Convention (会議), トレードショーなどに代表される Exhibition/Event (展示会・イベント) の頭文字でビジネスイベントの総称のこと

- ①活用したほうがよい
 ②活用しないほうがよい

(自由記述欄)

問5 興味を持ったり、知りたいと思う文化財がありますか。当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

※選択肢に記載している文化財は一例です。

() ①歴史的建造物	〔国宝〕明王院本堂・五重塔, 〔国重文〕吉備津神社本殿
() ②伝統的町並み	鞆の近世港町の町並み, 神辺の近世宿場町の町並み
() ③歴史資料	〔国重文〕菅茶山関係資料, 〔市重文〕福禅寺対潮楼朝鮮通信使関係資料
() ④絵画	〔県重文〕絹本着色水野勝成像, 〔市重文〕福山城旧伏見御殿襖絵
() ⑤彫刻	〔国重文〕木造十一面観音像(明王院), 〔県重文〕木造仁王立像(福盛寺)
() ⑥工芸品	〔国重文〕毛抜形太刀(吉備津神社), 〔市重文〕足利義昭胴肩衣(常国寺)
() ⑦書跡・古文書	〔市重文〕中村家文書, 〔県重文〕葛原勾当日記
() ⑧考古資料	〔国重文〕広島県草戸千軒町遺跡出土品, 〔県重文〕平形銅剣
() ⑨民俗資料	〔国重有文〕はきものコレクション, 〔市有民〕鞆の津の力石
() ⑩祭り・民俗芸能	〔県無民〕蔵王はねおどり, 〔県無民〕二上りおどり
() ⑪遺跡	〔国史跡〕福山城跡, 〔国史跡〕二子塚古墳
() ⑫名勝	〔国名勝〕鞆公園, 〔県名勝〕龍頭峡
() ⑬天然記念物	〔県天記〕安国寺のソテツ, 〔県天記〕仙酔島の海食洞
() ⑭景観	棚田(熊野町), 農村集落(広瀬町)
() ⑮文化財の保存技術	い草などの材料, 伝統産業の生産技術など
() ⑯伝統産業	下駄・塩(松永), 備後緋(新市), 備後畳表(沼隈)
() ⑰食文化	ねぶと, くわい
() ⑱その他	設問に該当する文化財が具体的にがある場合は, その文化財の名称等を5つまで以下の自由記述欄にご記入ください

(自由記述欄)

①
②
③
④
⑤

問6 日常生活で文化財に関わったり、文化財を意識したりすることはありますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①ある
 ②ない

問7 あなたは、文化財をどのように活用すればいいと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①地域のシンボルとして、地域行事や活動などの様々な場面で活用する
 ②教育・生涯学習等、広く歴史や文化を学ぶ場として活用する
 ③ギャラリーやカフェなど観光振興に寄与するように活用する
 ④現状のままで保存する
 ⑤その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

問8 本市の各地域では多種多様な団体が文化財の保存と活用の取組を行っていますが、これらの活動に対して関心はありますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

【団体例1】団体名：御領の古代ロマンを蘇らせる会

活動内容：神辺町御領山に所在する古墳の実態調査や情報発信など

【団体例2】団体名：別所砂留を守る会

活動内容：別所砂留（江戸時代の砂防堰堤）の整備や情報発信など

【団体例3】団体名：二上りおどり保存会（市内に複数団体あり）

活動内容：二上りおどりの披露や後継者育成などの継承活動

【団体例4】団体名：明王院を愛する会

活動内容：ボランティアガイドの実施や、メールマガジン・YouTubeを活用した魅力発信

- ①ある
 ②ない

問9 【問8で「①ある」と答えた方にお聞きします。】問8の団体の活動について、どのような活動に関心がある、または参加したいですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①活動団体主催イベントへの参加
 ②活動団体主催イベントへの運営スタッフとして参加
 ③活動団体での保存・伝承活動の担い手として参加
 ④活動団体への寄付
 ⑤活動団体の情報発信等への協力

- ⑥活動会員募集への協力
 ⑦その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

問10 本市の文化財の保存と活用を推進するために、今後実施してほしい取組や必要
と思う事業等がありますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してくだ
さい。

- ①文化財の調査・研究
 ②文化財の情報発信の強化
 ③文化財の活用に関する取組への助成
 ④道路看板など案内標識の整備
 ⑤文化財の説明等の掲示の充実
 ⑥文化財の保存修理・整備の実施
 ⑦文化財の保存・継承する人の育成
 ⑧文化財を活用する際の規制等の緩和
 ⑨地域住民と連携した活用・保存活動の実施
 ⑩文化財の保存と活用を実施する団体の支援
 ⑪学習教材等の作成支援
 ⑫文化財を知るためのワークショップ等の開催
 ⑬文化財を活用したイベントの開催
 ⑭その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

2 デジタル化の取組について

本市では、市民の皆様にデジタル化の利便性を実感していただきながら、住み慣れた地
域で快適な暮らしが実現できるよう、産業・地域・行政の3分野でのデジタル化を推進し
ています。より効果的なデジタル技術の活用を検討するため、市のデジタルサービスの利
用状況や自治会・町内会など地域でのSNS※（LINE, Twitter, Facebook, LINE 公式アカウ
ント等）の利用状況などについて、次の設問にお答えください。

※SNS とは、ソーシャルネットワークサービスの略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員サービス
のこと。

問1 スマートフォン、タブレット、パソコンなどの情報機器を個人（家族共用を除
く）でお持ちですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してくだ
さい。

- ①スマートフォン
- ②タブレット
- ③パソコン
- ④従来型携帯電話
- ⑤所有していない
- ⑥所有していないが、上記の①～③のいずれかを購入予定
- ⑦その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

問2 福山市 LINE 公式アカウントでは、新型コロナウイルス関連情報等の情報配信だけでなく、住民票・税証明の請求等の申請やマイナンバーカードの受取予約等ができる機能を 2022 年（令和 4 年）3 月に追加しました。福山市 LINE 公式アカウントの利用状況について次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

（福山市 LINE 公式アカウントの機能について）

- ・情報配信（新型コロナウイルス関連情報、イベント情報など）
- ・申請（住民票や税証明の郵送請求、転出届など）
- ・予約（マイナンバーカード受取予約など）
- ・フレイルチェックアンケート
- ・その他（メニューから休日当番医やごみの分別方法、防災、広報ふくやまへの簡単なアクセス）

- ①友だち登録しており、良く見ている
- ②友だち登録しているが、あまり見していない
- ③友だち登録していたが、今はブロックしている
- ④存在は知っているが、友だち登録していない
- ⑤存在を知らなかった

問3 今後、福山市 LINE 公式アカウントに追加されたらよいと思う機能があれば記入してください。

（自由記述欄）

問4 【問2で「②友だち登録しているが、あまり見っていない」「③友だち登録していたが、今はブロックしている」「④存在は知っているが、友だち登録していない」と答えた方にお聞きします。】

その理由について次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①情報配信（通知）が多いから
- ②自分が欲しい情報配信がなく魅力を感じないから

- ③自分の役に立つ機能がなく魅力を感じないから
- ④登録方法が分からないから
- ⑤その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

_____ _____

問5 本市では、デジタル技術の活用に不安がある人に、スマートフォンの使い方講習会や高齢者を対象にしたスマートフォン購入支援などを実施していますが、そのような人が使えるようになるためにはどんなサポートが必要だと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①市が実施するスマートフォンの使い方講習会の継続的な実施
- ②市が実施するスマートフォンの購入支援の継続的な実施
- ③電話相談窓口の設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）
- ④公民館や支所等の身近な場所に相談窓口を設置（スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法等の相談対応）
- ⑤購入店舗での購入時の支援
- ⑥購入店舗での継続した支援
- ⑦その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

_____ _____

問6 ここからは、地域のデジタル化についてお伺いします。

自治会・町内会などの地域活動に参加していますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①参加している
- ②現在は参加していないが、参加を検討している
- ③参加する予定はない

問7 自治会・町内会などの地域活動における連絡手段として、メール、SNSなどを利用していますか。次の①～⑥のそれぞれについて、当てはまるものに「○」を記入してください。（回答欄1）

また、「利用している」場合は、自治会・町内会などの地域活動における連絡手段として、メール、SNSなどの導入前と導入後で、連絡に係る負担軽減の効果はありましたか。次の①～⑥のそれぞれについて、当てはまるものに「○」を記入してください。（回答欄2）

	回答欄 1			回答欄 2	
	利用状況 (○は1つ)			“利用している” 場合の効果 (○は1つ)	
	利用している	利用していない	利用しているが、他の学区など、利用例を聞いたことがある	効果がある	効果がない
①メール					
②LINE					
③Twitter					
④Facebook					
⑤LINE 公式アカウント					
⑥その他の SNS					

問 8 自治会・町内会などの地域活動において、Web 会議システム（スマートフォンなどを活用した遠隔での会議参加）や SNS を活用することにより負担軽減に効果があると考えられるものは何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

<input type="checkbox"/> ①会議の参加（対面ではなく自宅などから Web 会議システムで参加） <input type="checkbox"/> ②会議の案内（電話、紙ではなく SNS など案内） <input type="checkbox"/> ③会議の出欠確認（電話、紙ではなく SNS など確認） <input type="checkbox"/> ④イベントなど地域の情報を告知（電話、紙ではなく SNS など告知） <input type="checkbox"/> ⑤電子回覧板（紙ではなくスマートフォンなどの情報機器で確認） <input type="checkbox"/> ⑥デジタル化は地域活動の負担軽減につながらない <input type="checkbox"/> ⑦デジタル化の導入は負担増加につながる <input type="checkbox"/> ⑧その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）
--

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問 9 現在、行政のデジタル化として、マイナンバーカードの普及促進に取り組んでいるところです。マイナポイント第 2 弾では、2022 年（令和 4 年）9 月末までにマイナンバーカードを申請した方が対象となり、最大 20,000 円分のポイントがもらえます。さらに福山市独自のマイナポイントとして、市民限定で追加で 5,000 円分のポイントがもらえる事業も予定されています。この事業について、知っていましたか。当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①マイナポイント第2弾を知っていた
- ②福山市独自のマイナポイント事業を知っていた
- ③どちらも知らなかった

問10 【問9で「②福山市独自のマイナポイント事業を知っていた」と答えた方にお聞きします。】

この事業についてどこでお知りになりましたか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①市の公式ホームページ
- ②市マイナポイント特設ホームページ
- ③自治会・町内会の回覧板のチラシ
- ④市の公式LINEなどのSNS
- ⑤市が配布しているチラシ
- ⑥市が設置したマイナンバーカード申請サポート窓口
- ⑦マイナンバーカード交付窓口
- ⑧市が設置したマイナポイント設定支援窓口
- ⑨新聞折込み広告
- ⑩テレビ・ラジオ・新聞
- ⑪家族・知人などからの口コミ
- ⑫その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

3 防災について

地震対策に関する認知度や実践度について調査を行い、市政の方向性について確認するとともに、市民の皆様の声を、今後の施策等に反映させたいと思いますので、次の設問にお答えください。

問1 あなたの住んでいるところで、近い将来、震度6強～7の「大地震」が起こると思いますか。当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①思う
- ②思わない

問2 「大地震」が起きた場合、ご自宅ではどのような被害を受けるとお考えですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①建物やブロック塀の倒壊
- ②土砂災害による被害

- ③津波による浸水
- ④ため池の決壊
- ⑤火災
- ⑥停電
- ⑦断水
- ⑧家具類の転倒等
- ⑨その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）
- ⑩被害は受けない
- ⑪わからない

（自由記述欄）

問3 ご自宅で開催している地震対策はありますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①耐震性のある家に住んでいる
- ②土砂災害に耐えるよう自宅を改修している
- ③感震ブレーカーを設置している
- ④停電対策（発電機・蓄電池等）を準備している
- ⑤食料品，飲料水などを備蓄している
- ⑥家具類の転倒防止対策をしている
- ⑦避難する場所を確認している
- ⑧家族の安否確認の方法を決めている
- ⑨防災訓練に参加している
- ⑩その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）
- ⑪何もしていない

（自由記述欄）

問4 あなたのご自宅は地震対策ができていると思いますか。当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①しっかり対策できている
- ②対策したいが，不十分または全くできていない
- ③対策をするつもりはない

問5 【問4で「②対策したいが，不十分または全くできていない」と回答した方にお聞きします。】あなたのご自宅の地震対策が不十分または全くできていない理由は何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①お金がかかるから
- ②時間がないから
- ③手間がかかり面倒だから
- ④何をしたらいいのかわからないから
- ⑤必要性を感じられないから
- ⑥その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

問6 あなたが、地震や津波の情報を得る方法として有効だと思うものはどれですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①緊急速報メール（エリアメール）
- ②テレビ・ラジオ
- ③市の公式ホームページ
- ④市の公式メール配信サービス（登録制メール）
- ⑤市の公式SNS（Facebook・Twitter・LINE）
- ⑥防災スピーカーの屋外放送
- ⑦民間事業者の防災速報アプリ
- ⑧自主防災組織や近隣住民の呼びかけ
- ⑨その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

問7 南海トラフ地震が発生した場合の福山市の被害想定（最大震度、津波の高さ、最大の津波が来るまでの時間、津波で浸水する範囲）を知っていますか。当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①十分知っている
- ②ある程度知っているが、不十分
- ③全く知らない

問8 本市が2013年（平成25年）に発行した津波ハザードマップを持っていますか。または、市ホームページに掲載してあるものを確認していますか。当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①津波ハザードマップを持っている
- ②津波ハザードマップは持っていないが、市ホームページに掲載してあるものを確認している

- ③津波ハザードマップを持っていないし、市ホームページに掲載してあるものも確認していない
- ④津波ハザードマップを知らなかった

問9 地震による死者の主な理由は、建物倒壊、土砂災害、火災、津波です。

市の支援策としてあなたが有効と思うものは、次のうちどれですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①自宅の耐震診断に係る費用の補助
- ②自宅の耐震改修に係る費用の補助
- ③自宅の土砂災害対策改修に係る費用の補助
- ④自宅の土砂災害警戒区域からの移転に係る費用の補助
- ⑤感震ブレーカー（通電火災防止器具）の購入費の補助
- ⑥津波で浸水する地域への屋外スピーカーの追加設置
- ⑦その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

<hr/> <hr/>

問10 福山市では、耐震性の低い一戸建ての木造住宅（1981年（昭和56年）6月より前に建築された住宅）の耐震改修に要する費用（上限100万円まで）を補助する制度があります。

(1) あなたのご自宅は、対象となる1981年6月より前に建築された木造の住宅ですか。当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①はい
- ②いいえ

(2) あなたは、この補助制度を知っていましたか。当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①知っていた
- ②知らなかった

(3) あなたは、この補助制度を活用したいと思いませんか。当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①自分は対象なので、ぜひ活用したい
- ②自分は対象ではないが、対象となる家族や知人に活用をすすめたい
- ③自分は対象だが、活用したいと思わない
- ④自分は対象ではないので、活用できない
- ⑤よくわからない

- (4) 【(3)で「③自分は対象だが、活用したいと思わない」と回答した方にお聞きします。】活用したいと思わない理由は何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①改修費用に対して補助額が少ない（自己負担額が多い）から
- ②自宅の工事期間中，生活に支障があるから
- ③補助対象となる要件に合致しないから
- ④制度の内容が不明確だから
- ⑤自分の家は補助対象であるが，地震には耐えると考えているから
- ⑥その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

<hr/> <hr/>

- 問 1 1** 地震による負傷者の主な発生理由は，建物倒壊，家具類の転倒等です。市の支援策としてあなたが有効と思うものは，次のうちどれですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①家具・家電の転倒防止グッズの購入費の補助
- ②家具・家電の転倒防止グッズの設置作業の支援
- ③自主防災組織（地域の防災組織）への人命救助器具（バールやジャッキ等）の配布
- ④その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）
- ⑤市の支援は必要ない

（自由記述欄）

<hr/> <hr/>

- 問 1 2** 地震による被害者を発生させないためには，一人ひとりの防災意識を高めることが必要です。そのためにあなたが有効と思うものは，次のうちどれですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①啓発動画の作成
- ②啓発用パンフレットの作成，配布
- ③地震体験車などによる体験型の啓発
- ④防災イベントの実施
- ⑤防災訓練への参加
- ⑥地域での研修会の実施
- ⑦その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）
- ⑧特にない

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

4 新型コロナウイルス感染症に対する意識・行動変化について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、生活スタイルの変化や地域経済の停滞など本市を取り巻く環境は大きく変わり、住民の生活や経済活動に多大な影響を与えています。

現状の意識・行動変化などを把握し、効果的な施策・事業の構築や推進につなげるため、次の設問にお答えください。

問1 新型コロナウイルス感染症に対する意識について、次の①～③のそれぞれ当てはまるもの1つに「○」を記入してください。

	とても感じる	やや感じる	ない	どちらとも言えない	あまり感じない	まったく感じない
①感染拡大の状況が常に気になる						
②感染したら差別や嫌がらせを受ける不安がある						
③感染するのが不安でたまらない						

問2 1年前※と比べて、外出における行動変化について、当てはまるもの1つに「○」を記入してください。

※1年前とは、第5波で広島県の早期集中対策において本市が集中対策重点区域に指定されたほか、広島県に緊急事態宣言が発出されるなど行動に制限のあった2021年8月頃のことです。

(1) 頻繁に訪れるようになった場所

() ①自宅周辺 (身近な公園やスーパーなど)
() ②福山駅周辺
() ③市内の総合公園や大きな公園 (公園名)
() ④自宅から離れた郊外 (ショッピングセンター, 海・山・川など)
() ⑤市外
() ⑥特にない
() ⑦その他 (具体的に以下の自由記述欄にご記入ください)

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

(2) 目的

- ①食料品，日用品等の買い物
- ②飲食
- ③散歩，休憩，子どもとの遊び等
- ④映画鑑賞，コンサート，スポーツなどの趣味・娯楽
- ⑤その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

_____ _____

(3) 頻繁に訪れるようになった場所に望む機能について記入してください。

（自由記述欄）

_____ _____

(4) 頻繁に使うようになった移動手段

- ①電車
- ②バス
- ③タクシー
- ④自家用車
- ⑤バイク
- ⑥自転車
- ⑦徒歩
- ⑧その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

_____ _____

(5) 使わなくなった移動手段について記入してください。

（自由記述欄）

_____ _____

問3 コロナ禍において、近場での観光を楽しむいわゆるマイクロツーリズムが話題になりました。今後、市内や備後圏域内を目的地とする観光に行く頻度に変化はあると思いますか。当てはまるものに「○」を記入してください。また、①～⑤を選んだ方はその理由を自由記述欄に記入してください。

- ①増えると思う
- ②やや増えると思う

- ③特に変わらない
- ④やや減ると思う
- ⑤減ると思う
- ⑥わからない

(自由記述欄)

問4 あなたが本市の新型コロナウイルス感染症の感染状況や注意喚起、本市の支援策等の取組を知る手段として、よく利用しているものを**最大3つ**選択し、**役に立ったと思う順に1～3の番号**を記入してください。

- ①市のホームページ
- ②市の公式LINE
- ③市の公式ツイッター
- ④市新型コロナウイルス感染症データサイト
- ⑤広報紙「ふくやま」
- ⑥広報テレビ「ピース！ピース！ふくやま」
- ⑦テレビのニュースなど
- ⑧ラジオのニュースなど
- ⑨新聞
- ⑩ニュース配信サイト
- ⑪自治会（町内会）の回覧板

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

【問合せ先】

福山市市民局まちづくり推進部 まちづくり推進課

☎084 (928) 1217

8:30～17:15(土日祝日を除く)